

行方市役所 御中

行方市シティプロモーション指針策定 基礎調査報告書

－ 市外居住者の認識・態度構造と
全国メディアでの取り上げられ方の検証 －

2019 年 3 月

立正大学文学部 浅岡研究室

■はじめに

本報告書は、以下の内容で構成されている。

【基礎的なデータとそれに基づく現状考察】

I. 市外居住者に対する WEB アンケート調査結果	…	003
1. 本調査の目的と概要	…	003
2. アンケート調査結果の詳細	…	004
3. アンケート結果から考察されるターゲット像	…	049
II. 全国メディアでの扱われ方の現状	…	061
1. テレビ番組での取り上げられ方	…	063
2. 新聞メディアの紙面での取り上げられ方	…	083
3. 観光雑誌, MOOK での取り上げられ方	…	090
4. WEB メディアでの取り上げられ方	…	094

↑ これらの基礎的なデータとなる,

【エビデンスデータ】

1. WEB アンケート調査の調査項目と GT 表 (巻末資料 P. 97~112)
2. 関連するテレビ番組, 新聞記事, 雑誌の記事情報

** 本報告書の執筆は、浅岡隆裕（立正大学文学部准教授、地域のメディアとコミュニケーション論）が行った。シティプロモーション自治体等連絡協議会事務局の松野健志氏（株式会社 JTB）と協議、内容確認の上、提出するものである。

I. 市外居住者に対する WEB アンケート調査結果

1. 本調査の目的と概要

1) 調査の目的

行方市外居住者に対して、シティプロモーション政策に関わる移住・定住、二地域居住への興味関心度や意識、農業体験等へのニーズと態度を明らかにする。あわせて行方市と名所・名産品の認知度や訪問意向を把握する。これらの目的を達成すべく統計的調査を行った。

対象条件は、移住・定住、二地域居住を本格的に検討するような世代として想定される子育て世代（30 歳以上）からアクティブシニア層（70 歳未満）までとする。現在居住エリアの条件として行方市へのアクセス性などを考慮して東京 23 区の東側、千葉在住者とした。

2) 市外在住者対象の WEB アンケート調査の概要

①調査名称； 「地方のくらしや観光に関する意識調査」

②調査方法； 登録されているインターネットパネルをアンケートサイトに誘導し、アンケートに回答してもらう。

③調査規模； 以下の割付けによる 1,000 サンプル

エリア	対象地域	サンプル数
東京都区部	江戸川区 江東区 葛飾区 墨田区	250
千葉県北東部	松戸市 柏市 我孫子市 流山市	250
千葉県北中西部	成田市 佐倉市 印西市	250
千葉県中部	千葉市 船橋市	250

④実査委嘱先； クロス・マーケティング株式会社

⑤実査予定日； 2018 年 12 月 6 日（金）～8 日（日）

⑥調査企画分析； 立正大学文学部 浅岡研究室

3) 調査項目と選択肢

概数値とともに巻末に記載

2. アンケート調査結果の詳細

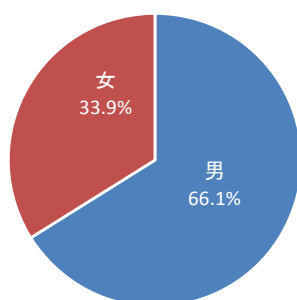
調査項目ごとに数値データから読み取れる傾向を示していく。

1) 基本属性に関わる項目 (Q1～6)

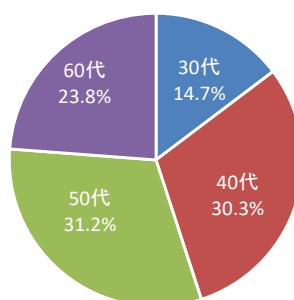
男女比では、男性が6割と多数を占める結果となった。

年代では、50代(31.2%)が最も割合が高いが、続く40代(30.3%)とは僅差であった。30代は14.7%と最も低い割合となっている。多くが既婚者ということを前提に考えれば、30～40代という子育て中の世代(計45.0%)と、50～60代と子育てが終わりつつある世代(計55.0%)が半々の結果となった。

回答者の性別



回答者の年代

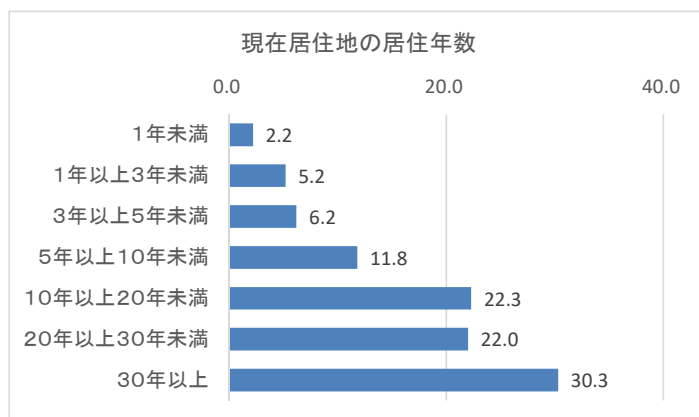


クロス表				
		Q1 性別		
		計	男	女
合計		1000	66.1%	33.9%
居住エリア	東京都東区部	250	63.6%	36.4%
	千葉県北部	250	64.4%	35.6%
	千葉県北中西部	250	71.2%	28.8%
	千葉県中部	250	65.2%	34.8%

クロス表						
			Q2SQ 年代			
		計	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代
合計		1000	14.7%	30.3%	31.2%	23.8%
居住工 リア	東京都東区部	250	13.2%	33.2%	35.6%	18.0%
	千葉県北部	250	19.6%	29.6%	28.4%	22.4%
	千葉県北中西部	250	13.2%	26.0%	29.6%	31.2%
	千葉県中部	250	12.8%	32.4%	31.2%	23.6%

居住地と性別、年代のクロス集計をしたところ、千葉県北中西部では男性、60代の割合が他地域よりもやや高い。千葉県北部居住者の30代が高い、東京都東区部の60代の割合がやや低いといった傾向差が見られる。試みに年代の加重平均値をとったところ、全地域で50代前半であり、際立った年代差があるわけではない。

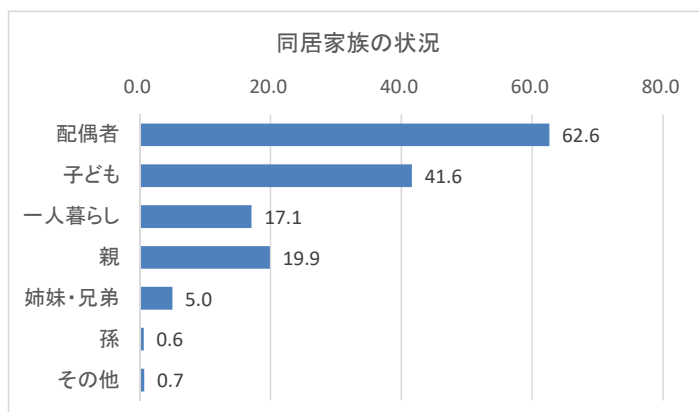
居住歴では、30年以上が30.3%と最も高い割合であり、20年以上30年未満が22.0%と、20年以上計(52.3%)で過半数となった。逆に5年未満は7.4%と非常に少ない割合であり、今回の対象者は、比較的長期間居住者の割合が高いと言える。



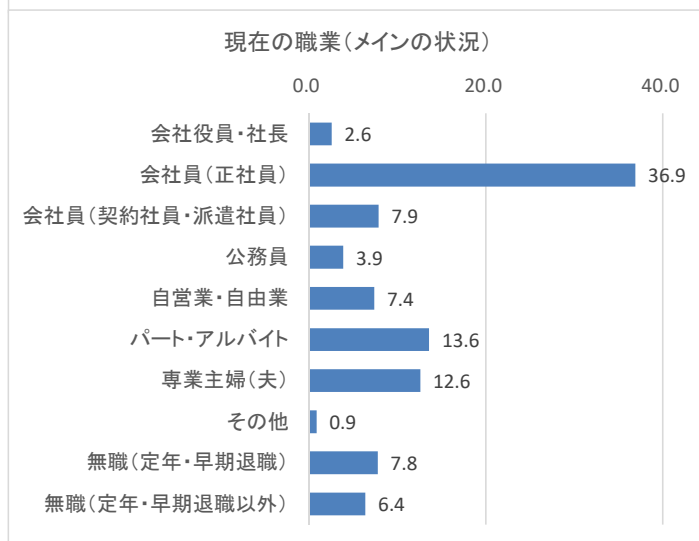
居住地・年代などとクロス集計をしてみたところ、千葉県北中西部では 20 年以上 30 年未満がややまとまった割合で存在している。また 30 代では、居住歴が比較的浅く、5 年未満計で 36.7% と全体の 1/3 を占める結果となった。一方で 60 代では 30 年以上が 43% と半数近くを占めるなど、長い居住歴となっている傾向が鮮明である。

クロス表									
			Q4 現在の居住地域の居住歴						
			1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上 30 年未満	30 年以上
		計							
合計		1000	2.2%	5.2%	6.2%	11.8%	22.3%	22.0%	30.3%
居住エリア	東京都東区部	250	2.8%	7.2%	6.8%	12.0%	24.8%	16.0%	30.4%
	千葉県北部	250	2.4%	4.4%	8.4%	14.0%	18.8%	22.4%	29.6%
	千葉県北中西部	250	.8%	4.8%	4.4%	10.8%	21.2%	28.8%	29.2%
	千葉県中部	250	2.8%	4.4%	5.2%	10.4%	24.4%	20.8%	32.0%
年代	30 代	147	8.2%	12.9%	15.6%	17.7%	11.6%	12.2%	21.8%
	40 代	303	1.3%	6.3%	5.6%	16.5%	30.0%	13.2%	27.1%
	50 代	312	1.3%	3.2%	5.4%	8.3%	27.9%	26.0%	27.9%
	60 代	238	.8%	1.7%	2.1%	6.7%	11.8%	34.0%	42.9%
性別	男	661	1.7%	4.4%	4.8%	10.4%	21.3%	23.8%	33.6%
	女	339	3.2%	6.8%	8.8%	14.5%	24.2%	18.6%	23.9%

同居家族としては、一人暮らしは 17% に過ぎず、同居人がいるのは 83% と大多数に達する。配偶者が 62.6% となっており、死別や別居もあり得るものの、婚姻状態にある人が 6 割、残りは配偶者とは同居していない。



職業としては、会社員(正社員)が 36.9% に達し、最も高い割合となっている。続くのはパート・アルバイトが 13.6%，専業主婦(主夫)が 12.6% となっている。

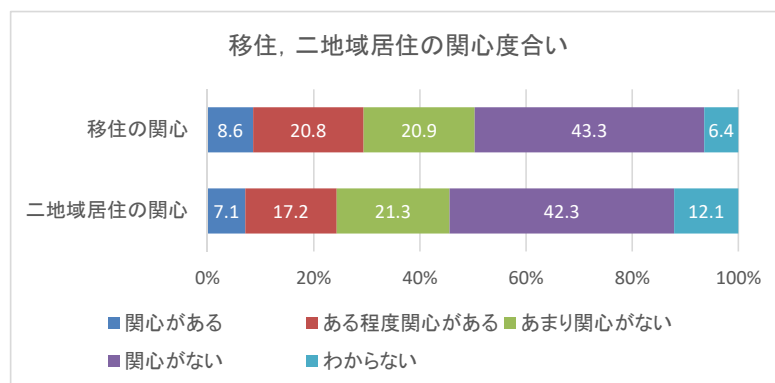


2) 現在居住地からの移住に関する認識 (Q7～12)

シティプロモーションの一つの成功指標とされる定住促進について、質問している。以下では、クロス集計表を例示し、各属性間での差異を探っていく。

①移住についての興味関心度合いと希望地域

移住に関心がある人は、調査対象サンプル全体での関心度合いは、関心がある 8.6%とある程度関心がある 20.8% 合わせて 3 割に留まっている。関心がない（あまり関心がない 20.9%，関心がない 43.3%）計が 64.2%と多数派となった。「わからない」といった態度保留者は 6.4%とごく少数で、移住に対する態度は明瞭に示されていると言える。



年代が低いほど関心が高くなるといった加齢によるマイナス効果が見られる。30 代では関心が高く、50 代になると関心がない層が 6 割台後に達する。どこに自宅を購入（建設）するのかを決めきれていない 30 代の関心が他層に比べて高くなることが想定される。逆に自宅を購入した人は、関心が失われているのではない。居住地別で見た場合、千葉県北部居住者で高いのは、30 代の構成比が他地域に比べて有意に高いためと思われる。東京都区部、千葉県北中西部ともに低く関心は高くない。また性別による関心の差は見られない。

クロス表									
			Q7 「移住」 への関心度合い						
			関心が ある	ある程 度関心 がある	あまり 関心が ない	関心が ない	わから ない	関心が ある計	関心が ない計
		計							
合計		1000	8.6%	20.8%	20.9%	43.3%	6.4%	29.4%	64.2%
居住工 リア	東京都東区部	250	5.6%	18.8%	20.4%	48.0%	7.2%	24.4%	68.4%
	千葉県北部	250	10.8%	25.2%	20.8%	37.6%	5.6%	36.0%	58.4%
	千葉県北中西部	250	8.0%	16.8%	20.0%	48.8%	6.4%	24.8%	68.8%
	千葉県中部	250	10.0%	22.4%	22.4%	38.8%	6.4%	32.4%	61.2%
年代	3 0 代	147	10.2%	25.2%	20.4%	36.7%	7.5%	35.4%	57.1%
	4 0 代	303	8.3%	22.8%	22.1%	39.3%	7.6%	31.0%	61.4%
	5 0 代	312	9.9%	18.6%	20.5%	45.5%	5.4%	28.5%	66.0%
	6 0 代	238	6.3%	18.5%	20.2%	49.6%	5.5%	24.8%	69.7%
性別	男	661	8.9%	20.9%	20.3%	44.2%	5.7%	29.8%	64.4%
	女	339	8.0%	20.6%	22.1%	41.6%	7.7%	28.6%	63.7%

居住 千葉県北部 ▲東京都区部，千葉県北中西部
 年代 30 代（加齢により関心度は低下） ▲60 代
 性別 差なし

②現在の住まいから見た移住地の移動距離許容度

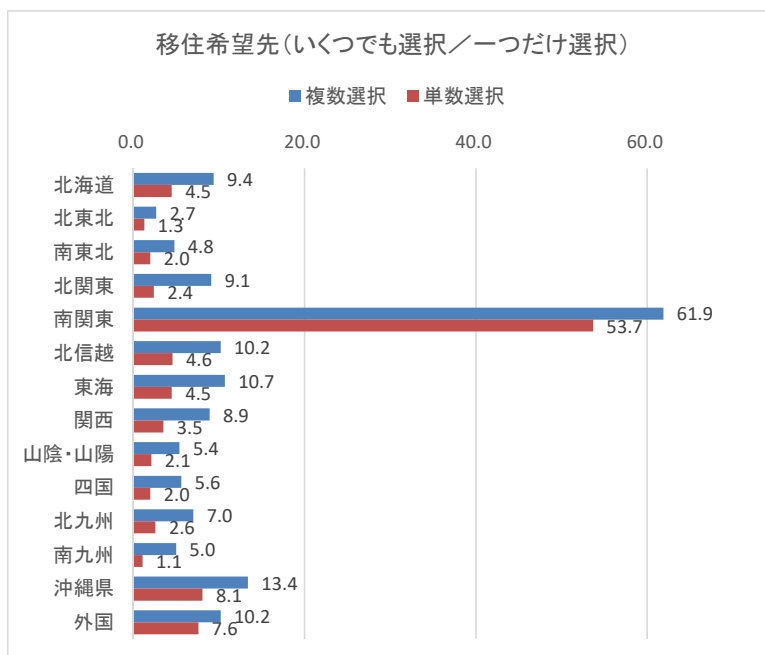
移住の距離許容度については、50 キロ圏内が 22.7%と最も高い割合となっているが、100 キロを超えると一ケタ台の数値が並び、許容度が低くなるようである。この点で言えば、100 キロにならない距離（～99 キロ）が一つの判断材料となっていて、それ以上の距離は、あまり好ましく思われていない傾向がある。ただし 400 キロ以上が 7.3%存在し、遠隔地の方を好む層も一定数存在することが伺える。特に、移住に関心がある、およびある程度関心があるという人では、400 キロ以上が 23%、14%と比較的高い割合となっている。

わからないが全体で 56.7%と過半数存在することから、単純に距離だけを提示することは生活者一般には響かない可能性がある。

クロス表										
			Q8 現在のお住まいから許容距離							
		計	50 k m圏 内	100 k m圏 内	150 k m圏 内	200 k m圏 内	300 k m圏 内	400 k m圏 内	400 k m以 上	わから ない
合計		1000	22.7%	6.5%	2.6%	1.7%	2.0%	.5%	7.3%	56.7%
居住工 リア	東京都東区部	250	27.2%	7.2%	2.0%	2.0%	.8%	.4%	4.8%	55.6%
	千葉県北部	250	22.4%	4.8%	3.6%	1.2%	2.4%	.4%	8.4%	56.8%
	千葉県北中西部	250	17.6%	5.6%	2.8%	2.0%	2.4%	.8%	6.8%	62.0%
	千葉県中部	250	23.6%	8.4%	2.0%	1.6%	2.4%	.4%	9.2%	52.4%
年代	30代	147	21.8%	6.1%	4.1%	4.1%	3.4%	.7%	4.1%	55.8%
	40代	303	24.1%	5.0%	3.3%	1.0%	2.0%	.3%	5.9%	58.4%
	50代	312	25.3%	6.1%	1.3%	1.0%	1.6%	.3%	9.3%	55.1%
	60代	238	18.1%	9.2%	2.5%	2.1%	1.7%	.8%	8.4%	57.1%
性別	男	661	23.1%	6.8%	3.0%	2.0%	2.4%	.8%	8.9%	53.0%
	女	339	21.8%	5.9%	1.8%	1.2%	1.2%	0.0%	4.1%	64.0%
Q7 移 住への 関心度	関心がある	86	22.1%	11.6%	3.5%	1.2%	5.8%	2.3%	23.3%	30.2%
	ある程度関心	208	20.7%	9.1%	5.8%	4.3%	4.8%	1.0%	13.5%	40.9%
	あまり関心なし	209	25.4%	11.0%	3.8%	1.0%	1.0%	0.0%	4.3%	53.6%
	関心がない	433	24.7%	3.0%	.5%	1.2%	.7%	.2%	2.5%	67.2%
	わからない	64	7.8%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	7.8%	82.8%

③移住希望地としての北関東

移住を想定した場合の希望する地域（複数選択）であるが、南関東（61.9%）が突出して高く、それに続く沖縄、東海、北信越は10%台に留まっている。北関東（茨城県、栃木県、群馬県）選好者は複数選択（いくつでも）では9.1%、単数選択（一つだけ）では2.4%であり、南関東（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）の数値（61.9%、53.7%）と比較すると、ごく限られた層となっている。（候補の選択肢になり得るのかどうか微妙なところと言える）



属性別では、複数選択での傾向として、千葉県北部居住者がやや高い程度であり、60代では割合が低くなっている。

クロス表																
			Q9 移住希望地域（いくつでも）													
			北海道	北東北 （青森 県，岩 手県， 秋田 県）	南東北 （宮城 県，山 形県， 福島 県）	北関東 （茨城 県，栃 木県， 群馬 県）	南関東 （埼玉 県，千 葉県， 東京 都，神 奈川 県）	北信越 （山梨 県，長 野県， 新潟 県，富 山県， 石川 県，福 井県）	東海 （静岡 県，愛 知県， 三重 県，岐 阜県）	関西 （滋賀 県，京 都府， 大阪 府，兵 庫県， 奈良 県，和 歌山 県）	山陰・ 山陽 （鳥取 県，島 根県， 岡山 県，広 島県， 山口 県）	四国 （香川 県，愛 媛県， 徳島 県，高 知県）	北九州 （福岡 県，佐 賀県， 長崎 県，熊 本県， 大分 県）	南九州 （宮崎 県，鹿 児島 県）	沖縄県	外国
		計														
合計		1000	9.4%	2.7%	4.8%	9.1%	61.9%	10.2%	10.7%	8.9%	5.4%	5.6%	7.0%	5.0%	13.4%	10.2%
居住工 リア	東京都東区部	250	7.6%	3.2%	5.2%	8.0%	59.2%	12.0%	10.8%	8.4%	4.0%	6.0%	6.4%	2.8%	12.8%	10.8%
	千葉県北部	250	8.8%	4.0%	5.6%	14.0%	64.4%	11.2%	13.2%	9.2%	6.4%	4.4%	8.0%	6.0%	12.8%	9.2%
	千葉県北中西部	250	7.2%	.8%	3.6%	7.6%	60.8%	12.4%	8.0%	8.8%	5.6%	5.6%	5.6%	5.2%	13.2%	10.0%
	千葉県中部	250	14.0%	2.8%	4.8%	6.8%	63.2%	5.2%	10.8%	9.2%	5.6%	6.4%	8.0%	6.0%	14.8%	10.8%
年代	3 0 代	147	8.2%	4.1%	4.8%	8.8%	66.7%	14.3%	6.1%	6.8%	4.8%	4.8%	7.5%	4.1%	10.9%	10.2%
	4 0 代	303	8.9%	2.0%	5.6%	10.2%	65.7%	9.9%	9.6%	8.3%	5.6%	5.9%	6.6%	5.0%	12.2%	12.2%
	5 0 代	312	11.2%	3.2%	4.2%	11.2%	59.6%	8.3%	13.8%	10.9%	6.4%	8.0%	8.7%	7.7%	16.7%	9.9%
	6 0 代	238	8.4%	2.1%	4.6%	5.0%	57.1%	10.5%	10.9%	8.4%	4.2%	2.5%	5.0%	2.1%	12.2%	8.0%
性別	男	661	11.3%	3.3%	5.4%	10.4%	58.9%	10.7%	12.7%	9.1%	5.7%	6.7%	7.9%	6.2%	14.5%	9.2%
	女	339	5.6%	1.5%	3.5%	6.5%	67.8%	9.1%	6.8%	8.6%	4.7%	3.5%	5.3%	2.7%	11.2%	12.1%
Q7 移 住への 関心度	関心がある	86	14.0%	11.6%	12.8%	20.9%	62.8%	18.6%	14.0%	23.3%	14.0%	15.1%	15.1%	9.3%	17.4%	15.1%
	ある程度関心	208	14.9%	1.9%	4.3%	14.9%	60.1%	17.3%	17.8%	12.5%	8.7%	9.6%	13.9%	8.7%	14.9%	11.5%
	あまり関心なし	209	7.7%	2.4%	6.2%	11.5%	64.6%	12.4%	10.5%	5.3%	6.7%	4.8%	5.3%	2.9%	15.3%	9.1%
	関心がない	433	6.9%	1.6%	2.3%	3.5%	62.6%	4.6%	6.9%	5.3%	1.6%	2.8%	3.7%	3.5%	10.9%	8.5%

単数選択（ひとつだけ）では、属性間では差は見られない。

クロス表																
		Q10 移住希望地域（ひとつだけ）														
		計	北海道	北東北 （青森県、岩手県、秋田県）	南東北 （宮城県、山形県、福島県）	北関東 （茨城県、栃木県、群馬県）	南関東 （埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）	北信越 （山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県）	東海 （静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、静岡県、奈良県、和歌山県）	関西 （滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）	山陰・山陽 （鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）	四国 （香川県、愛媛県、徳島県、高知県）	北九州 （福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県）	南九州 （宮崎県、鹿児島県）	沖縄県	外国
合計		1000	4.5%	1.3%	2.0%	2.4%	53.7%	4.6%	4.5%	3.5%	2.1%	2.0%	2.6%	1.1%	8.1%	7.6%
居住エリア	東京都東区部	250	4.4%	2.0%	2.0%	2.8%	51.6%	5.2%	4.0%	4.0%	1.2%	2.8%	3.6%	.8%	6.8%	8.8%
	千葉県北部	250	4.4%	1.2%	1.2%	3.2%	56.0%	3.6%	5.2%	2.4%	2.8%	1.2%	1.2%	1.6%	8.8%	7.2%
	千葉県北中西部	250	3.2%	.4%	2.0%	2.0%	54.8%	6.8%	4.0%	3.2%	2.0%	2.0%	2.4%	.8%	9.2%	7.2%
	千葉県中部	250	6.0%	1.6%	2.8%	1.6%	52.4%	2.8%	4.8%	4.4%	2.4%	2.0%	3.2%	1.2%	7.6%	7.2%
年代	30代	147	3.4%	2.7%	.7%	3.4%	57.1%	7.5%	1.4%	2.7%	1.4%	2.0%	3.4%	.7%	5.4%	8.2%
	40代	303	5.3%	.7%	2.3%	2.0%	58.1%	4.3%	3.3%	2.0%	2.3%	2.0%	1.7%	1.3%	6.3%	8.6%
	50代	312	4.5%	.6%	1.3%	3.2%	51.9%	1.9%	5.1%	4.5%	1.9%	2.2%	3.2%	1.3%	10.9%	7.4%
	60代	238	4.2%	2.1%	3.4%	1.3%	48.3%	6.7%	7.1%	4.6%	2.5%	1.7%	2.5%	.8%	8.4%	6.3%
性別	男	661	5.3%	1.7%	2.3%	2.6%	49.9%	4.7%	5.1%	3.9%	1.8%	2.4%	2.7%	1.7%	9.2%	6.7%
	女	339	2.9%	.6%	1.5%	2.1%	61.1%	4.4%	3.2%	2.7%	2.7%	1.2%	2.4%	0.0%	5.9%	9.4%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	4.7%	3.5%	2.3%	2.3%	44.2%	7.0%	3.5%	5.8%	2.3%	3.5%	2.3%	2.3%	7.0%	9.3%
	ある程度関心	208	7.7%	.5%	.5%	4.3%	46.6%	7.2%	5.8%	3.8%	2.4%	1.9%	3.4%	1.4%	7.2%	7.2%
	あまり関心なし	209	1.9%	1.4%	2.4%	3.3%	54.5%	5.3%	3.8%	1.9%	4.8%	1.9%	2.4%	0.0%	10.0%	6.2%
	関心がない	433	4.2%	1.4%	2.1%	1.4%	59.6%	2.8%	4.2%	2.8%	.5%	2.1%	2.8%	1.4%	7.6%	7.4%

※複数選択での傾向 単数選択では、全て差はなし。

居住 千葉県北部

年代 ▲60代

性別 差なし

④移住希望地としての茨城県

関東の中で選ぶとしたらという仮定の質問（複数選択）では、茨城県は 17.7%と、北関東3県の中では最も高い割合であるが、栃木県 13.2%、群馬県 12.5%と差がなく、むしろわからないといった態度不鮮明者が 62.2%に達していることが特筆される。回答者の 2/3 に当たる多数者が北関東地区で生活するといったことに対して具体的なイメージが持てないことがその要因と想定される。

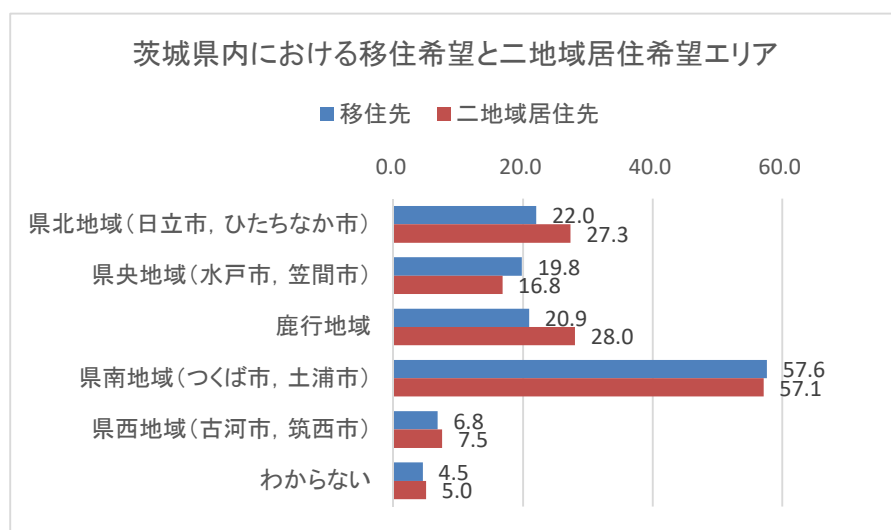
属性別では、千葉県北部，50代が高い程度であり，東京都区部，女性では割合が低くなっている。移住への関心別では，ある程度関心がある人で，茨城県が最も高い割合となっており，こうした層へのアピールも効果的と考えられる。

クロス表						
			Q11 北関東の移住希望			
			茨城県	栃木県	群馬県	わからない
		計				
合計		1000	17.7%	13.2%	12.5%	62.2%
居住エリア	東京都東区部	250	12.0%	14.0%	14.4%	65.6%
	千葉県北部	250	23.6%	11.2%	12.8%	57.6%
	千葉県北中西部	250	18.4%	12.8%	13.6%	60.0%
	千葉県中部	250	16.8%	14.8%	9.2%	65.6%
年代	30代	147	15.0%	14.3%	10.9%	68.0%
	40代	303	15.8%	13.5%	11.2%	64.4%
	50代	312	20.5%	14.4%	14.4%	58.7%
	60代	238	18.1%	10.5%	12.6%	60.5%
性別	男	661	20.6%	13.3%	14.2%	58.5%
	女	339	12.1%	13.0%	9.1%	69.3%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	24.4%	24.4%	26.7%	44.2%
	ある程度関心	208	29.3%	17.3%	13.5%	48.1%
	あまり関心なし	209	15.8%	14.8%	17.2%	57.4%
	関心がない	433	12.9%	9.0%	7.4%	73.0%

居住 千葉県北部 ▲東京都区部
年代 差なし
性別 ▲女性

⑤ 鹿行地域への移住希望

上述の茨城県の選択者（177 サンプル）に，県内各地域の選好をたずねた。その結果，茨城県の中で，県南地域が57.6%から支持されており，県北，県央，鹿行地域は2割前後の選好に留まっている。県西はより厳しい結果（6.8%）である。



居住地域別では千葉県中部 28.6%，千葉県北中西部 26.1%が鹿行地域へやや高い数値を示している。注目したいのは千葉県北部であり，鹿行地域への希望は 10%にしか過ぎない。東京都区部，千葉県 4 地区全てで県南地域への希望が 5 割あることは特筆すべきである。また 30 代，女性といった属性での低さも留意しておきたい。

クロス表								
		Q12 移住希望_茨城県内						
		計	県北地 域	県央地 域	鹿行地 域	県南地 域	県西地 域	わから ない
合計		1000	22.0%	19.8%	20.9%	57.6%	6.8%	4.5%
居住工 リア	東京都東区部	250	26.7%	16.7%	23.3%	56.7%	13.3%	3.3%
	千葉県北部	250	18.6%	16.9%	10.2%	59.3%	6.8%	5.1%
	千葉県北中西部	250	26.1%	19.6%	26.1%	56.5%	0.0%	4.3%
	千葉県中部	250	19.0%	26.2%	28.6%	57.1%	9.5%	4.8%
年代	30代	147	22.7%	18.2%	9.1%	68.2%	9.1%	0.0%
	40代	303	12.5%	12.5%	25.0%	75.0%	8.3%	6.3%
	50代	312	31.3%	23.4%	23.4%	51.6%	6.3%	4.7%
	60代	238	18.6%	23.3%	18.6%	41.9%	4.7%	4.7%
性別	男	661	22.8%	22.1%	23.5%	55.9%	7.4%	2.9%
	女	339	19.5%	12.2%	12.2%	63.4%	4.9%	9.8%
Q7 移 住への 関心度	関心がある	86	38.1%	47.6%	33.3%	47.6%	19.0%	0.0%
	ある程度関心	208	18.0%	26.2%	18.0%	55.7%	11.5%	6.6%
	あまり関心なし	209	30.3%	9.1%	24.2%	57.6%	3.0%	0.0%
	関心がない	433	17.9%	10.7%	14.3%	60.7%	0.0%	7.1%

居住 千葉県中部，千葉県北中西部 ▲千葉県北部
 年代 40代 ▲30代
 性別 ▲女性

なお，上記の数値は，茨城県の選択者を母集団としている数値のために，全体サンプルを分母とした場合にはもっと低い割合となる。全体サンプル（1,000 人）ベースで計算し直すと，移住先として鹿行地域を選択するのは 37 人（出現率 3.7%）。さらに言えば，この数値は，移住関心なしの人も含めた数字なので，それを踏まえると，「移住に関心あり」0.7%，「移住にある程度関心がある」1.1%合わせて 1.8%が出現率としてはより実態に近い数値となる。たとえとしては，調査対象の 4 地域で移住規模を尋ねた場合，100 人聞いたうちの 1 人，多くて 2 人が鹿行地域へ将来的に移住しても良いと考えている，といった回答が得られる。

また地域別サンプル 250 人を分母で言えば，千葉県中部 4.8%，千葉県北中西部 4.8%，東京都区部 2.8%，千葉県北部 2.4%といった割合になる。

3) 移住に関わる生活スタイル、居住形態 (Q13～15)

①望ましい生活スタイル

移住を仮定する場合の望ましい生活スタイルとしては、“街中や郊外など、買い物などにほどよく便利な場所に暮らす”が最も好ましいものとして 60.8%の支持を集めており、次に割合が高い“駅に近接しており、首都圏や他地域への移動に便利な場所で暮らす”は 24.7%に達しこの二つで 85%に達する。この両者に共通するのは足回りや移動における利便さであり、この要因が選好理由として高くなっている。一方で、都市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らすは、優先順位としては低く、第一優先事項では 12.8%に留まる。第二優先でも 23.9%と決して高い数値とはいえず、第三優先事項になると、38.5%から挙げられるようになる。つまり、“都市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす”という価値は、足回りや移動の利便性に比べるとプライオリティは非常に少ない結果となっている。利便性が満たされた上で、自然豊かな田舎というプラスアルファの様子が求められていることが鮮明な結果となって現れていると言える。他選択肢である、“様々な人と交流できる場所で暮らす”といった要素は望ましい生活としてのイメージは非常に希薄である。

生活スタイルとして「市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす」を第一優先として挙げる人は、全体で 12.8%と少数であった。千葉中部居住者、30 代がやや高い割合であった。女性はやや低い割合となった。

クロス表						
		Q13_1 望む暮らしスタイル1位				
		計	街中や郊外など、買い物などにほどよく便利な場所で暮らす	都市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす	駅に近接しており、首都圏や他地域への移動に便利な場所で暮らす	大学の近くなど、学生や留学生など様々な人と交流できる場所で暮らす
	合計	1000	60.8%	12.8%	24.7%	1.7%
居住エリア	東京都東区部	250	58.0%	12.8%	26.4%	2.8%
	千葉県北部	250	63.6%	10.4%	23.6%	2.4%
	千葉県北中西部	250	64.0%	12.8%	22.0%	1.2%
	千葉県中部	250	57.6%	15.2%	26.8%	.4%
年代	30代	147	57.1%	15.6%	23.1%	4.1%
	40代	303	64.0%	12.5%	21.5%	2.0%
	50代	312	59.9%	12.2%	27.9%	0.0%
	60代	238	60.1%	12.2%	25.6%	2.1%
性別	男	661	60.4%	15.3%	22.5%	1.8%
	女	339	61.7%	8.0%	28.9%	1.5%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	57.0%	17.4%	23.3%	2.3%
	ある程度関心	208	51.9%	21.2%	24.0%	2.9%
	あまり関心なし	209	61.2%	11.5%	26.3%	1.0%
	関心がない	433	65.6%	8.5%	24.9%	.9%

居住 千葉県中部

年代 30代

性別 ▲女性

生活スタイルとして「市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす」を第2優先として挙げる人は、全体で23.9%となった。千葉北部居住者、30代、男性がやや高い割合であった。

		Q13_2 望む暮らしスタイル2位				
		計	便利な場所 で暮らす	自然豊かな田舎 で暮らす	移動に便 利な場所 で暮らす	交流でき る場所で 暮らす
合計		1000	31.2%	23.9%	41.9%	3.0%
居住エリア	東京都東区部	250	34.8%	18.4%	44.8%	2.0%
	千葉県北部	250	26.4%	30.4%	39.2%	4.0%
	千葉県北中西部	250	28.8%	24.0%	44.4%	2.8%
	千葉県中部	250	34.8%	22.8%	39.2%	3.2%
年代	30代	147	30.6%	28.6%	36.7%	4.1%
	40代	303	29.0%	24.8%	44.6%	1.7%
	50代	312	34.3%	24.0%	38.5%	3.2%
	60代	238	30.3%	19.7%	46.2%	3.8%
性別	男	661	29.7%	28.4%	38.6%	3.3%
	女	339	34.2%	15.0%	48.4%	2.4%
Q7 移住への 関心度	関心がある	86	33.7%	30.2%	32.6%	3.5%
	ある程度関心	208	37.0%	21.2%	38.9%	2.9%
	あまり関心なし	209	30.1%	25.8%	40.7%	3.3%
	関心がない	433	28.6%	20.6%	47.6%	3.2%

居住 千葉県北部 ▲東京都区部
年代 30代
性別 ▲女性

クロス表						
		Q13_3 望む暮らしスタイル3位				
		計	便利な場所 で暮らす	自然豊かな田舎 で暮らす	移動に便 利な場所 で暮らす	交流でき る場所で 暮らす
合計		1000	6.6%	38.5%	29.2%	25.7%
居住エリア	東京都東区部	250	6.0%	36.8%	25.2%	32.0%
	千葉県北部	250	8.0%	38.0%	33.6%	20.4%
	千葉県北中西部	250	5.6%	43.2%	28.4%	22.8%
	千葉県中部	250	6.8%	36.0%	29.6%	27.6%
年代	30代	147	10.9%	36.1%	36.1%	17.0%
	40代	303	5.0%	38.3%	29.4%	27.4%
	50代	312	5.1%	37.8%	30.1%	26.9%
	60代	238	8.0%	41.2%	23.5%	27.3%
性別	男	661	8.0%	36.6%	33.4%	21.9%
	女	339	3.8%	42.2%	20.9%	33.0%
Q7 移住への 関心度	関心がある	86	5.8%	33.7%	36.0%	24.4%
	ある程度関心	208	10.1%	39.4%	32.2%	18.3%
	あまり関心なし	209	8.1%	41.6%	30.1%	20.1%
	関心がない	433	4.6%	39.3%	24.5%	31.6%

②居住形態の希望

居住形態としては、新築一戸建てが最も望まれており（45.7%）、新築の共同住宅と合わせて考えると、中古の住宅の価値は全体からすると限られると思われる。所有形態の別はともかく「古民家」といった場合でも 15%前後しか希望されていない結果となっている。移住に関心ありでは、賃貸、自己所有ともに古民家を意向する割合が目立って高い点も留意したい。

クロス表									
			Q14 移住先での居住形態希望						
		計	新築一戸建て	新築の共同住宅（マンション・アパート）	古民家（賃貸）	古民家（自己所有）	中古の共同住宅（マンション・アパート）	介護等サービス付き（高齢者住宅）	その他
合計		1000	45.7%	30.4%	15.4%	17.2%	20.2%	8.1%	0.6%
居住エリア	東京都東区部	250	39.6%	34.4%	17.2%	13.6%	22.4%	7.6%	.4%
	千葉県北部	250	48.8%	30.4%	15.6%	16.4%	21.2%	5.6%	.8%
	千葉県北中西部	250	49.6%	24.4%	13.6%	17.6%	16.0%	8.4%	1.2%
	千葉県中部	250	44.8%	32.4%	15.2%	21.2%	21.2%	10.8%	0.0%
年代	30代	147	49.7%	30.6%	13.6%	18.4%	24.5%	3.4%	2.0%
	40代	303	52.1%	29.7%	13.2%	17.5%	16.8%	6.6%	.3%
	50代	312	43.9%	29.5%	17.6%	17.0%	22.4%	9.0%	.3%
	60代	238	37.4%	32.4%	16.4%	16.4%	18.9%	11.8%	.4%
性別	男	661	47.0%	26.9%	16.6%	18.3%	18.9%	5.7%	.8%
	女	339	43.1%	37.2%	13.0%	15.0%	22.7%	12.7%	.3%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	44.2%	38.4%	27.9%	27.9%	33.7%	2.3%	0.0%
	ある程度関心	208	42.8%	35.1%	22.6%	23.6%	28.4%	7.2%	0.0%
	あまり関心なし	209	46.4%	28.2%	17.2%	16.7%	19.6%	8.6%	.5%
	関心がない	433	47.3%	28.9%	9.5%	12.2%	14.3%	9.9%	.9%

③移住で不安なこと

移住する際の不安や課題点については、地元の人との人間関係（56.3%）、医療機関（50.9%）と過半数に達し、買い物先（49.6%）、気候などの自然条件（35.0%）などとなっている。レストランなど外食先、娯楽やレジャーの場所などは 15%と比較的低い割合となっており、あまり問題視されていない傾向である。子どもの教育、子育て環境などについても全体としては低いですが、これは全年代の関心ごとではないためであり、30代、40代に限って言えば高い割合となっている。

クロス表														
Q15 移住で不安なこと														
		計	地元の 人との 人間関係	子供の 教育	仕事の こと	医療機 関のこと	買い物 先	税金や 社会保 険料の こと	気候な ど自然 条件	子育て 環境	図書 館、公 民館な ど文化 施設	レスト ランな ど外食 先	娯楽や レ ジャー の場所	その他
	合計	1000	56.3%	11.1%	40.9%	50.9%	49.6%	18.0%	35.0%	7.1%	15.3%	15.0%	14.9%	1.2%
居住工 リア	東京都東区部	250	54.4%	10.4%	44.0%	48.0%	44.0%	15.6%	30.8%	7.6%	16.8%	15.6%	15.6%	.4%
	千葉県北部	250	60.4%	10.8%	40.4%	48.4%	51.2%	16.4%	32.0%	7.2%	14.0%	14.0%	14.8%	1.2%
	千葉県北中西部	250	52.0%	8.8%	38.4%	52.0%	49.6%	19.6%	38.8%	6.0%	16.0%	16.0%	13.6%	1.6%
	千葉県中部	250	58.4%	14.4%	40.8%	55.2%	53.6%	20.4%	38.4%	7.6%	14.4%	14.4%	15.6%	1.6%
年代	30代	147	47.6%	22.4%	51.7%	28.6%	46.3%	19.7%	21.1%	19.0%	10.2%	12.2%	19.0%	2.0%
	40代	303	56.1%	19.1%	49.2%	40.9%	44.6%	17.5%	34.3%	9.9%	16.5%	14.5%	16.5%	.3%
	50代	312	58.7%	6.1%	44.6%	55.4%	54.2%	17.3%	37.8%	3.5%	13.8%	16.0%	13.8%	1.6%
	60代	238	58.8%	.4%	18.9%	71.4%	52.1%	18.5%	40.8%	.8%	18.9%	16.0%	11.8%	1.3%
性別	男	661	53.9%	8.8%	40.4%	48.4%	45.1%	17.4%	31.0%	5.3%	11.3%	13.0%	13.8%	.9%
	女	339	61.1%	15.6%	41.9%	55.8%	58.4%	19.2%	42.8%	10.6%	23.0%	18.9%	17.1%	1.8%
Q7 移 住への 関心度	関心がある	86	52.3%	15.1%	40.7%	48.8%	37.2%	23.3%	34.9%	8.1%	19.8%	9.3%	10.5%	0.0%
	ある程度関心	208	61.1%	12.5%	46.2%	51.4%	49.5%	18.8%	35.1%	9.6%	13.5%	16.3%	14.4%	2.4%
	あまり関心なし	209	58.4%	11.5%	42.1%	49.8%	56.5%	18.7%	35.9%	5.3%	15.8%	16.3%	14.8%	0.0%
	関心がない	433	54.3%	10.2%	40.2%	53.8%	50.3%	15.0%	35.1%	7.2%	15.2%	15.0%	15.5%	1.2%
Q13_1 移住の 生活ス タイル	買い物に便利	608	54.8%	11.5%	36.8%	47.7%	49.3%	16.8%	31.9%	7.6%	12.7%	13.0%	11.5%	1.3%
	自然豊かな田舎	128	57.8%	10.2%	50.8%	50.8%	35.2%	13.3%	31.3%	5.5%	10.2%	6.3%	15.6%	.8%
	移動に便利	247	59.5%	10.1%	46.2%	59.9%	58.3%	23.5%	45.3%	6.9%	23.9%	24.7%	23.1%	1.2%
	交流できる場所	17	52.9%	17.6%	35.3%	35.3%	41.2%	17.6%	23.5%	5.9%	23.5%	11.8%	11.8%	0.0%

4) 二地域居住についての認識 (Q16～20)

①二地域居住への関心

関心がある 7.1%，ある程度関心がある 17.2%と，移住に対する興味関心よりも低い数値となっている。関心がないが 63.6%と多数派である。わからないとする人も 12.1%と移住のわからないよりもやや高い割合で，まとまった数存在していることが明らかになった。

居住地別では千葉県北部でやや高く，千葉県北中西部で低い傾向である。年代や性別ではあまり差がなく，2割台の人が関心を示している。

ところで，移住と二地域居住はどのような関係にあるのだろうか。クロス集計したところ，移住に関心がある人で二地域居住に「関心がある」(27.9%)，「ある程度関心がある」(38.4%)で，関心の重なりもかなり見られるものの，“関心がない”計 28%も存在し，両者が完全に重なり合うわけではないことがわかった。移住，二地域居住とはやや異なった志向やニーズが存在しており，それらに即した訴求や施策が必要であろう。

クロス表									
			Q16 二地域居住について関心度合い					関心がある計	関心がない計
		計	関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	関心がない	わからない		
合計		1000	7.1%	17.2%	21.3%	42.3%	12.1%	24.3%	63.6%
居住エリア	東京都東区部	250	7.2%	16.4%	20.0%	46.0%	10.4%	23.6%	66.0%
	千葉県北部	250	8.4%	20.0%	21.2%	34.4%	16.0%	28.4%	55.6%
	千葉県北中西部	250	7.2%	13.6%	22.0%	44.8%	12.4%	20.8%	66.8%
	千葉県中部	250	5.6%	18.8%	22.0%	44.0%	9.6%	24.4%	66.0%
年代	30代	147	5.4%	17.0%	21.8%	36.7%	19.0%	22.4%	58.5%
	40代	303	7.3%	18.5%	22.1%	36.0%	16.2%	25.7%	58.1%
	50代	312	8.3%	15.7%	19.2%	47.1%	9.6%	24.0%	66.3%
	60代	238	6.3%	17.6%	22.7%	47.5%	5.9%	23.9%	70.2%
性別	男	661	7.1%	17.7%	20.7%	41.8%	12.7%	24.8%	62.5%
	女	339	7.1%	16.2%	22.4%	43.4%	10.9%	23.3%	65.8%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	27.9%	38.4%	12.8%	15.1%	5.8%	66.3%	27.9%
	ある程度関心	208	13.9%	37.0%	27.9%	12.0%	9.1%	51.0%	39.9%
	あまり関心なし	209	3.3%	19.6%	40.7%	29.2%	7.2%	23.0%	69.9%
	関心がない	433	1.8%	4.2%	11.5%	70.9%	11.5%	6.0%	82.4%

居住 千葉県北部 ▲千葉県北中西部

年代 差なし

性別 差なし

②現在の住まいから見た二地域居住地の移動距離許容度

二地域居住先の距離の許容度についても 50 キロ圏内が 22.4%，100 キロ圏内が 11.8% 合わせて、34.2%と回答者の 1/3 から許容範囲とされている。しかし、移住と同じで、わからないとの回答が 53.4%と過半数存在し、距離ではイメージできないことがうかがわれる結果となった。二地域居住関心ありでは、100 キロ圏内は2割台で許容範囲がやや広がっている。

クロス表										
			Q17 現在のお住まいから許容距離							
		計	50 k m圏 内	100 k m圏 内	150 k m圏 内	200 k m圏 内	300 k m圏 内	400 k m圏 内	400 k m以 上	わから ない
合計		1000	22.4%	11.8%	3.4%	3.4%	1.3%	.6%	3.7%	53.4%
居住工 リア	東京都東区部	250	29.6%	10.0%	3.6%	2.0%	.8%	.8%	2.0%	51.2%
	千葉県北部	250	19.2%	14.0%	4.4%	4.4%	.4%	.8%	4.4%	52.4%
	千葉県北中西部	250	19.2%	10.4%	2.8%	3.6%	2.4%	.4%	3.6%	57.6%
	千葉県中部	250	21.6%	12.8%	2.8%	3.6%	1.6%	.4%	4.8%	52.4%
年代	30代	147	22.4%	8.2%	4.8%	5.4%	.7%	1.4%	0.0%	57.1%
	40代	303	25.1%	8.6%	2.6%	3.3%	2.0%	.7%	3.3%	54.5%
	50代	312	22.8%	13.1%	3.2%	3.5%	1.3%	.6%	4.5%	51.0%
	60代	238	18.5%	16.4%	3.8%	2.1%	.8%	0.0%	5.5%	52.9%
性別	男	661	21.5%	13.5%	4.2%	4.2%	1.5%	.8%	4.5%	49.8%
	女	339	24.2%	8.6%	1.8%	1.8%	.9%	.3%	2.1%	60.5%
Q16 2 地域居 住の関 心度	関心がある	71	25.4%	22.5%	7.0%	4.2%	5.6%	0.0%	14.1%	21.1%
	ある程度関心	172	23.8%	22.1%	9.3%	8.7%	4.1%	.6%	9.3%	22.1%
	あまり関心なし	213	27.7%	17.8%	2.8%	4.2%	.9%	.5%	.5%	45.5%
	関心がない	423	21.5%	5.2%	1.4%	.9%	0.0%	.5%	2.1%	68.3%

③二地域居住希望地としての北関東

二地域居住の希望地域としては、南関東が 57.9%と、移住に続き選好されている様子が鮮明である。北関東は 15.3%と他地域を押さえて 2 位に浮上しており、北信越、東海、沖縄よりもやや高い数値となっている。このことは北関東が二地域居住とした場合、比較的適していると想定された結果の現れと見ることもできよう。

年代による有意な差はなく、性別では女性がやや低い傾向が見て取れる（女性の場合は、南関東と外国を除く全エリアで、男性よりも選好割合が低い）。二地域居住に関心ありでは、北関東を挙げる人が 38%も存在し、またある程度関心ありでも 27%と、北関東も選択肢には十分入っているようすである。

クロス表																
		Q18 「2地域居住」希望地域（いくつでも）														
		計	北海道	北東北 (青森県、岩手県、秋田県)	南東北 (宮城県、山形県、福島県)	北関東 (茨城県、栃木県、群馬県)	南関東 (埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)	北信越 (山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県)	東海 (静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、静岡県、和歌山県)	関西 (滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)	山陰・山陽 (鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)	四国 (香川県、愛媛県、徳島県、高知県)	北九州 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県)	南九州 (宮崎県、鹿児島県)	沖縄県	外国
合計		1000	8.1%	2.6%	5.9%	15.3%	57.9%	12.9%	10.6%	5.6%	2.8%	2.3%	3.6%	2.7%	10.3%	8.9%
居住エリア	東京都東区部	250	8.4%	2.8%	6.0%	12.8%	58.8%	9.6%	10.4%	5.2%	1.6%	1.6%	4.8%	2.4%	10.0%	10.4%
	千葉県北部	250	8.4%	3.2%	6.0%	20.8%	58.8%	15.2%	15.2%	6.0%	3.2%	2.4%	4.0%	2.8%	11.6%	9.6%
	千葉県北中西部	250	8.0%	1.2%	6.0%	12.0%	56.0%	15.2%	6.8%	4.4%	2.8%	2.0%	1.6%	2.8%	9.6%	8.0%
	千葉県中部	250	7.6%	3.2%	5.6%	15.6%	58.0%	11.6%	10.0%	6.8%	3.6%	3.2%	4.0%	2.8%	10.0%	7.6%
年代	30代	147	6.8%	4.8%	4.1%	15.0%	61.2%	13.6%	5.4%	3.4%	1.4%	1.4%	5.4%	3.4%	8.8%	8.2%
	40代	303	9.6%	2.6%	6.3%	14.9%	57.8%	10.2%	10.6%	6.3%	3.3%	2.3%	3.6%	2.3%	9.9%	9.2%
	50代	312	7.7%	1.6%	6.7%	17.0%	55.8%	11.9%	14.1%	7.1%	3.2%	3.2%	3.5%	2.9%	10.6%	10.6%
	60代	238	7.6%	2.5%	5.5%	13.9%	58.8%	17.2%	9.2%	4.2%	2.5%	1.7%	2.5%	2.5%	11.3%	6.7%
性別	男	661	9.5%	3.2%	7.0%	17.4%	55.5%	14.4%	12.6%	5.7%	3.0%	2.7%	4.1%	3.3%	10.9%	7.6%
	女	339	5.3%	1.5%	3.8%	11.2%	62.5%	10.0%	6.8%	5.3%	2.4%	1.5%	2.7%	1.5%	9.1%	11.5%
Q13_1	買い物に便利	608	8.4%	3.0%	5.8%	13.3%	57.4%	12.3%	10.4%	5.6%	2.6%	2.1%	2.8%	2.3%	10.9%	9.5%
移住の生活スタイル	自然豊かな田舎	128	10.2%	3.1%	10.2%	31.3%	48.4%	22.7%	10.2%	4.7%	3.9%	3.1%	4.7%	5.5%	10.9%	7.0%
	移動に便利	247	6.1%	1.2%	3.6%	12.1%	64.8%	8.1%	10.5%	6.1%	2.8%	2.0%	4.9%	1.6%	8.1%	8.5%
	交流できる場所	17	11.8%	5.9%	11.8%	11.8%	47.1%	29.4%	23.5%	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%	11.8%	17.6%	5.9%
Q16_2	関心がある	71	15.5%	9.9%	16.9%	38.0%	56.3%	28.2%	18.3%	9.9%	5.6%	4.2%	7.0%	7.0%	19.7%	11.3%
地域居住の関心	ある程度あり	172	11.6%	4.1%	8.7%	27.3%	52.9%	25.0%	16.3%	9.3%	5.2%	5.2%	9.9%	6.4%	15.1%	7.6%
	あまり関心なし	213	3.8%	.9%	4.2%	20.2%	57.7%	15.5%	13.6%	4.2%	1.4%	2.3%	2.8%	0.0%	6.6%	7.5%
	関心がない	423	6.1%	1.9%	4.3%	6.4%	64.1%	6.1%	6.6%	4.0%	1.9%	1.2%	1.4%	2.4%	8.0%	8.5%

居住 千葉県北部

年代 差なし

性別 ▲女性

④茨城県への二地域居住希望

二地域居住の中での北関東の選択肢の中では、茨城県は栃木県、群馬県を抑えて最も割合が高いが、実際にほとんど差はない。わからないとする人も多く（63.6%）、移住と同様にこれらの地域で二地域居住する具体的なイメージが想起しづらい状況があるのではないかな。

千葉県北中西部や千葉県中部でも茨城県が最も選好されているものの、栃木県、群馬県と僅差であり、現居住エリアと二地域居住希望地は必ずしも地理的に近接していることを前提としない意識も垣間見られる。この点で言えば、二地域居住の意向者は広域から呼び寄せることもでき、近隣エリア居住者だけがターゲットではないことも示唆している。

属性別では、年代による目立った差はなく、性別では女性の割合が低い。

クロス表						
		Q19 北関東の居住希望				
		計	茨城県	栃木県	群馬県	わからない
合計		1000	16.1%	13.8%	14.3%	63.6%
居住エリア	東京都東区部	250	10.0%	15.2%	13.2%	68.4%
	千葉県北部	250	21.6%	11.2%	16.8%	58.0%
	千葉県北中西部	250	17.6%	14.0%	14.8%	60.4%
	千葉県中部	250	15.2%	14.8%	12.4%	67.6%
年代	30代	147	12.9%	8.8%	15.0%	70.7%
	40代	303	15.5%	14.5%	11.6%	66.7%
	50代	312	17.6%	15.7%	18.3%	59.6%
	60代	238	16.8%	13.4%	12.2%	60.5%
性別	男	661	18.2%	14.7%	16.6%	59.6%
	女	339	12.1%	12.1%	9.7%	71.4%
Q13_1	買い物に便利	608	12.5%	13.5%	12.5%	67.6%
移住の理由	自然豊かな田舎	128	28.1%	23.4%	27.3%	39.8%
生活スタイル	移動に便利	247	17.4%	10.1%	12.1%	66.0%
	交流できる場所	17	35.3%	5.9%	11.8%	64.7%
Q16_2	関心がある	71	31.0%	26.8%	23.9%	36.6%
地域居住の関心	ある程度あり	172	26.2%	29.7%	26.7%	36.0%
	あまり関心なし	213	17.8%	11.7%	15.0%	62.9%
	関心がない	423	11.3%	9.0%	9.0%	74.0%

居住 千葉県北部 ▲東京都区部

年代 差なし

性別 ▲女性

⑤鹿行地域への二地域居住希望

茨城県の選択者（161 サンプル）ベースで県内地域を聞いた。茨城県内での二地域居住の選択肢に入るのかどうかという点であるが、結果より、県南地域（57.1%）を挙げる割合が高く、鹿行地域（28.0%）はそれに続く割合であるものの、県南地域の半数程度に留まっている。鹿行地域の割合は、県北（27.3%）、県央（16.8%）エリアよりも高い割合となっている。

移住希望とは異なる傾向が見いだされた。一つは千葉県中部と千葉県北中西部居住者の選好が集まったこと、そして千葉県北部居住者も低いながらも2割近くの選好を集めている。東京都区部は移住よりも割合を下げている。40代での割合高く、30代、女性は有意に低い結果となった。

クロス表								
			Q20 居住希望_茨城県内					
		計	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	わからない
合計			161	27.3%	16.8%	28.0%	57.1%	7.5%
居住エリア	東京都東区部	25	28.0%	24.0%	20.0%	60.0%	12.0%	8.0%
	千葉県北部	54	25.9%	14.8%	18.5%	53.7%	5.6%	5.6%
	千葉県北中西部	44	27.3%	11.4%	34.1%	56.8%	2.3%	6.8%
	千葉県中部	38	28.9%	21.1%	39.5%	60.5%	13.2%	0.0%
年代	30代	19	26.3%	15.8%	15.8%	68.4%	15.8%	0.0%
	40代	47	17.0%	14.9%	34.0%	70.2%	8.5%	6.4%
	50代	55	41.8%	18.2%	32.7%	54.5%	3.6%	5.5%
	60代	40	20.0%	17.5%	20.0%	40.0%	7.5%	5.0%
性別	男	120	30.0%	19.2%	32.5%	57.5%	7.5%	.8%
	女	41	19.5%	9.8%	14.6%	56.1%	7.3%	17.1%
Q13_1	買い物に便利	76	27.6%	15.8%	27.6%	59.2%	7.9%	5.3%
移住の生活スタイル	自然豊かな田舎	36	44.4%	19.4%	33.3%	55.6%	11.1%	2.8%
	移動に便利	43	14.0%	16.3%	20.9%	55.8%	4.7%	7.0%
	交流できる場所	6	16.7%	16.7%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
Q16_2	関心がある	22	27.3%	22.7%	50.0%	54.5%	4.5%	4.5%
地域居住の関心	ある程度あり	45	42.2%	26.7%	28.9%	51.1%	11.1%	6.7%
	あまり関心なし	38	10.5%	15.8%	31.6%	63.2%	10.5%	2.6%
	関心がない	48	25.0%	8.3%	14.6%	58.3%	2.1%	6.3%

居住 千葉県中部，千葉県北中西部 ▲千葉県北部，東京都区部

年代 40代 ▲30代

性別 ▲女性

移住の分析コメントで述べた通り、全体サンプル（1,000 サンプル）ベースで見た場合には、二地域居住地として鹿行地域を選択するのは45人（出現率4.5%）で、移住よりもわずかながら増加している。地域別で言えば、千葉県中部6.0%、千葉県北中西部6.0%、千葉県北東部4.0%、東京都区部2.0%という結果である。

二地域居住に関心なしの人も含めた数字なので、それを踏まえると、二地域居住に関心あり1.1%、ある程度関心がある1.3%合わせて2.4%が出現率の想定となる。

5) 農業体験についての認識 (Q21～23)

①農作物栽培への関心

農作物の栽培に関心がある人は、関心がある 5.9%，ある程度関心がある 18.7%と、合わせても 24.6%と、全回答者の 1/4 に届かずに少数に留まっている。関心をまったく示さない層“関心がない” は 42.9%と高い割合で存在している。

居住地による差は見られない。年代で言えば 60 代が最も高い割合であるが、それほど差が開いているわけではない。性別では女性が低い結果となっている。

クロス表									
			Q21 農作物栽培に携わることの関心						
			関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	関心がない	わからない	関心がある計	関心がない計
計									
合計			1000	5.9%	18.7%	22.5%	42.9%	10.0%	
居住エリア	東京都東区部	250	6.4%	18.8%	17.6%	45.6%	11.6%	25.2%	63.2%
	千葉県北部	250	5.2%	20.4%	27.2%	36.0%	11.2%	25.6%	63.2%
	千葉県北中西部	250	6.4%	17.6%	22.0%	45.2%	8.8%	24.0%	67.2%
	千葉県中部	250	5.6%	18.0%	23.2%	44.8%	8.4%	23.6%	68.0%
年代	30代	147	6.1%	16.3%	17.7%	43.5%	16.3%	22.4%	61.2%
	40代	303	5.6%	18.2%	22.1%	40.6%	13.5%	23.8%	62.7%
	50代	312	5.1%	19.6%	21.8%	46.8%	6.7%	24.7%	68.6%
	60代	238	7.1%	19.7%	26.9%	40.3%	5.9%	26.9%	67.2%
性別	男	661	7.0%	20.4%	22.2%	41.0%	9.4%	27.4%	63.2%
	女	339	3.8%	15.3%	23.0%	46.6%	11.2%	19.2%	69.6%
Q16 地域居住の関心	関心がある	71	28.2%	36.6%	11.3%	18.3%	5.6%	64.8%	29.6%
	ある程度あり	172	9.3%	37.2%	34.3%	17.4%	1.7%	46.5%	51.7%
	あまり関心なし	213	3.8%	18.8%	45.1%	26.3%	6.1%	22.5%	71.4%
	関心がない	423	3.1%	11.3%	11.6%	69.5%	4.5%	14.4%	81.1%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	22.1%	22.1%	22.1%	25.6%	8.1%	44.2%	47.7%
	ある程度関心	208	7.2%	35.6%	31.7%	20.2%	5.3%	42.8%	51.9%
	あまり関心なし	209	4.8%	22.0%	34.9%	31.1%	7.2%	26.8%	66.0%
	関心がない	433	2.5%	9.2%	14.3%	65.8%	8.1%	11.8%	80.1%

居住 差なし

年代 差なし（加齢により関心度は向上）

性別 ▲女性

②農作物栽培への携わり方

栽培への携わり方としては、自宅の庭や近隣での栽培が 43.9%と半数近くになり、それ以外は兼業農家 16.7%，手伝い 13.8%と収入に結びつくような形態となっている。家庭農園をもつニーズ割合は 10.2%とごく少数に留まる。

農作物の栽培に関心がある人は、具体的にどのような携わり方を想定しているのか。関心がある人では、就業としての農業従事、兼業農家、家庭菜園などの幅広い携わり方を想定しているようである。またある程度関心があるでは、自宅の庭や近隣での栽培などより手軽な携わり方が挙げられている。

クロス表									
Q22 農作物の栽培の取り組みへの携わり方									
		計	主要な職（就）業として農業に従事する	職業を別に持ち、兼業農家として関わる	農業をしているところの作物付け、手入れ、収穫を手伝う	自宅の庭や近隣で農作物を栽培する（している）	自分の庭とは別のところで家庭農園を持ち、栽培する	その他	わからない
合計		246	5.3%	16.7%	13.8%	43.9%	10.2%	.8%	9.3%
居住エリア	東京都東区部	63	9.5%	17.5%	12.7%	42.9%	7.9%	0.0%	9.5%
	千葉県北部	64	3.1%	20.3%	14.1%	45.3%	4.7%	3.1%	9.4%
	千葉県北中西部	60	3.3%	6.7%	13.3%	51.7%	16.7%	0.0%	8.3%
	千葉県中部	59	5.1%	22.0%	15.3%	35.6%	11.9%	0.0%	10.2%
年代	30代	33	3.0%	24.2%	21.2%	27.3%	9.1%	3.0%	12.1%
	40代	72	5.6%	19.4%	11.1%	44.4%	9.7%	0.0%	9.7%
	50代	77	6.5%	22.1%	14.3%	37.7%	6.5%	1.3%	11.7%
	60代	64	4.7%	3.1%	12.5%	59.4%	15.6%	0.0%	4.7%
性別	男	181	5.5%	21.0%	13.8%	39.2%	11.0%	.6%	8.8%
	女	65	4.6%	4.6%	13.8%	56.9%	7.7%	1.5%	10.8%
Q16 地域居住の関心	関心がある	46	8.7%	26.1%	10.9%	37.0%	10.9%	0.0%	6.5%
	ある程度あり	80	2.5%	22.5%	22.5%	36.3%	8.8%	0.0%	7.5%
	あまり関心なし	48	4.2%	10.4%	14.6%	47.9%	6.3%	2.1%	14.6%
	関心がない	61	8.2%	8.2%	4.9%	55.7%	14.8%	1.6%	6.6%
Q7 移住への関心度	関心がある	38	10.5%	28.9%	13.2%	34.2%	5.3%	0.0%	7.9%
	ある程度関心	89	3.4%	25.8%	19.1%	37.1%	7.9%	1.1%	5.6%
	あまり関心なし	56	3.6%	3.6%	16.1%	51.8%	10.7%	0.0%	14.3%
	関心がない	51	5.9%	9.8%	2.0%	56.9%	15.7%	2.0%	7.8%
Q21 農作物栽培	関心がある	59	13.6%	20.3%	10.2%	33.9%	13.6%	0.0%	8.5%
	ある程度関心が	187	2.7%	15.5%	15.0%	47.1%	9.1%	1.1%	9.6%

③農作物栽培へ関心がない理由

関心がない理由としては、そもそもやりたいと思わないからが 42.8%といったように、興味関心から外れている人が多いが、体力に自信がないから 28.7%，栽培に取り組むにはハードルが高いから 24.6%といった層では、ある程度のサポートが存在することが知れば、取り組む動機が向上することも考えられる層である。収入が安定しない 20.9%，仕事が大変そうで、決まった休みが取れそうもないから 19.3%など待遇面での懸念を持つ人もまとまった割合で存在することがわかった。

クロス表												
			Q23 農業に関心がない理由									
			栽培を やった ことも ない し、や りたい と思 わな い から	栽培に 取り組 むに は、 ハー ド ル が 高 い か ら	栽培を やって みた い けど、 どう す れ ば 良 い か わ か ら な い か ら	栽培の 仕事 が 大 変 そ う で、 決 ま っ た 休 み が 取 れ そ う も な い か ら	収入が 安定し そう も な い か ら	家族の 負担が 大き い か ら	体力に 自信が ない か ら	設備投 資にお 金がか かり そう だ か ら	その他	わか ら な い
	合計	654	42.8%	24.6%	9.3%	19.3%	20.9%	11.8%	28.7%	15.6%	1.2%	12.4%
居住工 リア	東京都東区部	158	42.4%	21.5%	10.8%	17.7%	21.5%	10.8%	20.9%	18.4%	0.0%	16.5%
	千葉県北部	158	39.9%	27.8%	7.0%	16.5%	19.6%	15.2%	26.6%	13.3%	2.5%	12.0%
	千葉県北中西部	168	42.9%	26.8%	10.7%	17.9%	17.9%	13.1%	30.4%	14.3%	1.2%	10.7%
	千葉県中部	170	45.9%	22.4%	8.8%	24.7%	24.7%	8.2%	36.5%	16.5%	1.2%	10.6%
年代	3 0 代	90	40.0%	24.4%	6.7%	13.3%	20.0%	17.8%	18.9%	16.7%	2.2%	17.8%
	4 0 代	190	43.7%	24.2%	7.9%	20.5%	25.8%	8.4%	26.8%	14.2%	1.1%	11.1%
	5 0 代	214	36.9%	23.8%	10.7%	17.8%	21.5%	11.2%	30.8%	18.7%	.9%	16.8%
	6 0 代	160	51.3%	26.3%	10.6%	23.1%	15.0%	13.1%	33.8%	12.5%	1.3%	5.0%
性別	男	418	42.8%	23.7%	10.0%	20.1%	21.8%	10.5%	25.1%	14.1%	1.4%	14.1%
	女	236	42.8%	26.3%	8.1%	17.8%	19.5%	14.0%	35.2%	18.2%	.8%	9.3%
Q13_1	買い物に便利	406	43.3%	24.4%	9.6%	20.2%	21.2%	11.6%	28.6%	15.0%	1.5%	12.8%
移住の	自然豊かな田舎	55	29.1%	21.8%	12.7%	25.5%	29.1%	12.7%	21.8%	16.4%	0.0%	9.1%
生活ス	移動に便利	187	47.1%	26.2%	8.0%	15.0%	17.6%	11.8%	30.5%	16.6%	1.1%	12.3%
スタイル	交流できる場所	6	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%
Q21 農	あまり関心なし	225	27.1%	34.2%	16.0%	28.0%	26.2%	18.7%	32.4%	17.8%	1.3%	5.8%
作栽培	関心がない	429	51.0%	19.6%	5.8%	14.7%	18.2%	8.2%	26.8%	14.5%	1.2%	15.9%

6) 鹿行地域、行方市との関わり (Q24～27)

①茨城県内地域への訪問経験

茨城県への来訪者は、5年以内に来訪経験なし 55.8%を除く、44.2%が訪問したと回答した。割合が高いのは県南 29.0%、県北 17.2%。それに鹿行 14.7%、県央 14.4%と続く。県西は 10%と低い。

鹿行地域の訪問経験については、居住地別では千葉県北中西部 21.6%が目立って高く、千葉県北部 (15.2%)、千葉県中部 (14.4%) が同程度で続いている。東京都区部は、7.6%に過ぎない。年代では差がなく、性別では女性が低い。

クロス表								
			Q24 茨城県内の訪問先					
		計	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	茨城訪問無し
合計			1000	17.2%	14.4%	14.7%	29.0%	10.1%
居住エリア	東京都東区部	250	13.2%	10.0%	7.6%	14.8%	6.0%	68.8%
	千葉県北部	250	18.8%	17.6%	15.2%	50.4%	16.0%	37.2%
	千葉県北中西部	250	20.0%	16.4%	21.6%	31.2%	10.0%	53.2%
	千葉県中部	250	16.8%	13.6%	14.4%	19.6%	8.4%	64.0%
年代	30代	147	14.3%	10.9%	13.6%	26.5%	10.9%	57.1%
	40代	303	14.2%	11.9%	14.2%	26.7%	4.6%	58.1%
	50代	312	19.9%	17.0%	15.1%	31.7%	14.4%	55.1%
	60代	238	19.3%	16.4%	15.5%	29.8%	10.9%	52.9%
性別	男	661	20.6%	16.9%	17.9%	31.8%	11.8%	50.8%
	女	339	10.6%	9.4%	8.6%	23.6%	6.8%	65.5%

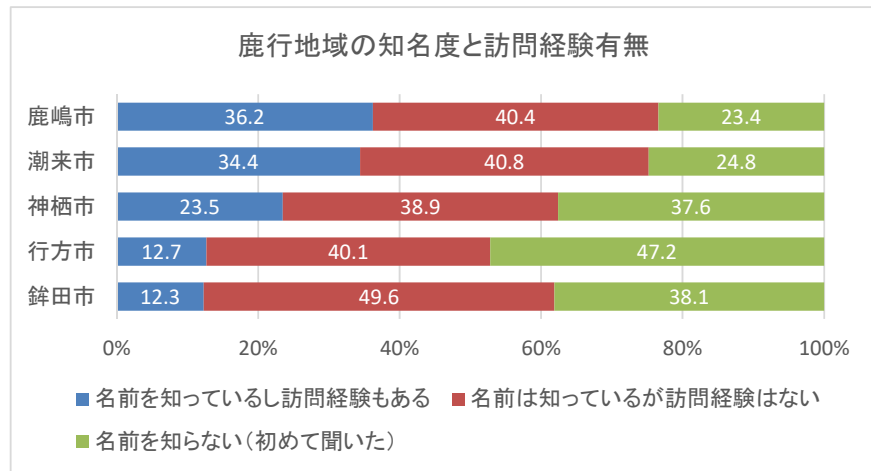
居住 千葉県北中西部 ▲東京都区部

年代 差なし

性別 ▲女性

②茨城県内地域の知名度や訪問経験

茨城県の鹿行地域の中での知名度や訪問経験については、訪問経験ありという指標では、鹿島市 36.2%、潮来市 34.4%、神栖市 23.5%、行方市 12.7%、鉾田市 12.3%という割合になっている。名前を知っているといった認知レベルで言えば、名前を知らないという割合が最も高いのは行方市 47.2%で、半数近くに知られていない結果となった。これに続くのは、鉾田市 38.1%、神栖市 37.6%であり、逆に鹿島市 23.4%、潮来市は 24.8%と低い割合となっている。総じて言えば、行方市の認知度不足は鹿行地域の中では頭一つ抜け出したものとなっているのである。



行方市の認知度は52.8%（「名前を知っているし訪問経験もある」12.7%＋「名前を知っているが訪問経験はない」40.1%）である。千葉県北部60.8%、千葉県北中西部60.4%が同程度で高く、千葉県中部、東京都区部では4割台に留まっている。年代性別では30代が35%と極端に低く、女性も41%という結果であった。

クロス表					
			Q25_4 行方市の認知		
			名前 認知、 訪問経 験あり	名前 認知、 訪問経 験なし	認知 なし
		計			
合計		1000	12.7%	40.1%	47.2%
居住工 リア	東京都東区部	250	6.0%	40.8%	53.2%
	千葉県北部	250	17.2%	43.6%	39.2%
	千葉県北中西部	250	19.6%	40.8%	39.6%
	千葉県中部	250	8.0%	35.2%	56.8%
年代	30代	147	11.6%	23.8%	64.6%
	40代	303	10.9%	40.6%	48.5%
	50代	312	14.1%	42.9%	42.9%
	60代	238	13.9%	45.8%	40.3%
性別	男	661	16.6%	42.2%	41.1%
	女	339	5.0%	36.0%	59.0%

居住 千葉県北部，千葉県北中西部 ▲千葉県中部，東京都区部
 年代 60代 ▲30代
 性別 ▲女性

③行方市訪問経験者の訪問頻度、理由

行方市の訪問経験者 127 人のうち、ここ 5 年間の来訪頻度は、5 年以上行っていないが 32.3%と 1/3 を占め、5 年に一度が 18.1%，1～2 年に一度が 17.3%などとなっている。半年に 1 回程度を“定期的訪問者”として考えるならば、そうした人の割合は、22.0%と 1/5 という結果である。

クロス表										
			Q26 行方市への最近 5 年での訪問頻度							
		計	2 週間に 1 回くらい	1 か月に 1 回くらい	2～3 か月に 1 回くらい	半年に 1 回くらい	1～2 年に 1 回くらい	3～4 年に 1 回くらい	5 年に 1 回くらい	5 年以上行っていない
合計		127	1.6%	6.3%	3.1%	11.0%	17.3%	10.2%	18.1%	32.3%
居住エリア	東京都東区部	15	0.0%	6.7%	0.0%	13.3%	13.3%	6.7%	20.0%	40.0%
	千葉県北部	43	0.0%	9.3%	0.0%	14.0%	18.6%	7.0%	18.6%	32.6%
	千葉県北中西部	49	4.1%	6.1%	6.1%	10.2%	16.3%	12.2%	16.3%	28.6%
	千葉県中部	20	0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	20.0%	15.0%	20.0%	35.0%
年代	30代	17	0.0%	5.9%	11.8%	5.9%	17.6%	11.8%	23.5%	23.5%
	40代	33	3.0%	0.0%	0.0%	21.2%	9.1%	12.1%	18.2%	36.4%
	50代	44	0.0%	4.5%	2.3%	9.1%	22.7%	6.8%	18.2%	36.4%
	60代	33	3.0%	15.2%	3.0%	6.1%	18.2%	12.1%	15.2%	27.3%
性別	男	110	1.8%	7.3%	3.6%	12.7%	16.4%	10.0%	15.5%	32.7%
	女	17	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.5%	11.8%	35.3%	29.4%

訪問理由で最も高い割合は、行方市内の名所を訪ねるため 24.4% (全サンプルの 3.1%)，行方市内の特産品を食べたり，購入するため 15.0%，行方市内のイベントや行事を見物するため 12.6%などとなっている。仕事に関わる用事のため 18.1%，市内在住の友人・知人を訪問するため 15.0%といった人間関係も基礎的な動機付けになっていることが示唆される。分類上雑多な用途が入っている「その他」22.2%にも上る。

クロス表											
			Q27 行方市の訪問理由								
			行方市 内への 通勤や 通学のため	(職場 が別の ところ にある が) 仕 事に関 わる用 事のため	行方市 内で常 的な買 い物す るため	行方市 内の名 所を訪 ねるた め	行方市 内の特 産品を 食べたり、購 入する ため	行方市 内のイ ベント や行事 を見物 するた め	市内在 住の友 人・知 人を訪 問する ため	市内に 別宅が ある (あっ た)	その他
		計									
合計		127	0.8%	18.1%	0.8%	24.4%	15.0%	12.6%	15.0%	0.8%	22.0%
居住エリア	東京都東区部	15	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	33.3%	13.3%	13.3%	6.7%	13.3%
	千葉県北部	43	0.0%	11.6%	0.0%	23.3%	14.0%	18.6%	16.3%	0.0%	18.6%
	千葉県北中西部	49	0.0%	20.4%	2.0%	22.4%	6.1%	10.2%	18.4%	0.0%	30.6%
	千葉県中部	20	5.0%	40.0%	0.0%	20.0%	25.0%	5.0%	5.0%	0.0%	15.0%
年代	3 0 代	17	0.0%	23.5%	0.0%	17.6%	17.6%	11.8%	11.8%	0.0%	17.6%
	4 0 代	33	0.0%	3.0%	3.0%	33.3%	9.1%	21.2%	18.2%	3.0%	18.2%
	5 0 代	44	2.3%	29.5%	0.0%	18.2%	22.7%	6.8%	9.1%	0.0%	22.7%
	6 0 代	33	0.0%	15.2%	0.0%	27.3%	9.1%	12.1%	21.2%	0.0%	27.3%
性別	男	110	.9%	20.9%	.9%	22.7%	14.5%	13.6%	14.5%	.9%	21.8%
	女	17	0.0%	0.0%	0.0%	35.3%	17.6%	5.9%	17.6%	0.0%	23.5%

④行方市内の名所の認知、訪問経験

行方市内の名所を挙げて認知度を尋ねたところ、霞ヶ浦 68.1%が突出していたほかは、北浦 19.4%が高いものの、それ以外は観光帆船の 5.3%が最も高い他、一桁台の認知であった。なめがたファーマーズヴィレッジについては 3.5%と低い認知に留まっている。

なめがたファーマーズヴィレッジ認知者（35 人）に、訪問経験を尋ねたところ、行ったことがあるは、19 人（全体の 1.9%）であり、1 回行ったことがある 11 人、2～4 回行ったことがある 8 人といった回答であった。わずかなサンプルでしかないが、2 回以上のリピーターの存在を確認できた。ファーマーズヴィレッジ来訪者（19 人）のうち、何をしているのかは、ファクトリーミュージアム、自然食レストラン、地元産品の買い物などである。

クロス表																	
			Q28 行方市内の施設名所の認知度														
			霞ヶ浦	北浦	なめが た ファ- ーマ- ーズ ヴィ レッジ	霞ヶ浦 ふれあ いラン ド	観光物 産館こ いこい	あそ う 温泉白 帆の湯	天王崎 公園	観光帆 引船	北浦温 泉北浦 荘	西蓮寺	井上山 百合の 里	沖洲芸 術村	三味塚 古墳公 園	知って いる施 設や名 所はな い	
	合計	1000	68.1%	19.4%	3.5%	3.9%	1.7%	1.8%	2.1%	5.3%	1.4%	1.6%	0.4%	0.4%	0.9%	28.0%	
居住 エリア	東京都東区部	250	64.0%	11.6%	2.8%	.8%	2.0%	2.0%	2.4%	5.2%	1.6%	2.4%	.8%	.4%	1.6%	32.4%	
	千葉県北部	250	74.0%	23.2%	4.8%	6.8%	3.2%	2.8%	2.0%	6.4%	2.4%	2.0%	0.0%	.4%	.8%	19.2%	
	千葉県北中西部	250	68.4%	24.8%	4.0%	6.0%	1.2%	2.0%	2.0%	6.4%	1.6%	.8%	.4%	.4%	.8%	28.8%	
	千葉県中部	250	66.0%	18.0%	2.4%	2.0%	.4%	.4%	2.0%	3.2%	0.0%	1.2%	.4%	.4%	.4%	31.6%	
年代	3 0 代	147	43.5%	10.2%	5.4%	4.8%	2.7%	4.1%	2.7%	1.4%	2.7%	2.7%	.7%	.7%	.7%	48.3%	
	4 0 代	303	63.7%	16.2%	3.6%	4.3%	3.0%	2.0%	2.0%	2.6%	1.7%	2.0%	.7%	.7%	1.3%	31.7%	
	5 0 代	312	73.4%	21.8%	2.6%	3.2%	.3%	1.0%	1.6%	7.1%	.6%	1.0%	.3%	0.0%	.6%	24.4%	
	6 0 代	238	81.9%	26.1%	3.4%	3.8%	1.3%	1.3%	2.5%	8.8%	1.3%	1.3%	0.0%	.4%	.8%	15.5%	
性別	男	661	72.5%	26.2%	4.2%	4.8%	1.8%	2.3%	2.6%	7.4%	1.8%	1.4%	.3%	.2%	.8%	22.5%	
	女	339	59.6%	6.2%	2.1%	2.1%	1.5%	.9%	1.2%	1.2%	.6%	2.1%	.6%	.9%	1.2%	38.6%	

⑤市内施設への訪問経験と再訪意向

ファーマーズヴィレッジの再訪意向については、サンプル（来訪者 19 人）が希少なために参考値に過ぎないものの、ぜひ行きたい（4 人, 21.1%）、まあ行ってみたい（11 人, 57.9%）で、行きたいと思わないといったネガティブな意見は 2 人（10.5%）しかいないことから、再訪意向が強く持たれていると思われる。

クロス表					
			Q29 ファーマーズヴィレッジ訪問有無		
		計	1 回行ったことがある	2～4 回行ったことがある	行ったことはない
合計			35	31.4%	45.7%
居住エリア	東京都東区部	7	28.6%	28.6%	42.9%
	千葉県北部	12	16.7%	25.0%	58.3%
	千葉県北中西部	10	40.0%	10.0%	50.0%
	千葉県中部	6	50.0%	33.3%	16.7%
年代	30代	8	25.0%	25.0%	50.0%
	40代	11	18.2%	27.3%	54.5%
	50代	8	37.5%	25.0%	37.5%
	60代	8	50.0%	12.5%	37.5%
性別	男	28	32.1%	28.6%	39.3%
	女	7	28.6%	0.0%	71.4%

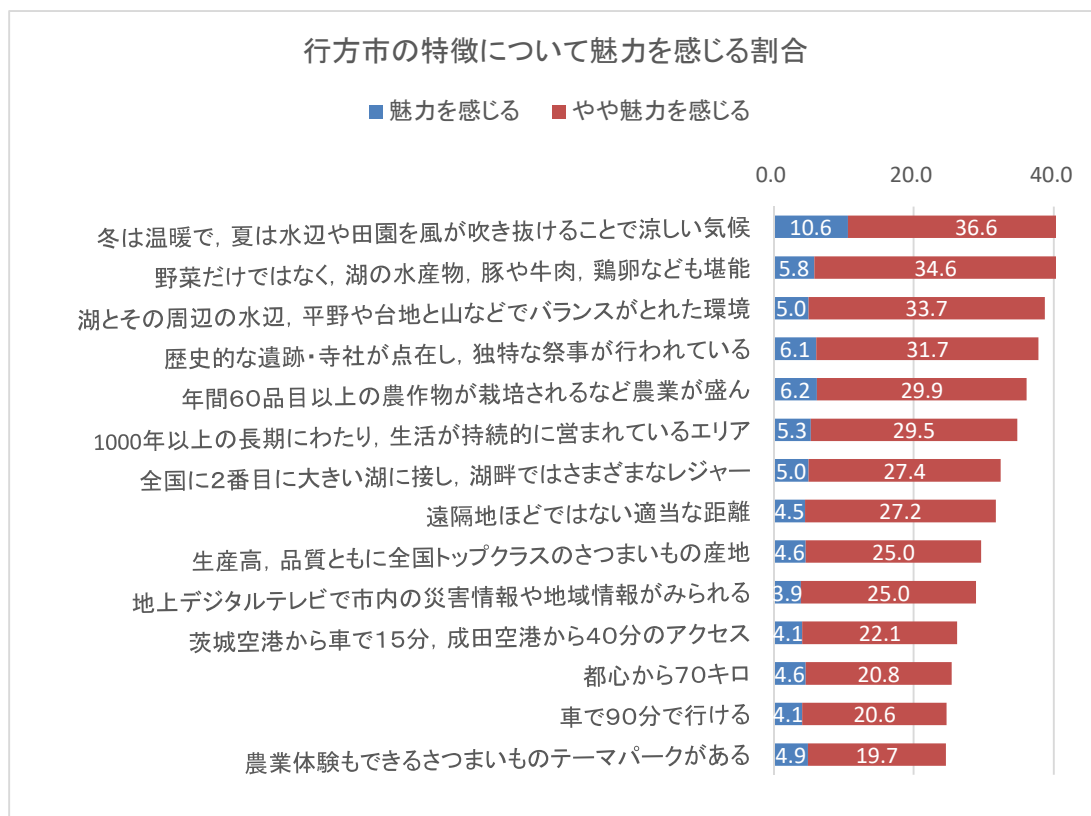
霞ヶ浦ふれあいランド，天王崎公園への訪問経験は，認知者（55 人）のうちの 78.2%と多数になっている。1 回行ったことがある 47.3%，2～4 回行ったことがある 23.6%で，5 回以上行っているという人も 4 人存在する。来訪者（43 人）における霞ヶ浦ふれあいランド，天王崎公園での体験として多いのが，日中の風景を楽しむが 74.4%と最も高く，続いてサンセットが 27.9%，ボルダリング 11.6%などとなっている。日の出（サンライズ）は，9.3%に留まっている。

7) 行方市に魅力を感じるのかどうか (Q34)

①市内の特色に関する魅力喚起

行方市の特徴を文章文字レベルで提示し、その魅力度を測定した。最も魅力が高いとされたのは、“冬は温暖で、夏は水辺や田園の風が吹き抜けることで涼しい気候である”といった気候に関する記述についてであり、魅力を感じる 10.6%、やや魅力を感じる 36.6%で、魅力を感じる計 47.2%と半数近くの人から魅力が感じられるというものであった。

このほか、魅力を感じる計が4割を超えるのは、“野菜だけではなく、湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能できる”で 40.4%となっている。



次に3割を超えるのは、“湖とその周辺の水辺、平野や台地と山などでバランスがとれた環境である” 38.7%，“歴史的な遺跡・寺社が点在し、独特な祭事が各所で行われている” 37.8%，“年間 60 品目以上の農作物が栽培されるなど農業が盛んである” 36.1%，“1,000 年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである” 34.8%，“全国に2番目に大きい湖に接し、湖畔ではさまざまなレジャーが楽しめる” 32.4%などが高く見られるところである。

逆に魅力に感じられる割合が低かったのは、“農業体験もできるさつまいものテーマパークがある” 24.6%(魅力を感じない計 75.4%)，“車で 90 分で行ける” 24.7%(75.3%)，“都心から 70 キロ” 25.4% (74.6%)，“最寄りの茨城空港から車で 15 分、成田空港から同 40 分でアクセスできる” 26.2% (73.8%) などとなっている。テーマパーク、アクセスそれぞれの表現については、魅力にはつながっていないと考えられる。

②行方市の特色を説明するワードの受容

「都心から70キロ」

魅力を感じる人は全体で25.4%（魅力を感じる4.6%＋やや魅力を感じる20.8%）。千葉県中部在住者29.2%と他3地域と比べると高く、また30代29.9%が魅力を感じている。逆に40代、女性では魅力割合がさほど高くない。

クロス表							
			Q34_1 魅力度合い / 都心から70キロ				
		計	魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり感じない	魅力を感じない	関心がある計 関心がない計
合計		1000	4.6%	20.8%	38.8%	35.8%	25.4% 74.6%
居住エリア	東京都東区部	250	3.6%	20.4%	37.2%	38.8%	24.0% 76.0%
	千葉県北部	250	4.8%	19.6%	43.2%	32.4%	24.4% 75.6%
	千葉県北中西部	250	4.8%	19.2%	40.8%	35.2%	24.0% 76.0%
	千葉県中部	250	5.2%	24.0%	34.0%	36.8%	29.2% 70.8%
年代	30代	147	6.8%	23.1%	29.9%	40.1%	29.9% 70.1%
	40代	303	4.0%	17.8%	43.9%	34.3%	21.8% 78.2%
	50代	312	4.8%	20.5%	37.5%	37.2%	25.3% 74.7%
	60代	238	3.8%	23.5%	39.5%	33.2%	27.3% 72.7%
性別	男	661	5.3%	22.5%	35.9%	36.3%	27.8% 72.2%
	女	339	3.2%	17.4%	44.5%	34.8%	20.6% 79.4%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	16.3%	26.7%	29.1%	27.9%	43.0% 57.0%
	ある程度関心	208	8.2%	33.7%	35.6%	22.6%	41.8% 58.2%
	あまり関心なし	209	2.4%	22.5%	51.2%	23.9%	24.9% 75.1%
	関心がない	433	1.6%	13.6%	37.2%	47.6%	15.2% 84.8%
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	18.3%	35.2%	26.8%	19.7%	53.5% 46.5%
	ある程度あり	172	10.5%	39.5%	34.3%	15.7%	50.0% 50.0%
	あまり関心なし	213	3.3%	22.1%	50.2%	24.4%	25.4% 74.6%
	関心がない	423	1.7%	11.6%	36.2%	50.6%	13.2% 86.8%
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	3.9%	20.9%	39.5%	35.7%	24.8% 75.2%
	自然豊かな田舎	128	8.6%	31.3%	32.0%	28.1%	39.8% 60.2%
	移動に便利	247	3.6%	15.0%	41.3%	40.1%	18.6% 81.4%
	交流できる場所	17	11.8%	23.5%	29.4%	35.3%	35.3% 64.7%

居住 千葉県中部
年代 30代 ▲40代
性別 ▲女性

「車で 90 分で行ける」

魅力を感じる人は全体で 24.7%（魅力を感じる 4.1%＋やや魅力を感じる 20.6%）。居住地，年代では有意な差は見られない。女性は魅力として感じる割合はやや低くなっている。

クロス表								
			Q34_2 魅力度合い / 車で90分で行ける					
		計	魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり感じない	魅力を感じない	関心がある計	関心がない計
合計		1000	4.1%	20.6%	36.8%	38.5%	24.7%	75.3%
居住エリア	東京都東区部	250	4.0%	18.8%	35.6%	41.6%	22.8%	77.2%
	千葉県北部	250	3.2%	20.0%	40.4%	36.4%	23.2%	76.8%
	千葉県北中西部	250	4.0%	22.8%	35.6%	37.6%	26.8%	73.2%
	千葉県中部	250	5.2%	20.8%	35.6%	38.4%	26.0%	74.0%
年代	30代	147	4.8%	22.4%	34.0%	38.8%	27.2%	72.8%
	40代	303	4.6%	17.8%	38.6%	38.9%	22.4%	77.6%
	50代	312	5.1%	18.9%	34.9%	41.0%	24.0%	76.0%
	60代	238	1.7%	25.2%	38.7%	34.5%	26.9%	73.1%
性別	男	661	4.2%	22.8%	35.1%	37.8%	27.1%	72.9%
	女	339	3.8%	16.2%	40.1%	39.8%	20.1%	79.9%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	16.3%	25.6%	25.6%	32.6%	41.9%	58.1%
	ある程度関心	208	6.3%	32.2%	35.6%	26.0%	38.5%	61.5%
	あまり関心なし	209	2.9%	23.9%	47.4%	25.8%	26.8%	73.2%
	関心がない	433	1.4%	13.6%	34.6%	50.3%	15.0%	85.0%
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	18.3%	35.2%	23.9%	22.5%	53.5%	46.5%
	ある程度あり	172	8.1%	40.7%	33.1%	18.0%	48.8%	51.2%
	あまり関心なし	213	1.4%	22.1%	49.3%	27.2%	23.5%	76.5%
	関心がない	423	2.4%	12.3%	31.9%	53.4%	14.7%	85.3%
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	3.3%	20.4%	37.7%	38.7%	23.7%	76.3%
	自然豊かな田舎	128	8.6%	28.9%	35.2%	27.3%	37.5%	62.5%
	移動に便利	247	3.6%	16.2%	36.0%	44.1%	19.8%	80.2%
	交流できる場所	17	5.9%	29.4%	29.4%	35.3%	35.3%	64.7%

居住 差なし

年代 差なし

性別 ▲女性

「遠隔地ほどではない適当な距離である」

魅力を感じる人は全体で 31.7%（魅力を感じる 4.5%＋やや魅力を感じる 27.2%）。居住地では、千葉県北部 34.4%が他に二地区と比較してやや高い割合となっている。また年代では、30代で 36.7%と、やや高めの傾向である。性別による差は見られなかった。

クロス表								
			Q34_3 魅力度合い / 遠隔地ほどではない適当な距離である					
		計	魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり感じない	魅力を感じない	関心がある計	関心がない計
合計			1000	4.5%	27.2%	36.2%	32.1%	
居住エリア	東京都東区部	250	2.8%	27.2%	34.8%	35.2%	30.0%	70.0%
	千葉県北部	250	3.6%	30.8%	36.4%	29.2%	34.4%	65.6%
	千葉県北中西部	250	5.2%	23.6%	40.0%	31.2%	28.8%	71.2%
	千葉県中部	250	6.4%	27.2%	33.6%	32.8%	33.6%	66.4%
年代	30代	147	3.4%	33.3%	30.6%	32.7%	36.7%	63.3%
	40代	303	4.6%	24.4%	37.0%	34.0%	29.0%	71.0%
	50代	312	6.4%	24.0%	36.5%	33.0%	30.4%	69.6%
	60代	238	2.5%	31.1%	38.2%	28.2%	33.6%	66.4%
性別	男	661	5.0%	27.1%	35.4%	32.5%	32.1%	67.9%
	女	339	3.5%	27.4%	37.8%	31.3%	31.0%	69.0%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	14.0%	30.2%	27.9%	27.9%	44.2%	55.8%
	ある程度関心	208	6.7%	39.4%	35.1%	18.8%	46.2%	53.8%
	あまり関心なし	209	4.8%	31.6%	42.6%	21.1%	36.4%	63.6%
	関心がない	433	1.6%	18.7%	36.5%	43.2%	20.3%	79.7%
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	16.9%	33.8%	29.6%	19.7%	50.7%	49.3%
	ある程度あり	172	11.6%	47.1%	29.7%	11.6%	58.7%	41.3%
	あまり関心なし	213	1.9%	32.4%	43.7%	22.1%	34.3%	65.7%
	関心がない	423	1.9%	18.2%	34.5%	45.4%	20.1%	79.9%
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	3.8%	26.3%	37.5%	32.4%	30.1%	69.9%
	自然豊かな田舎	128	8.6%	36.7%	30.5%	24.2%	45.3%	54.7%
	移動に便利	247	4.0%	23.1%	37.2%	35.6%	27.1%	72.9%
	交流できる場所	17	5.9%	47.1%	17.6%	29.4%	52.9%	47.1%

居住 千葉県北部
年代 30代
性別 差なし

「最寄りの茨城空港から車で15分、成田空港から同40分でアクセスできる」

魅力を感じる人は全体で26.2%（魅力を感じる4.1%＋やや魅力を感じる22.1%）。

居住地では大きな差が見られ、東京都区部では16.4%と、最も高い割合の千葉県北部の31.6%と2倍近い開きが生じている。千葉中部もやや高め29.6%となっている。年代、性別による差は見られなかった。

クロス表									
			Q34_4 魅力度合い / 最寄りの 茨城空港から車で15分、成 田空港から同40分でアクセ スできる						
		計	魅力を感じ る	やや魅 力を感じ る	あまり 感じない	魅力を感じない	関心がある計	関心がない計	
合計		1000	4.1%	22.1%	37.9%	35.9%	26.2%	73.8%	
居住エリア	東京都東区部	250	2.8%	13.6%	39.6%	44.0%	16.4%	83.6%	
	千葉県北部	250	3.6%	28.0%	39.2%	29.2%	31.6%	68.4%	
	千葉県北中西部	250	3.2%	24.0%	39.2%	33.6%	27.2%	72.8%	
	千葉県中部	250	6.8%	22.8%	33.6%	36.8%	29.6%	70.4%	
年代	30代	147	6.1%	21.8%	32.0%	40.1%	27.9%	72.1%	
	40代	303	4.6%	22.8%	37.3%	35.3%	27.4%	72.6%	
	50代	312	4.2%	20.8%	38.1%	36.9%	25.0%	75.0%	
	60代	238	2.1%	23.1%	42.0%	32.8%	25.2%	74.8%	
性別	男	661	4.1%	23.0%	38.0%	34.9%	27.1%	72.9%	
	女	339	4.1%	20.4%	37.8%	37.8%	24.5%	75.5%	
Q7 移住への関心度	関心がある	86	10.5%	29.1%	32.6%	27.9%	39.5%	60.5%	
	ある程度関心	208	6.7%	33.2%	40.4%	19.7%	39.9%	60.1%	
	あまり関心なし	209	3.8%	24.9%	45.9%	25.4%	28.7%	71.3%	
	関心がない	433	1.6%	15.0%	34.9%	48.5%	16.6%	83.4%	
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	18.3%	35.2%	31.0%	15.5%	53.5%	46.5%	
	ある程度あり	172	9.3%	37.8%	37.2%	15.7%	47.1%	52.9%	
	あまり関心なし	213	1.9%	24.9%	47.9%	25.4%	26.8%	73.2%	
	関心がない	423	1.4%	13.2%	34.0%	51.3%	14.7%	85.3%	
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	3.6%	22.0%	37.0%	37.3%	25.7%	74.3%	
	自然豊かな田舎	128	7.8%	25.0%	39.1%	28.1%	32.8%	67.2%	
	移動に便利	247	2.0%	20.2%	40.5%	37.2%	22.3%	77.7%	
	交流できる場所	17	23.5%	29.4%	23.5%	23.5%	52.9%	47.1%	

居住 千葉県北部 ▲東京都区部
年代 差なし
性別 差なし

「全国に2番目に大きい湖に接し、湖畔ではさまざまなレジャーが楽しめる」

魅力を感じる人は全体で32.4%（魅力を感じる5.0%＋やや魅力を感じる27.4%）。

東京都区部のみ低めで25.6%に留まっている。千葉県北部36.4%と、中部32.4%よりも高めの傾向となっている。年代では60代のみが有意に高く38.7%、30～50代は30%前後である。性別による差は見られなかった。

クロス表								
			Q34_5 魅力度合い / 全国に2番目に大きい湖に接し、湖畔ではさまざまなレジャーが楽しめる					
		計	魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり感じない	魅力を感じない	関心がある計	関心がない計
合計		1000	5.0%	27.4%	35.4%	32.2%	32.4%	67.6%
居住エリア	東京都東区部	250	2.0%	23.6%	38.4%	36.0%	25.6%	74.4%
	千葉県北部	250	6.4%	30.0%	34.8%	28.8%	36.4%	63.6%
	千葉県北中西部	250	6.4%	28.8%	36.0%	28.8%	35.2%	64.8%
	千葉県中部	250	5.2%	27.2%	32.4%	35.2%	32.4%	67.6%
年代	30代	147	8.2%	23.1%	32.7%	36.1%	31.3%	68.7%
	40代	303	5.0%	26.4%	35.0%	33.7%	31.4%	68.6%
	50代	312	3.8%	25.3%	37.5%	33.3%	29.2%	70.8%
	60代	238	4.6%	34.0%	34.9%	26.5%	38.7%	61.3%
性別	男	661	5.6%	27.5%	34.5%	32.4%	33.1%	66.9%
	女	339	3.8%	27.1%	37.2%	31.9%	31.0%	69.0%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	15.1%	23.3%	31.4%	30.2%	38.4%	61.6%
	ある程度関心	208	5.8%	38.0%	38.9%	17.3%	43.8%	56.3%
	あまり関心なし	209	6.2%	36.8%	35.9%	21.1%	43.1%	56.9%
	関心がない	433	2.5%	19.4%	33.5%	44.6%	21.9%	78.1%
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	14.1%	33.8%	35.2%	16.9%	47.9%	52.1%
	ある程度あり	172	8.1%	48.3%	30.2%	13.4%	56.4%	43.6%
	あまり関心なし	213	3.3%	35.7%	39.4%	21.6%	39.0%	61.0%
	関心がない	423	3.3%	16.5%	33.8%	46.3%	19.9%	80.1%
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	3.9%	27.1%	36.2%	32.7%	31.1%	68.9%
	自然豊かな田舎	128	10.9%	35.2%	30.5%	23.4%	46.1%	53.9%
	移動に便利	247	3.6%	23.9%	36.8%	35.6%	27.5%	72.5%
	交流できる場所	17	17.6%	29.4%	23.5%	29.4%	47.1%	52.9%

居住 千葉県北部 ▲東京都区部
年代 60代
性別 差なし

「湖とその周辺の水辺、平野や台地と山などでバランスがとれた環境である」

魅力を感じる人は全体で 38.7%（魅力を感じる 5.0%＋やや魅力を感じる 33.7%）。

千葉県北部，北中西部ともに 41.2%と，東京都区部 35.2%，中部 37.2%よりも魅力を感じる割合がやや高めとなっている。年代では 60 代のみが有意に高く 44.1%，30～50 代は 37%前後である。こうした地理的な魅力度合いについては，60 代が魅力として首肯する率がやや高めの傾向が散見される。性別による差は見られなかった。

クロス表									
			Q34_6 魅力度合い / 湖とその 周辺の水辺，平野や台地と山 などでバランスがとれた環境 である						
		計	魅力を感じ る	やや魅 力を感じ る	あまり 感じない	魅力を感じない	関心がある計	関心がない計	
合計			1000	5.0%	33.7%	30.5%	30.8%	38.7%	61.3%
居住エリア	東京都東区部	250	4.8%	30.4%	30.8%	34.0%	35.2%	64.8%	
	千葉県北部	250	4.8%	36.4%	32.0%	26.8%	41.2%	58.8%	
	千葉県北中西部	250	5.6%	35.6%	31.2%	27.6%	41.2%	58.8%	
	千葉県中部	250	4.8%	32.4%	28.0%	34.8%	37.2%	62.8%	
年代	3 0 代	147	5.4%	31.3%	27.2%	36.1%	36.7%	63.3%	
	4 0 代	303	5.3%	32.7%	29.7%	32.3%	38.0%	62.0%	
	5 0 代	312	5.4%	30.8%	32.4%	31.4%	36.2%	63.8%	
	6 0 代	238	3.8%	40.3%	31.1%	24.8%	44.1%	55.9%	
性別	男	661	5.6%	33.1%	30.4%	30.9%	38.7%	61.3%	
	女	339	3.8%	34.8%	30.7%	30.7%	38.6%	61.4%	
Q7 移住への 関心度	関心がある	86	17.4%	36.0%	18.6%	27.9%	53.5%	46.5%	
	ある程度関心	208	9.1%	45.2%	27.4%	18.3%	54.3%	45.7%	
	あまり関心なし	209	2.9%	44.5%	32.5%	20.1%	47.4%	52.6%	
	関心がない	433	2.3%	24.0%	32.1%	41.6%	26.3%	73.7%	
Q16 2 地域居 住の関 心	関心がある	71	18.3%	38.0%	29.6%	14.1%	56.3%	43.7%	
	ある程度あり	172	10.5%	55.2%	20.9%	13.4%	65.7%	34.3%	
	あまり関心なし	213	3.3%	41.8%	32.9%	22.1%	45.1%	54.9%	
	関心がない	423	2.4%	23.4%	30.7%	43.5%	25.8%	74.2%	
Q13_1 移住の 生活ス タイル	買い物に便利	608	3.3%	33.7%	31.3%	31.7%	37.0%	63.0%	
	自然豊かな田舎	128	11.7%	39.1%	25.8%	23.4%	50.8%	49.2%	
	移動に便利	247	4.5%	30.8%	32.0%	32.8%	35.2%	64.8%	
	交流できる場所	17	23.5%	35.3%	17.6%	23.5%	58.8%	41.2%	

居住 千葉県北部，千葉県北中西部 ▲東京都区部

年代 60代

性別 差なし

「年間 60 品目以上の農作物が栽培されるなど農業が盛んである」

魅力を感じる人は全体で 36.1%（魅力を感じる 6.2%＋やや魅力を感じる 29.9%）。千葉県北中西部のみがやや高いものの、それ以外の地区ではあまり大差ない。年代では、60 代が 41.6%やや高い割合であるが、それ以外は大きな差はない。性別では差がない。

クロス表								
			Q34_7 魅力度合い / 年間 6 0 品目以上の農作物が栽培されるなど農業が盛んである					
		計	魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり感じない	魅力を感じない	関心がある計	関心がない計
合計		1000	6.2%	29.9%	33.9%	30.0%	36.1%	63.9%
居住エリア	東京都東区部	250	6.4%	26.8%	32.0%	34.8%	33.2%	66.8%
	千葉県北部	250	5.2%	31.2%	38.0%	25.6%	36.4%	63.6%
	千葉県北中西部	250	6.4%	32.0%	34.0%	27.6%	38.4%	61.6%
	千葉県中部	250	6.8%	29.6%	31.6%	32.0%	36.4%	63.6%
年代	3 0 代	147	8.2%	27.9%	29.3%	34.7%	36.1%	63.9%
	4 0 代	303	6.6%	28.7%	33.3%	31.4%	35.3%	64.7%
	5 0 代	312	5.8%	26.9%	36.5%	30.8%	32.7%	67.3%
	6 0 代	238	5.0%	36.6%	34.0%	24.4%	41.6%	58.4%
性別	男	661	5.6%	29.5%	33.9%	31.0%	35.1%	64.9%
	女	339	7.4%	30.7%	33.9%	28.0%	38.1%	61.9%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	16.3%	37.2%	19.8%	26.7%	53.5%	46.5%
	ある程度関心	208	10.6%	39.9%	32.2%	17.3%	50.5%	49.5%
	あまり関心なし	209	5.3%	36.4%	39.2%	19.1%	41.6%	58.4%
	関心がない	433	3.0%	21.2%	34.9%	40.9%	24.2%	75.8%
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	18.3%	42.3%	25.4%	14.1%	60.6%	39.4%
	ある程度あり	172	13.4%	45.9%	29.1%	11.6%	59.3%	40.7%
	あまり関心なし	213	3.8%	39.4%	36.6%	20.2%	43.2%	56.8%
	関心がない	423	3.5%	18.7%	34.8%	43.0%	22.2%	77.8%
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	5.3%	30.1%	34.4%	30.3%	35.4%	64.6%
	自然豊かな田舎	128	9.4%	35.9%	31.3%	23.4%	45.3%	54.7%
	移動に便利	247	6.1%	26.3%	34.4%	33.2%	32.4%	67.6%
	交流できる場所	17	17.6%	29.4%	29.4%	23.5%	47.1%	52.9%

居住 差なし

年代 60代

性別 差なし

「さつまいもの産地である」

魅力を感じる人は全体で 29.6%（魅力を感じる 4.6%＋やや魅力を感じる 25.0%）。千葉県北部 34.0%，千葉県中部 32.0%が高いものの，千葉県北中西部 24.8%と低い数値になっている。30代で 36.7%，40代でも 32.3%で魅力とする人の割合が，それ以上の年代よりもやや高い（50代では 25%に留まる）。性別では差がない。

クロス表								
			Q34_8 魅力度合い / 生産高，品質ともに全国トップクラスのさつまいもの産地である					
		計	魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり感じない	魅力を感じない	関心がある計	関心がない計
合計		1000	4.6%	25.0%	39.2%	31.2%	29.6%	70.4%
居住エリア	東京都東区部	250	4.0%	23.6%	38.0%	34.4%	27.6%	72.4%
	千葉県北部	250	4.8%	29.2%	40.0%	26.0%	34.0%	66.0%
	千葉県北中西部	250	3.2%	21.6%	42.0%	33.2%	24.8%	75.2%
	千葉県中部	250	6.4%	25.6%	36.8%	31.2%	32.0%	68.0%
年代	30代	147	8.2%	28.6%	28.6%	34.7%	36.7%	63.3%
	40代	303	5.3%	27.1%	36.0%	31.7%	32.3%	67.7%
	50代	312	3.5%	21.5%	42.6%	32.4%	25.0%	75.0%
	60代	238	2.9%	24.8%	45.4%	26.9%	27.7%	72.3%
性別	男	661	4.5%	25.0%	38.6%	31.9%	29.5%	70.5%
	女	339	4.7%	25.1%	40.4%	29.8%	29.8%	70.2%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	10.5%	32.6%	29.1%	27.9%	43.0%	57.0%
	ある程度関心	208	5.8%	33.7%	42.8%	17.8%	39.4%	60.6%
	あまり関心なし	209	5.3%	24.4%	49.8%	20.6%	29.7%	70.3%
	関心がない	433	2.5%	20.1%	35.6%	41.8%	22.6%	77.4%
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	12.7%	33.8%	29.6%	23.9%	46.5%	53.5%
	ある程度あり	172	9.3%	40.7%	39.0%	11.0%	50.0%	50.0%
	あまり関心なし	213	3.3%	30.5%	47.4%	18.8%	33.8%	66.2%
	関心がない	423	2.4%	15.4%	36.9%	45.4%	17.7%	82.3%
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	3.9%	24.3%	41.0%	30.8%	28.3%	71.7%
	自然豊かな田舎	128	6.3%	34.4%	32.0%	27.3%	40.6%	59.4%
	移動に便利	247	4.0%	22.3%	38.9%	34.8%	26.3%	73.7%
	交流できる場所	17	23.5%	17.6%	35.3%	23.5%	41.2%	58.8%

居住 千葉県北部，千葉県中部 ▲千葉県北中西部
 年代 30代 ▲50代
 性別 差なし

「農業体験もできるさつまいものテーマパークがある」

魅力を感じる人は全体で 24.6%（魅力を感じる 4.9%＋やや魅力を感じる 19.7%）に留まる。千葉県北部 28.8%、千葉県中部 27.6%が高く、千葉県北中西部 20.0%と低いのは、上記のさつまいもの産地と同じ構図である。30代が高く（34.7%）、50代が最も低い（19.2%）も同様である。性別による差はない。

クロス表								
			Q34_9 魅力度合い / 農業体験 もできるさつまいものテーマ パークがある					
		計	魅力を感じ る	やや魅 力を感じ る	あまり 感じな い	魅力を感じ ない	関心があ る計	関心が ない計
合計		1000	4.9%	19.7%	41.2%	34.2%	24.6%	75.4%
居住エリア	東京都東区部	250	4.0%	18.0%	40.4%	37.6%	22.0%	78.0%
	千葉県北部	250	6.4%	22.4%	42.8%	28.4%	28.8%	71.2%
	千葉県北中西部	250	2.4%	17.6%	43.6%	36.4%	20.0%	80.0%
	千葉県中部	250	6.8%	20.8%	38.0%	34.4%	27.6%	72.4%
年代	30代	147	8.2%	26.5%	27.2%	38.1%	34.7%	65.3%
	40代	303	7.3%	19.8%	38.6%	34.3%	27.1%	72.9%
	50代	312	3.8%	15.4%	46.2%	34.6%	19.2%	80.8%
	60代	238	1.3%	21.0%	46.6%	31.1%	22.3%	77.7%
性別	男	661	5.1%	18.2%	41.6%	35.1%	23.3%	76.7%
	女	339	4.4%	22.7%	40.4%	32.4%	27.1%	72.9%
Q7 移住への 関心度	関心がある	86	12.8%	20.9%	36.0%	30.2%	33.7%	66.3%
	ある程度関心	208	5.8%	28.8%	47.1%	18.3%	34.6%	65.4%
	あまり関心なし	209	5.3%	23.0%	47.4%	24.4%	28.2%	71.8%
	関心がない	433	2.5%	14.1%	37.0%	46.4%	16.6%	83.4%
Q16 2 地域居住の関 心	関心がある	71	16.9%	28.2%	35.2%	19.7%	45.1%	54.9%
	ある程度あり	172	8.7%	32.6%	43.0%	15.7%	41.3%	58.7%
	あまり関心なし	213	3.3%	24.4%	49.3%	23.0%	27.7%	72.3%
	関心がない	423	2.8%	11.6%	36.6%	48.9%	14.4%	85.6%
Q13_1 移住の 生活ス タイル	買い物に便利	608	4.3%	19.1%	42.4%	34.2%	23.4%	76.6%
	自然豊かな田舎	128	7.8%	25.8%	38.3%	28.1%	33.6%	66.4%
	移動に便利	247	4.0%	17.0%	41.3%	37.7%	21.1%	78.9%
	交流できる場所	17	17.6%	35.3%	17.6%	29.4%	52.9%	47.1%

居住 千葉県北部，千葉県中部 ▲千葉県北中西部
年代 30代 ▲50代
性別 差なし

「地上デジタルテレビで市内の災害情報や地域情報がみられる」

魅力を感じる人は全体で 28.9%（魅力を感じる 3.9%＋やや魅力を感じる 25.0%）である。千葉県中部 32.8%，千葉県北部 31.8%が高く，東京都区部は 21.6%にかなり低めとなっている。年代では 30 代（34.0%）が最も高く，50 代が 26.6%とやや低め。性別では，男性よりも女性の方 31.6%が魅力を感じている。

クロス表								
			Q34_10 魅力度合い / 地上デジタルテレビで市内の災害情報や地域情報がみられる					
		計	魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり感じない	魅力を感じない	関心がある計	関心がない計
合計		1000	3.9%	25.0%	40.0%	31.1%	28.9%	71.1%
居住エリア	東京都東区部	250	3.6%	18.0%	44.0%	34.4%	21.6%	78.4%
	千葉県北部	250	4.0%	27.6%	42.4%	26.0%	31.6%	68.4%
	千葉県北中西部	250	4.0%	25.6%	39.2%	31.2%	29.6%	70.4%
	千葉県中部	250	4.0%	28.8%	34.4%	32.8%	32.8%	67.2%
年代	30代	147	8.8%	25.2%	30.6%	35.4%	34.0%	66.0%
	40代	303	3.0%	26.1%	39.3%	31.7%	29.0%	71.0%
	50代	312	4.2%	22.4%	42.9%	30.4%	26.6%	73.4%
	60代	238	1.7%	26.9%	42.9%	28.6%	28.6%	71.4%
性別	男	661	3.6%	23.9%	40.2%	32.2%	27.5%	72.5%
	女	339	4.4%	27.1%	39.5%	28.9%	31.6%	68.4%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	10.5%	26.7%	31.4%	31.4%	37.2%	62.8%
	ある程度関心	208	5.3%	34.1%	43.8%	16.8%	39.4%	60.6%
	あまり関心なし	209	3.3%	28.2%	45.9%	22.5%	31.6%	68.4%
	関心がない	433	2.5%	18.7%	37.4%	41.3%	21.2%	78.8%
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	14.1%	38.0%	31.0%	16.9%	52.1%	47.9%
	ある程度あり	172	8.1%	35.5%	41.9%	14.5%	43.6%	56.4%
	あまり関心なし	213	1.9%	31.0%	46.0%	21.1%	32.9%	67.1%
	関心がない	423	1.9%	17.3%	37.1%	43.7%	19.1%	80.9%
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	3.1%	24.3%	40.3%	32.2%	27.5%	72.5%
	自然豊かな田舎	128	7.0%	27.3%	41.4%	24.2%	34.4%	65.6%
	移動に便利	247	3.2%	25.1%	39.3%	32.4%	28.3%	71.7%
	交流できる場所	17	17.6%	29.4%	29.4%	23.5%	47.1%	52.9%

居住 千葉県中部，千葉県北部 ▲東京都区部
 年代 30代
 性別 女性

「野菜だけではなく、湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能できる」

魅力を感じる人は全体で 40.4%（魅力を感じる 5.8%＋やや魅力を感じる 34.6%）で、14 項目のうち、2 番目に魅力が感じられているものである。地域別では千葉県 3 地域では、4 割を超えており、魅力を感じられているが、東京都区部では 37.6%とやや低めの数値となっている。年代別では 60 代が 44.5%と、他年代が 40%前後であることと比べると、高めの傾向である。性別による差はない。

クロス表								
			Q34_11 魅力度合い / 野菜だけではなく、湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能できる					
		計	魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり感じない	魅力を感じない	関心がある計	関心がない計
合計		1000	5.8%	34.6%	32.0%	27.6%	40.4%	59.6%
居住エリア	東京都東区部	250	4.8%	32.8%	32.4%	30.0%	37.6%	62.4%
	千葉県北部	250	5.6%	36.4%	33.6%	24.4%	42.0%	58.0%
	千葉県北中西部	250	6.0%	34.4%	32.8%	26.8%	40.4%	59.6%
	千葉県中部	250	6.8%	34.8%	29.2%	29.2%	41.6%	58.4%
年代	30代	147	6.8%	32.0%	27.2%	34.0%	38.8%	61.2%
	40代	303	6.9%	33.3%	30.7%	29.0%	40.3%	59.7%
	50代	312	5.1%	33.0%	35.3%	26.6%	38.1%	61.9%
	60代	238	4.6%	39.9%	32.4%	23.1%	44.5%	55.5%
性別	男	661	5.7%	34.6%	31.8%	27.8%	40.4%	59.6%
	女	339	5.9%	34.5%	32.4%	27.1%	40.4%	59.6%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	11.6%	37.2%	24.4%	26.7%	48.8%	51.2%
	ある程度関心	208	9.1%	49.5%	27.4%	13.9%	58.7%	41.3%
	あまり関心なし	209	5.3%	40.2%	35.4%	19.1%	45.5%	54.5%
	関心がない	433	3.5%	25.4%	34.4%	36.7%	28.9%	71.1%
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	19.7%	47.9%	19.7%	12.7%	67.6%	32.4%
	ある程度あり	172	11.0%	53.5%	25.0%	10.5%	64.5%	35.5%
	あまり関心なし	213	3.3%	41.3%	39.0%	16.4%	44.6%	55.4%
	関心がない	423	3.3%	23.9%	32.2%	40.7%	27.2%	72.8%
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	4.4%	35.4%	31.7%	28.5%	39.8%	60.2%
	自然豊かな田舎	128	11.7%	37.5%	28.1%	22.7%	49.2%	50.8%
	移動に便利	247	5.3%	30.8%	34.8%	29.1%	36.0%	64.0%
	交流できる場所	17	17.6%	41.2%	29.4%	11.8%	58.8%	41.2%

居住 ▲東京都区部

年代 60代

性別 差なし

「冬は温暖で、夏は水辺や田園を風が吹き抜けることで涼しい気候である」

魅力を感じる人は全体で 47.2%（魅力を感じる 10.6%＋やや魅力を感じる 36.6%）で、14 項目のうち、最も高い割合で魅力が感じられている。地域別では千葉県 3 地域では、5 割を超えており、魅力を感じられているが、東京都区部では 38.8%と低めの数値となっている。年代別では 60 代が 55.5%と、最も低い 30 代 42.9%や 50 代 43.9%とは開きがある。性別による差はない。

クロス表							
			Q34_12 魅力度合い / 冬は温暖で、夏は水辺や田園を風が吹き抜けることで涼しい気候である				
		計	魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり感じない	魅力を感じない	関心が ある計
合計		1000	10.6%	36.6%	25.8%	27.0%	47.2%
居住エリア	東京都区部	250	8.4%	30.4%	28.8%	32.4%	38.8%
	千葉県北部	250	8.0%	40.8%	28.4%	22.8%	48.8%
	千葉県北中西部	250	14.8%	36.0%	24.4%	24.8%	50.8%
	千葉県中部	250	11.2%	39.2%	21.6%	28.0%	50.4%
年代	30代	147	10.2%	32.7%	25.2%	32.0%	42.9%
	40代	303	11.9%	34.3%	26.1%	27.7%	46.2%
	50代	312	8.7%	35.3%	28.2%	27.9%	43.9%
	60代	238	11.8%	43.7%	22.7%	21.8%	55.5%
性別	男	661	10.0%	36.0%	26.3%	27.7%	46.0%
	女	339	11.8%	37.8%	24.8%	25.7%	49.6%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	15.1%	41.9%	16.3%	26.7%	57.0%
	ある程度関心	208	18.8%	44.2%	24.5%	12.5%	63.0%
	あまり関心なし	209	10.5%	43.5%	28.2%	17.7%	54.1%
	関心がない	433	6.7%	29.3%	27.0%	37.0%	36.0%
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	31.0%	42.3%	16.9%	9.9%	73.2%
	ある程度あり	172	16.9%	53.5%	19.2%	10.5%	70.3%
	あまり関心なし	213	8.5%	45.5%	30.0%	16.0%	54.0%
	関心がない	423	7.8%	27.7%	24.8%	39.7%	35.5%
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	10.0%	36.7%	25.8%	27.5%	46.7%
	自然豊かな田舎	128	17.2%	33.6%	28.9%	20.3%	50.8%
	移動に便利	247	7.3%	38.1%	24.3%	30.4%	45.3%
	交流できる場所	17	29.4%	35.3%	23.5%	11.8%	64.7%

居住 ▲東京都区部

年代 60代 ▲30代

性別 差なし

「1,000年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである」

魅力を感じる人は全体で34.8%（魅力を感じる5.3%＋やや魅力を感じる29.5%）である。地域別では千葉県3地域では、37%前後で魅力を感じられているが、東京都区部では26.8%と低めの数値となっている。年代別では60代が40.8%と、30代～50代が35%前後であることを踏まえるとやや高い数値となっている。性別による差はない。

クロス表									
			Q34_13 魅力度合い / 1, 0 0 0 年以上の長期にわたり, 生活が持続的に営まれている エリアである						
		計	魅力を感じ る	やや魅 力を感 じる	あまり 感じな い	魅力を感じない	関心がある計	関心がない計	
合計		1000	5.3%	29.5%	35.3%	29.9%	34.8%	65.2%	
居住エリア	東京都東区部	250	3.6%	23.2%	39.6%	33.6%	26.8%	73.2%	
	千葉県北部	250	4.4%	33.2%	36.8%	25.6%	37.6%	62.4%	
	千葉県北中西部	250	7.6%	30.0%	33.6%	28.8%	37.6%	62.4%	
	千葉県中部	250	5.6%	31.6%	31.2%	31.6%	37.2%	62.8%	
年代	3 0 代	147	6.8%	27.9%	29.3%	36.1%	34.7%	65.3%	
	4 0 代	303	5.9%	26.7%	37.3%	30.0%	32.7%	67.3%	
	5 0 代	312	5.1%	27.2%	37.5%	30.1%	32.4%	67.6%	
	6 0 代	238	3.8%	37.0%	33.6%	25.6%	40.8%	59.2%	
性別	男	661	5.7%	28.4%	35.6%	30.3%	34.2%	65.8%	
	女	339	4.4%	31.6%	34.8%	29.2%	36.0%	64.0%	
Q7 移住への関心度	関心がある	86	12.8%	34.9%	20.9%	31.4%	47.7%	52.3%	
	ある程度関心	208	6.3%	40.4%	36.5%	16.8%	46.6%	53.4%	
	あまり関心なし	209	6.7%	33.5%	41.1%	18.7%	40.2%	59.8%	
	関心がない	433	3.2%	21.7%	34.9%	40.2%	24.9%	75.1%	
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	19.7%	43.7%	19.7%	16.9%	63.4%	36.6%	
	ある程度あり	172	8.7%	49.4%	27.3%	14.5%	58.1%	41.9%	
	あまり関心なし	213	2.3%	38.5%	41.3%	17.8%	40.8%	59.2%	
	関心がない	423	3.5%	18.2%	35.9%	42.3%	21.7%	78.3%	
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	4.1%	28.9%	35.7%	31.3%	33.1%	66.9%	
	自然豊かな田舎	128	10.9%	32.8%	36.7%	19.5%	43.8%	56.3%	
	移動に便利	247	4.0%	28.7%	34.4%	32.8%	32.8%	67.2%	
	交流できる場所	17	23.5%	35.3%	23.5%	17.6%	58.8%	41.2%	

居住 ▲東京都区部
年代 60代
性別 差なし

「歴史的な遺跡・寺社が点在し、独特な祭事が各所で行われている」

魅力を感じる人は全体で 37.8%（魅力を感じる 6.1%＋やや魅力を感じる 31.7%）である。地域別では千葉県3地域では、38%前後で魅力を感じられているが、東京都区部では 34.0%とやや低めの数値となっている。年代別では 60 代が 44.5%と高い割合だが、50 代では 33.0%とかなり低い割合となっている。30 代～50 代が 35%前後であることを踏まえるとやや高い数値となっている。性別による差はない。

クロス表							
			Q34_14 魅力度合い / 歴史的な遺跡・寺社が点在し、独特な祭事が各所で行われている				
		計	魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり感じない	魅力を感じない	関心がある計 関心がない計
合計		1000	5.3%	29.5%	35.3%	29.9%	34.8%
居住エリア	東京都東区部	250	5.2%	28.8%	31.2%	34.8%	34.0%
	千葉県北部	250	5.6%	33.6%	34.4%	26.4%	39.2%
	千葉県北中西部	250	7.2%	31.6%	31.6%	29.6%	38.8%
	千葉県中部	250	6.4%	32.8%	28.8%	32.0%	39.2%
年代	30代	147	5.4%	31.3%	25.9%	37.4%	36.7%
	40代	303	7.9%	30.0%	31.7%	30.4%	38.0%
	50代	312	5.1%	27.9%	35.6%	31.4%	33.0%
	60代	238	5.5%	39.1%	29.4%	26.1%	44.5%
性別	男	661	6.7%	30.4%	31.9%	31.0%	37.1%
	女	339	5.0%	34.2%	30.7%	30.1%	39.2%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	14.0%	34.9%	22.1%	29.1%	48.8%
	ある程度関心	208	7.7%	42.8%	32.7%	16.8%	50.5%
	あまり関心なし	209	6.2%	35.9%	38.3%	19.6%	42.1%
	関心がない	433	3.9%	24.2%	30.7%	41.1%	28.2%
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	21.1%	39.4%	23.9%	15.5%	60.6%
	ある程度あり	172	11.6%	49.4%	25.6%	13.4%	61.0%
	あまり関心なし	213	2.8%	40.8%	37.1%	19.2%	43.7%
	関心がない	423	3.5%	21.5%	31.0%	44.0%	25.1%
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	5.8%	28.6%	34.2%	31.4%	34.4%
	自然豊かな田舎	128	7.8%	39.1%	30.5%	22.7%	46.9%
	移動に便利	247	4.5%	35.6%	25.9%	34.0%	40.1%
	交流できる場所	17	29.4%	29.4%	23.5%	17.6%	58.8%

居住 ▲東京都区部

年代 60代 ▲50代

性別 差なし

8) 行方市の地域資源と魅力喚起 (Q35～37)

①市内で体験可能なアクティビティに対する興味

行方市で体験できるアクティビティを示し、実際に参加・体験したいと思うものを挙げてもらったところ、湖畔の天然温泉 23.1%が最も高く、続いてそば打ち体験 (18.5%)、野菜栽培・収穫の体験 (17.6%) 果物の栽培・収穫の体験 (18.4%) など食につながる体験がまとまった割合で存在している。またアウトドア的なものとしては、釣り 17.3%, サイクリング 17.1%, 里山散策 14.5%などとなっている。概して体験についてのニーズはさほど感じられていない様子である。“この中に当てはまるものはない” が 43.6%に達しているのはそのためと思われる。行方市ご当地ならでの体験項目、お試し居住体験 9.6%, 農家民泊 7.8%, 観光帆引き船見学船乗船体験 8.2%, 100 キロを走るウルトラマラソン 2.0%などは、いずれも振るわない結果となった。

クロス表											
Q35 行方市で体験の参加意向 (10%以上の項目)											
		計	湖畔の天然温泉	そば打ち体験	果物の栽培・収穫体験	野菜栽培・収穫の体験	釣り	湖畔周遊するサイクリング	里山散策	田舎料理作り	せんべい作り
合計		1000	23.1%	18.5%	18.4%	17.6%	17.3%	17.1%	14.5%	11.4%	11.2%
居住エリア	東京都東区部	250	20.4%	20.4%	19.2%	20.8%	16.8%	16.4%	14.4%	11.2%	9.6%
	千葉県北部	250	19.2%	18.4%	20.0%	18.8%	16.0%	16.4%	13.6%	10.4%	13.2%
	千葉県北中西部	250	26.0%	16.4%	16.0%	13.2%	14.4%	19.2%	16.4%	9.6%	9.2%
	千葉県中部	250	26.8%	18.8%	18.4%	17.6%	22.0%	16.4%	13.6%	14.4%	12.8%
年代	30代	147	16.3%	17.0%	17.7%	15.0%	10.2%	12.9%	12.9%	11.6%	13.6%
	40代	303	20.8%	18.8%	15.2%	16.2%	18.8%	15.5%	12.5%	11.9%	11.6%
	50代	312	22.8%	19.2%	19.6%	18.9%	16.0%	17.9%	12.2%	10.3%	10.3%
	60代	238	30.7%	18.1%	21.4%	19.3%	21.4%	20.6%	21.0%	12.2%	10.5%
性別	男	661	22.2%	18.6%	17.2%	17.5%	21.6%	18.2%	14.7%	10.4%	10.0%
	女	339	24.8%	18.3%	20.6%	17.7%	8.8%	15.0%	14.2%	13.3%	13.6%

クロス表													
Q35 行方市で体験の参加意向 (10%以下の項目)													
		計	お試し居住体験	観光帆引き船見学船乗船体験	農家民泊	ジェットスキー	田植えや稲刈りなど稲作体験	パラセーリング	竹細工	ヨット	オカリナ作り	100キロを走るウルトラマラソン	この中にあてはまるものはない
合計		1000	9.6%	8.2%	7.8%	6.7%	6.6%	6.2%	5.0%	4.4%	3.5%	2.0%	43.6%
居住エリア	東京都東区部	250	8.8%	7.2%	10.4%	5.6%	8.8%	6.0%	5.6%	5.6%	3.6%	1.2%	48.0%
	千葉県北部	250	8.8%	6.8%	5.6%	6.8%	6.8%	8.4%	5.6%	4.4%	2.4%	2.8%	40.4%
	千葉県北中西部	250	9.2%	9.2%	5.6%	6.0%	3.6%	4.4%	4.4%	2.8%	3.2%	2.4%	42.4%
	千葉県中部	250	11.6%	9.6%	9.6%	8.4%	7.2%	6.0%	4.4%	4.8%	4.8%	1.6%	43.6%
年代	30代	147	10.2%	4.1%	6.1%	7.5%	5.4%	7.5%	4.8%	4.8%	4.8%	2.0%	51.7%
	40代	303	11.2%	6.9%	10.2%	8.3%	8.6%	8.3%	5.0%	4.3%	3.0%	2.6%	43.9%
	50代	312	8.7%	8.3%	6.7%	7.4%	6.4%	4.8%	4.8%	4.5%	2.6%	1.9%	44.9%
	60代	238	8.4%	12.2%	7.1%	3.4%	5.0%	4.6%	5.5%	4.2%	4.6%	1.3%	36.6%
性別	男	661	9.8%	8.9%	8.3%	6.8%	7.3%	6.4%	4.8%	5.3%	3.6%	2.7%	41.8%
	女	339	9.1%	6.8%	6.8%	6.5%	5.3%	5.9%	5.3%	2.7%	3.2%	.6%	47.2%

②市の産物に対する興味

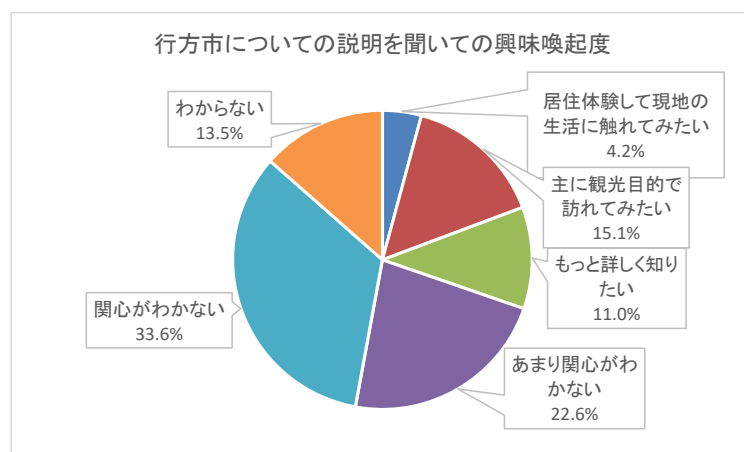
行方市の産物に対する興味喚起度であるが、言葉レベルで最も興味喚起度が高かったのは、干し芋 23.5%，常陸牛 22.4%，フルーツトマト 19.2%など、定番商品としての興味喚起する割合が高くなっている。それ以下では、行方産こしひかり 14.0%，行方産さつまいも 12.9%など、産地と優良銘柄が結びついたものはやや高い数値となっている。ご当地ものらしい合鴨農法の米 14.0%，行方バーガー10.8%や美明豚 11.4%などはいずれも 10%を超える程度であり低い。エリンギ 10.3%，露地レンコン 10.9%も入っている。それ以外の産品については、言葉だけでの説明では、一桁台の興味喚起度に留まる結果となった。“この中に当てはまるものはない” が 41.1%に達している。

クロス表													
Q36 興味を持った特産物（10%以上の項目）													
		計	干し芋	常陸牛	フルーツトマト	行方産こしひかり	行方産さつまいも	美明豚（特殊飼料で栽培した豚肉）	露地レンコン	合鴨農法の米	行方バーガー（豚肉メンチバーガー）	行方バーガー（鴨肉と鶏肉バーガー）	エリンギ
合計			1000	23.5%	22.4%	19.2%	14.0%	12.9%	11.4%	10.9%	10.8%	10.8%	10.3%
居住エリア	東京都東区部	250	17.2%	20.0%	20.4%	14.0%	9.6%	8.8%	9.6%	10.4%	9.6%	8.0%	8.0%
	千葉県北部	250	24.4%	23.6%	19.2%	12.8%	16.0%	12.4%	12.8%	12.4%	12.0%	10.4%	12.4%
	千葉県北中西部	250	25.6%	20.4%	18.4%	11.2%	9.2%	8.4%	9.2%	9.6%	10.0%	10.4%	10.4%
	千葉県中部	250	26.8%	25.6%	18.8%	18.0%	16.8%	16.0%	12.0%	10.8%	11.6%	12.4%	10.4%
年代	30代	147	18.4%	10.2%	16.3%	15.6%	14.3%	9.5%	8.2%	8.8%	14.3%	16.3%	7.5%
	40代	303	23.8%	19.8%	18.5%	19.1%	13.5%	11.9%	11.2%	11.9%	11.6%	12.9%	13.5%
	50代	312	19.9%	26.0%	20.5%	13.5%	12.5%	10.6%	9.9%	10.3%	12.5%	10.3%	9.3%
	60代	238	31.1%	28.6%	20.2%	7.1%	11.8%	13.0%	13.4%	11.3%	5.5%	3.4%	9.2%
性別	男	661	21.5%	23.9%	14.7%	12.6%	11.6%	11.6%	9.7%	11.2%	11.6%	10.1%	8.5%
	女	339	27.4%	19.5%	28.0%	16.8%	15.3%	10.9%	13.3%	10.0%	9.1%	10.6%	13.9%

Q36 興味を持った特産物（ 10%以下の項目 ）														
さつま いもサ ブレ	わかさ ぎの甘 露煮・ 佃煮	ナマズ の唐揚 げ	ナマズ のかば 焼き	行方産 お野菜 ウイン ナー	行方 バー ガー （ ナマ ズバー ガー ）	行方産 の米か ら作っ た日本 酒	サラダ チンゲ ン菜	青パパ イヤ	ナマズ の薄造 り	行方産 芋（ 紅 コガ ネ ）を 使った 芋焼酎	行方 バー ガー （ 鯉を 煮つけ バー ガー ）	アロマ レッド ニンジ ン	鯉の甘 煮	この中 にあて はまる ものは ない
9.3%	9.3%	9.0%	7.4%	6.9%	6.7%	6.7%	6.0%	5.0%	4.9%	3.6%	3.3%	3.3%	3.1%	41.1%
7.6%	7.2%	7.6%	7.2%	5.2%	5.6%	5.2%	6.8%	5.2%	3.6%	1.6%	2.4%	3.6%	2.4%	46.0%
10.8%	9.2%	8.8%	8.4%	8.0%	6.8%	7.2%	7.6%	4.8%	5.6%	4.8%	5.2%	3.6%	3.2%	36.4%
7.2%	10.0%	10.8%	6.0%	5.6%	6.8%	6.0%	3.6%	4.0%	6.0%	3.2%	2.4%	2.0%	4.4%	42.4%
11.6%	10.8%	8.8%	8.0%	8.8%	7.6%	8.4%	6.0%	6.0%	4.4%	4.8%	3.2%	4.0%	2.4%	39.6%
8.2%	7.5%	4.8%	5.4%	7.5%	8.2%	6.8%	5.4%	4.8%	4.8%	2.0%	6.1%	3.4%	2.0%	45.6%
13.5%	7.3%	9.6%	8.6%	8.9%	7.6%	5.9%	7.9%	4.0%	5.0%	3.6%	5.6%	5.0%	3.0%	41.6%
9.0%	6.4%	10.6%	8.0%	6.4%	7.4%	4.8%	4.8%	6.7%	6.1%	3.8%	1.6%	3.2%	2.9%	42.0%
5.0%	16.8%	8.8%	6.3%	4.6%	3.8%	10.1%	5.5%	4.2%	3.4%	4.2%	.8%	1.3%	4.2%	36.6%
7.6%	10.4%	11.5%	9.4%	6.2%	8.2%	7.3%	5.1%	4.2%	6.2%	4.4%	4.1%	1.7%	3.9%	41.8%
12.7%	7.1%	4.1%	3.5%	8.3%	3.8%	5.6%	7.7%	6.5%	2.4%	2.1%	1.8%	6.5%	1.5%	39.8%

③行方市全体への興味関心喚起

ここまでの説明で行方市全般に関する興味関心喚起度について問うたところ、居住体験して現地の生活に触れてみたい 4.2%、主に観光目的で訪れてみたい 15.1%、もっと知りたい 11.0%となっており、この三つ（計 30.3%）が関心喚起に結びついているものと考えられる。一方で興味喚起されていないものの割合は 56.2%と過半数となっている。特に関心がわからない 33.6%と目立って高い割合であり、わからないが 13.5%存在することも留意しておきたい。



■現地の生活に触れみたい

全体の数値では 4.2%と少数である。居住地、年代、性別では特筆すべき差は見られない。

居住 差なし
年代 差なし
性別 差なし

■主に観光目的で訪れたい

全体の数値では、15.1%とまとまった割合を形成している。千葉県内 3 地域では 16%台となっているものの、東京都区部では 11.6%に留まる。観光面では 30 代がやや低いものの、40～60 代は 15%台で安定している。

居住 ▲東京都区部
年代 ▲30 代
性別 差なし

■もっと詳しく知りたいと思った

全体では 11%と低い割合である。大きな地域差は見られないものの、千葉県北部居住者で 14%とわずかな差ながらも他の地域居住者間では最も高い割合となっている。千葉県北中西部では 8%の一桁台に留まっており、既にある程度の知識があるためかやや低い数値になっている。年代別では、50 代、女性の関心の低さがやや見受けられる（もっと詳しく知りたい 7.7%, 8.3%）。

「関心がわからない」（サンプル全体 33.6%）では、東京都区部 39%となっており、言葉レ

ベルでの魅力訴求では興味喚起できなかった。年代別では、30代、50代の関心の低さがやや見られる（関心がわからない30代＝38.8%、50代＝37.8%）。

居住 千葉県北部

年代 ▲50代

性別 ▲女性

クロス表								
			Q37 行方市について関心喚起度					
		計	現地の生活に触れてみたい	観光目的で訪れてみたい	もっと詳しく知りたい	あまり関心がわからない	関心がわからない	わからない
合計			1000	4.2%	15.1%	11.0%	22.6%	33.6%
居住エリア	東京都東区部	250	5.6%	11.6%	10.4%	20.4%	38.8%	13.2%
	千葉県北部	250	2.4%	16.8%	14.0%	24.4%	24.8%	17.6%
	千葉県北中西部	250	4.4%	16.0%	8.0%	25.2%	36.0%	10.4%
	千葉県中部	250	4.4%	16.0%	11.6%	20.4%	34.8%	12.8%
年代	30代	147	4.8%	12.9%	14.3%	14.3%	38.8%	15.0%
	40代	303	4.3%	15.5%	11.2%	22.4%	29.0%	17.5%
	50代	312	4.2%	15.4%	7.7%	22.8%	37.8%	12.2%
	60代	238	3.8%	15.5%	13.0%	27.7%	30.7%	9.2%
性別	男	661	5.3%	14.4%	12.4%	22.2%	31.8%	13.9%
	女	339	2.1%	16.5%	8.3%	23.3%	37.2%	12.7%
Q7 移住への関心度	関心がある	86	12.8%	17.4%	23.3%	12.8%	23.3%	10.5%
	ある程度関心	208	6.3%	23.1%	21.2%	25.5%	14.9%	9.1%
	あまり関心なし	209	2.9%	19.6%	14.8%	29.2%	23.0%	10.5%
	関心がない	433	1.4%	10.2%	3.0%	21.9%	51.3%	12.2%
Q16 2 地域居住の関心	関心がある	71	15.5%	21.1%	26.8%	16.9%	9.9%	9.9%
	ある程度あり	172	8.1%	32.6%	22.7%	19.2%	11.6%	5.8%
	あまり関心なし	213	2.8%	16.4%	15.0%	36.6%	19.7%	9.4%
	関心がない	423	1.9%	9.7%	3.1%	19.4%	58.4%	7.6%
Q13_1 移住の生活スタイル	買い物に便利	608	3.3%	14.1%	9.2%	22.5%	34.7%	16.1%
	自然豊かな田舎	128	11.7%	15.6%	18.8%	21.1%	21.1%	11.7%
	移動に便利	247	2.0%	17.0%	10.5%	23.9%	38.5%	8.1%
	交流できる場所	17	11.8%	17.6%	23.5%	17.6%	17.6%	11.8%
Q21 農作栽培	関心がある	59	28.8%	30.5%	15.3%	6.8%	11.9%	6.8%
	ある程度関心	187	7.0%	26.2%	24.6%	21.4%	11.2%	9.6%
	あまり関心ない	225	3.6%	19.1%	16.9%	41.8%	11.1%	7.6%
	関心がない	429	.5%	8.9%	3.0%	18.9%	61.3%	7.5%

最後に、現地生活に触れてみたい、観光目的で訪れてみたい、もっと詳しく知りたい該当者（303人）に、行方市について訪問したいと思ったり、関心を持った理由として自由記述をもらった。その自由回答の結果から、“現地の生活に触れてみたい”と回答した人は、田舎暮らしや環境の良さ（ゆったり、穏やか、湖畔に面した環境が良さそう）、農業をやってみてみたいといった意見が散見された。“観光目的”として人は、自宅からの距離の近さ、自然環境のよさ、さつまいものテーマパーク、サイクリングなどのアクティビティの多さ（「水

のレジャー、山のレジャー両方が楽しめる」)、ナマズや鯉など「普段食べなさそうな物」への興味などが記されていた。

“もっと知りたい”では、「全く知らない場所なのでどんなところかと思った」「都心にある程度近いながらも、自然の中で生活ができ、また様々な特産物や特徴がある街」といったイメージが喚起されているようであった。

3. アンケート結果から考察されるターゲット像

このWEB アンケート（「地方のくらしや観光に関する意識調査」）は、企画段階より、シティプロモーションの基礎的なデータに資することを目的とし、仮説検証できるような設問を置いている。ここではターゲティングに影響を与えそうなデータをピックアップして考察するものである。

既に各設問に対する概数値（GT）、属性別や行動特性別に見た「クロス集計」についてはこれまで見てきた通りであるが、ここではそれらの知見をまとめ、さらに項目間の影響関係の強さを見る「重回帰分析」といった統計的な手法を使い、“最も行動を起こしてくれそうなターゲット像”について探求する。

【考察のポイント】

- ①ターゲットのジオ&デモグラフィック（居住特性、人口統計学的属性）な特性
→現在どこに住んでいる人で、何歳くらいで、性別は男女どちらか。
- ②ターゲットのサイコグラフィック（心理学的属性）な特性
→どのようなライフスタイルや指向性を持っている人なのか。
- ③行方市のどのような特色が評価されているのか

(1) ターゲット設定についての暫定的な結論

今回ターゲット設定につながるような首尾一貫したデータが結果的に得られなかった。（詳しくは「2. アンケート結果の詳細」および、これ以降の表　ここまでのまとめ①～④[星取表]を参照）

そのために、ターゲット像を2パターン想定した。

何をするにしても当該ターゲット層の選択肢に入ることが重要である。現時点では、行方市が移住、二地域居住地の候補に入る可能性はかなり低く、まず行方市の存在と魅力ポイントを知ってもらうことが必要である。

今後、何かしらの理由で市の認知度が上がるといったこともあるかもしれないが、劇的に認知がアップするといったような楽観的なシナリオは現実的ではない。現時点での有望なターゲット像としては、行方市を少しでも認知している層が前提となるだろう。

① “直接的な” ターゲット

シティプロモーションの目的である定住・二地域居住、観光目的の訪問などで期待されるのは、行方市の存在認知者、来訪経験者である。

→地理的な近接性といった要素で千葉県北中西部、および千葉県北部居住者。性別で言えば男性。千葉県北部居住者は非常に高いポテンシャルを持っているが、茨城県南地域への志向が非常に強いために、それに勝るような訴求の施策が必要であろう。

② “潜在的な” ターゲット

現時点では行方市の認知がない、あるいは印象が希薄であるといった層であるが、一旦認知され行方市の魅力が受容されれば、直接的なターゲットになり得る。たとえば、行方市で営農が盛んであることは農作物の栽培に関心がある層には十分なアピール材料になるであろう。

→志向性やライフスタイルの共感が要素となる。今回の調査対象の中では、千葉県中部居住者においては行方市の認知や来訪経験は決して高くないものの、移住希望、二地域居住希望いずれも鹿行地域の選好度合が高い点は注目したい点である。また行方市の食資源やアクセス性、1,000年以上にわたり持続的な暮らしの場所であるといった魅力特性を知ること

さらに行方市の興味関心度が高くなっている。これらの点を踏まえるならば、訴求の仕方次第では、十分に直接的なターゲットになり得る可能性が示唆される。潜在的なターゲット層には、行方市の存在を知ってもらうだけではなくて、地名とセットになったインパクトのある訴求が望まれる。

③ターゲット訴求上の留意点

- 1) 行方市の特色を示す「1,000 年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである」というワードについて。本レポート最後の重回帰分析結果でコメントした通り、まだあまり顕在化されていないものの、今後、シティプロモーション訴求上の評価軸になる可能性を秘めていると思われる。引き続き検討を要する。
- 2) 女性の認知や選好ともに低くなっており、魅力度も十分に受容されるものではない。家族単位での移住、二地域居住を想定した場合には、家庭内の女性の理解が得られるような材料が必要に思われる。家庭内においては配偶者や子どもといった決定関与の力関係は無視できずに、メインターゲットは男性であるとしても、女性に対する配慮がなされるべきである。

表 ここまでのまとめ① 居住エリア別の結果

凡例；表中の単位＝％，

◎＝平均値あるいは他項目と比べてプラス方向に有意な差が認められる。

▲＝平均値あるいは他項目と比べてマイナス方向へ有意な差が認められる。

	全体	東京都区部	千葉北部	千葉北中西部	千葉県中部
移住に関心あり	29.4	▲24.4	◎36.0	▲24.8	32.4
移住希望_北関東(MA)	9.1	8.0	◎14.0	7.6	6.8
移住希望_北関東(SA)	2.4	2.8	3.2	2.0	1.6
移住希望_茨城県	17.7	▲12.0	◎23.6	18.4	16.8
移住希望_鹿行地域 ()は、全サンプル に対する割合を示す	20.9 (3.7)	23.3 (2.8)	▲10.2 (2.4)	◎26.1 (4.8)	◎28.6 (4.8)
二地域居住関心あり	24.3	23.6	◎28.4	▲20.8	24.4
二地域居住希望_北関東(MA)	15.3	12.8	◎20.8	12.0	15.6
二地域居住希望_茨城県(MA)	16.1	▲10.0	◎21.6	17.6	15.2
二地域居住希望_鹿行(MA) ()は全サンプルに対する割合	28.0 (4.5)	▲20.0 (2.0)	▲18.5 (4.0)	◎34.1 (6.0)	◎39.5 (6.0)
興味喚起度① 現地の生活に触れみたい	4.2	5.6	2.4	4.4	4.4
興味喚起度② 観光目的で訪れたい	15.1	▲11.6	16.8	16.0	16.0
興味喚起度③ もっと詳しく知りたい	11.0	10.4	◎14.0	8.0	11.6
鹿行地域訪問率	14.7	▲7.6	15.2	◎21.6	14.4
行方市の認知率	52.8	▲46.8	◎60.8	◎60.4	▲43.2

表 ここまでのまとめ① 年代、性別の結果

	全体	30代	40代	50代	60代	男性	女性
移住に関心あり	29.4	◎35.4	31.0	28.5	▲24.8	29.8	28.6
移住希望_北関東 (MA)	9.1	8.3	10.2	11.2	▲5.0	10.4	6.5
移住希望_北関東 (SA)	2.4	3.4	2.0	3.2	1.3	2.6	2.1
移住希望_茨城県	17.7	15.0	15.8	20.5	18.1	20.6	▲12.1
移住希望_鹿行地域	20.9 (3.7)	▲9.1 (1.4)	◎25.0 (4.0)	23.4 (4.8)	18.6 (3.4)	23.5 (4.8)	▲12.2 (1.5)
二地域居住関心あり	24.3	22.4	25.7	24.0	23.9	24.8	23.3
二地域居住希望_北関東 (MA)	15.3	15.0	14.9	17.0	13.9	17.4	▲11.2
二地域居住希望_茨城県 (MA)	16.1	12.9	15.5	17.6	16.8	18.2	▲12.1
二地域居住希望_鹿行 (MA)	28.0 (4.5)	▲15.8 (2.0)	◎34.0 (5.3)	32.7 (5.8)	20.0 (3.4)	32.5 (5.9)	▲14.6 (1.8)
興味喚起度① 現地生活	4.2	4.8	4.3	4.2	3.8	5.3	2.7
興味喚起度② 観光目的	15.1	▲12.9	15.5	15.4	15.5	14.4	16.5
興味喚起度③ 詳しく知る	11.0	14.3	11.2	▲7.7	13.0	12.4	8.3
鹿行地域訪問率	14.7	13.6	14.2	15.1	15.5	17.9	▲8.6
行方市の認知率	52.8	▲35.4	51.5	57.0	◎59.7	58.8	▲41.0

移住、二地域居住、農作物栽培それぞれに関心がある人が移住先、二地域居住先に選択した割合が下の表で示されている。「関心がある人」と「ある程度関心がある人」の数値を示しているが、関心がある層では、全体の数値よりもかなり高い割合で挙げられている場合が多い。

特に二地域居住に関心あり、農作物栽培に関心があり、はそれぞれ鹿行地区の選択率が50.0%と45.8%と非常に高率であることには留意しておきたい。

また自然豊かな田舎を第一優先する人は、全体平均をいずれも上回る比率であり、こうした志向の有無によって、特定の選択エリアが強く意識されることがある結果を示している。

表 関心度合いによって異なる移住、二地域居住の選択エリア

	全体	移住に関心 (左；関心 あり、右； ある程度関 心)	二地域居住 に関心(左； 関心あり、 右；ある程 度関心)	農作物栽培 に関心(左； 関心あり、 右；ある程 度関心)	自然豊かな 田舎志向
移住希望_北関東 (MA)	9.1	20.9／14.9	21.1／16.9	22.0／18.7	17.2
移住希望_北関東 (SA)	2.4	2.3／4.3	5.6／4.1	5.1／4.3	5.5
移住希望_茨城県	17.7	24.4／29.3	29.6／27.9	40.7／23.5	26.6
移住希望_鹿行地域	20.9	33.3／18.0	28.6／27.1	41.7／20.5	26.5
二地域居住希望_北 関東 (MA)	15.3	29.1／23.1	38.0／27.3	49.2／26.2	31.3
二地域居住希望_茨 城県 (MA)	16.1	19.8／28.4	31.0／26.2	40.7／22.5	28.1
二地域居住希望_鹿 行 (MA)	28.0	41.2／32.2	50.0／28.9	45.8／31.0	33.3

行方市の特色を説明するワードの受容

表 ここまでのまとめ② 居住地域別に見た説明ワードの受容

	全体	東京都区部	千葉北部	千葉北中西部	千葉県中部
都市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす（最優先）	12.8	12.8	10.4	12.8	◎15.6
都市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす（第2優先）	23.9	▲18.4	◎30.4	24.0	22.8
農作物栽培に携わることへの関心度	24.6	22.4	23.8	24.7	26.9
都心から70キロ	25.4	24.0	24.4	24.0	◎29.2
車で90分で行ける	24.7	22.8	23.2	26.8	26.0
遠隔地ほどではない適当な距離である	31.7	30.0	◎34.4	28.8	33.6
最寄りの茨城空港から車で15分	26.2	▲16.4	◎31.6	27.2	29.6
全国に2番目に大きい湖に接し…	32.4	▲25.6	◎36.4	35.2	32.4
平野や台地と山などでのバランス	38.7	35.2	◎41.2	◎41.2	37.2
年間60品目以上の農作物が栽培される	36.1	33.2	36.4	◎38.4	36.4
全国トップクラスのさつまいもの産地	29.6	27.6	◎34.0	▲24.8	◎32.0
さつまいものテーマパークがある	24.6	22.0	◎28.8	▲20.0	◎27.6
市内の災害情報や地域情報がみられる	28.9	▲21.6	31.6	29.6	◎32.8
湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能	40.4	▲37.6	42.0	40.4	41.6
冬は温暖で、夏は涼しい気候である	47.2	▲38.8	48.8	50.8	50.4
長期にわたり、生活が営まれている	34.8	▲26.8	37.6	37.6	37.2
歴史的な遺跡・寺社、独特な祭事	37.8	▲34.0	39.2	38.8	39.2

表 ここまでのまとめ② 年代、性別に見た説明ワードの受容

	全体	30代	40代	50代	60代	男性	女性
都市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす（最優先）	12.8	15.6	12.5	12.2	12.2	15.3	▲8.0
都市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす（第2優先）	23.9	◎28.6	24.8	24.0	19.7	28.4	▲15.0
農作物栽培に携わることへの関心度	24.6	22.4	23.8	24.7	26.9	27.4	▲19.2
都心から70キロ	25.4	◎29.9	▲21.8	25.3	27.3	27.8	▲20.6
車で90分で行ける	24.7	27.2	22.4	24.0	26.9	27.1	▲20.1
遠隔地ほどではない適切な距離である	31.7	◎36.7	29.0	30.4	33.6	32.1	31.0
最寄りの茨城空港から車で15分	26.2	27.9	27.4	25.0	25.2	27.1	24.5
全国に2番目に大きい湖に接し…	32.4	31.3	31.4	29.2	◎38.7	33.1	31.0
平野や台地と山などでのバランス	38.7	36.7	38.0	36.2	◎44.1	38.7	38.6
年間60品目以上の農作物が栽培される	36.1	36.1	35.3	32.7	◎41.6	35.1	38.1
全国トップクラスのさつまいもの産地	29.6	◎36.7	32.3	▲25.0	27.7	29.5	29.8
さつまいものテーマパークがある	24.6	◎34.7	27.1	▲19.2	22.3	23.3	27.1
市内の災害情報や地域情報がみられる	28.9	◎34.0	29.0	26.6	28.6	27.5	◎31.6
湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能	40.4	38.8	40.3	38.1	◎44.5	40.4	40.4
冬は温暖で、夏は涼しい気候である	47.2	▲42.9	46.2	43.9	◎55.5	46.0	49.6
長期にわたり、生活が営まれている	34.8	34.7	32.7	32.4	◎40.8	34.2	36.0
歴史的な遺跡・寺社、独特な祭り	37.8	36.7	38.0	▲33.0	◎44.5	37.1	39.2

(2) 説明するワードは興味喚起につながったのか

14 の行方市の魅力度キーワードがどのように行方市の魅力度に関わっているのかについて、《重回帰分析》を行った。これは要因間の因果関係を調べる手法である。ここでは、こういった行方市の魅力キーワードが行方市への興味喚起（「現地の生活に触れたい」「観光目的で訪れてみたい」「もっと詳しく知りたい」）につながったのかといった因果関係を数学的なモデルを使用して推定することができる。

全体サンプル（1000 サンプル）では、1,000 年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているに対する魅力度合いが最も規程力が強い。それに湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能、歴史的な遺跡・寺社が点在といったキーワードが続いている。さつまいものテーマパークの存在や車で 90 分といったアクセスも行方市への興味喚起につながった。

表 特色ワードによる魅力喚起の重回帰分析結果（全サンプルベース）

※下記の出力結果で表中の「標準化係数（ベータ）」の値が高いものが、説明力を有する項目として捉えれば良い。この表では説明力を有する項目のみがリストアップされている。

係 数					
モデル	標準化されていない係数		標準化係数	t	有意確率
	B	標準誤差	ベータ		
5 (定数)	.611	.132		4.610	.000
Q34_13 1, 000 年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである	.307	.066	.218	4.662	.000
Q34_11 野菜だけではなく、湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能できる	.291	.062	.208	4.685	.000
Q34_2 車で 90 分で行ける	.153	.048	.105	3.185	.001
Q34_14 歴史的な遺跡・寺社が点在し、独特な祭事が各所で行われている	.181	.057	.133	3.174	.002
Q34_9 農業体験もできるさつまいものテーマパークがある	.166	.055	.113	3.017	.003

次に現在の居住エリア別に重回帰分析を行い、結果を見てみよう。

下表の東京都区部では、生活が持続的に営まれたことや年間 60 品目の農作物、湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能といった魅力が行方市への興味喚起につながった。生活や食につながるものが関心を押し上げたと思われる。

表 特色ワードによる魅力喚起の重回帰分析結果（東京都区部サンプルベース）

係数						
モデル		標準化されていない係数		標準化係数	t	有意確率
		B	標準誤差	ベータ		
3	(定数)	.701	.235		2.976	.003
	Q34_11 野菜だけではなく、湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能できる	.340	.137	.233	2.489	.014
	Q34_13 1, 0 0 0 年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである	.394	.120	.262	3.276	.003
	Q34_7 年間6 0 品目以上の農作物が栽培されるなど農業が盛んである	.359	.123	.262	2.911	.004

千葉県北部では、生活が持続的に営まれたこと、さつまいものテーマパークの存在や車で年間 90 分というアクセス性が興味喚起につながっている結果となった。生活と訪問に値する魅力が好感されたようだ。

表 特色ワードによる魅力喚起の重回帰分析結果（千葉県北部サンプルベース）

係数						
モデル		標準化されていない係数		標準化係数	t	有意確率
		B	標準誤差	ベータ		
3	(定数)	.316	.250		1.263	.208
	Q34_13 1, 0 0 0 年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである	.435	.094	.315	4.628	.000
	Q34_9 農業体験もできるさつまいものテーマパークがある	.370	.094	.272	3.946	.000
	Q34_2 車で 9 0 分で行ける	.340	.087	.241	3.904	.000

千葉県北中西部では、生活が持続的に営まれたことに加えて、霞ヶ浦の存在、そして適当と思われた距離感が興味喚起につながっている。

表 特色ワードによる魅力喚起の重回帰分析結果（千葉県北中西部サンプルベース）

係数						
モデル		標準化されていない係数		標準化係数	t	有意確率
		B	標準誤差	ベータ		
3	(定数)	.993	.245		4.059	.000
	Q34_13 1, 0 0 0年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである	.457	.108	.338	4.237	.000
	Q34_5 全国に2 番目に大きい湖に接し、湖畔ではさまざまなレジャーが楽しめる	.267	.101	.191	2.646	.009
	Q34_3 遠隔地ほどではない適当な距離である	.270	.115	.187	2.348	.020

千葉県中部では、さつまいもの産地、野菜などの食資源の魅力が興味喚起につながった。さらには、持続的な生活や空港へのアクセス性なども興味喚起につながっている。

表 特色ワードによる魅力喚起の重回帰分析結果（千葉県中部サンプルベース）

係数						
モデル		標準化されていない係数		標準化係数	t	有意確率
		B	標準誤差	ベータ		
4	(定数)	.426	.238		1.787	.075
	Q34_11 野菜だけではなく、湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能できる	.325	.120	.235	2.709	.007
	Q34_8 生産高、品質ともに全国トップクラスのさつまいもの産地である	.409	.106	.282	3.846	.000
	Q34_4 最寄りの茨城空港から車で15分、成田空港から同40分でアクセスできる	.183	.083	.133	2.210	.028
	Q34_13 1,000年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである	.247	.117	.175	2.106	.036

表 特色ワードによる魅力喚起の重回帰分析結果（各年代、性別ベース）

※標準化係数の高い順にソーティングしている。係数は（ ）に表記。属性によって種類が少ないのは、有意な規定項目が限られていることを意味する。

30 代	40 代	50 代	60 代	男性	女性
野菜だけではなく、湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能できる (0.690)	歴史的な遺跡・寺社が点在し、独特な祭事が各所で行われている (0.312)	1,000 年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである (0.317)	生産高、品質ともに全国トップクラスのさつまいもの産地である (0.233)	1,000 年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである (0.209)	野菜だけではなく、湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能できる (0.236)
遠隔地ほどではない適当な距離である (0.285)	1,000 年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである (0.276)	年間 60 品目以上の農作物が栽培されるなど農業が盛んである (0.212)	1,000 年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである (0.232)	野菜だけではなく、湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能できる (0.167)	1,000 年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである (0.207)
湖とその周辺の水辺、平野や台地と山などでバランスがとれた環境である（-0.220）	農業体験もできるさつまいものテーマパークがある (0.202)	野菜だけではなく、湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能できる (0.189)	車で 90 分で行ける (0.156)	農業体験もできるさつまいものテーマパークがある (0.161)	全国に 2 番目に大きい湖に接し、湖畔ではさまざまなレジャーが楽しめる (0.183)
			全国に 2 番目に大きい湖に接し、湖畔ではさまざまなレジャーが楽しめる (0.155)	遠隔地ほどではない適当な距離である (0.143)	最寄りの茨城空港から車で 15 分、成田空港から同 40 分でアクセスできる (0.126)
				歴史的な遺跡・寺社が点在し、独特な祭事が各所で行われている (0.117)	

(3) 重回帰分析結果に関する補足説明

①重回帰分析において、全てのエリアおよび30代を除く全年代・性別において、「1,000年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである」といった項目が有意な要素として抽出されている。“生活が持続的に営まれる”の項目は、魅力度の割合としては真ん中くらいで、決して高いとは言えない。

しかし人びとの回答パターンの中で、この項目へマークされると、興味喚起度に関わる項目が同時にチェックされることが多いなど“隠れた法則”があることが数学的に導き出された。結果として、規定力が高い項目として挙げられたのである。

WEB アンケートではなぜこの項目がここまで影響力を持つのかといったことを説明することはできないが、受けとめる人によっては“心の琴線”に触れるような魅力を持った表現であったと思われる。自然災害に強いまちといった印象が好感された可能性もあるが、今後の検証すべき課題である。他都市でこういった表現でまちを印象付けることはあまりないように思われ、そのユニーク性が評価されたことも考えられる。

いずれにしても新しい訴求ポイントになる可能性を持っている要素と言える。

②前頁の表（特色ワードによる魅力喚起の重回帰分析結果 各年代、性別ベース）中の30代サンプルのデータ3つ目にある「湖とその周辺の水辺、平野や台地と山などでバランスがとれた環境である」は、係数が-0.220と、マイナス方向を示す値である。このワードに対して魅力であると回答する人は、行方市の興味喚起度合いが低下することを示すデータである。つまり30代に限っては、行方市がバランスが取れた環境であることを強調しすぎると、かえって関心の低下を招いてしまうことがあり得る。

Ⅱ.全国メディアでの扱われ方の現状

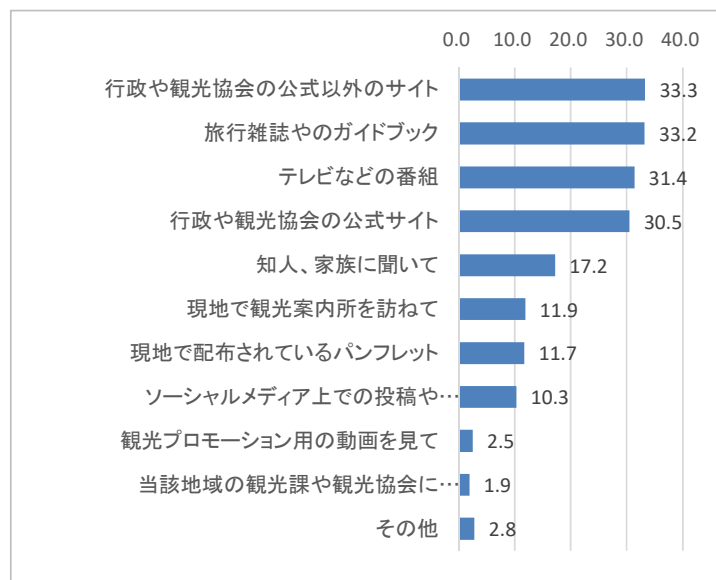
ここまで WEB アンケート調査結果について記してきたが、ここからは外部メディアの行方市の取り上げ方について分析を行う。メディアで多く取り上げられるのかということは、人びとの興味・関心の高さとある程度リンクしていると想定される。そのために、こういった素材が、こういった切り口で取り上げられ、どのように表現されるのかを知ることは、より効果的な情報発信を考えるにあたり、重要な要素であろう。またその素材自体は、当該地域における“強み”として、より磨きをかけて、地域内外に打ち出していきたいものである。

テレビ番組における取り上げられ方の特質として、紀行・旅番組、情報バラエティ番組等で、行方市が広く取り上げられているものを中心に分析を行う他、雑誌・MOOK など印刷媒体、全国新聞での取り上げられ方の特質、さらにはソーシャルメディアでの発信状況についても検証を行う。外部のメディアにおける行方市の取り上げ方を精査することで、メディア上で訴求しても受け入れやすいポイントが判明する。

外部メディア、とりわけ多くの人の目に触れる全国メディアについての考察が必要なのは、その媒体で見聞きしたことをもとに、さらなる情報行動が喚起され、その先には、行方市への関心喚起、来訪、そしてリピートといったことが想定されるからである。

具体的なデータを引くと、観光目的で訪れる場合の情報入手手段としては「(公式以外の)インターネット」33%がトップで、僅差で「旅行雑誌やガイドブック」33%、「公式サイト」31%、「テレビ番組」31%。ネットと既存メディアが参照すべきものになっている。

図 観光の場合、訪問時参考にする情報源¹ (複数選択)



¹ 浅岡研究室による「埼玉県内の観光に関する調査」2016年9月、埼玉・千葉・東京在住者1,000人に対するWEBアンケート調査を実施。調査の設問は、「あなたは観光目的で、お住まいの地域以外を訪れる際には、どのような手段でその地域に関する情報を入手していますか。ここでは、奈良・京都・横浜といった著名な観光地ではない場所についての情報を得る手段について、当てはまるものをいくつでもお選びください」。

表 属性別に見た情報源

		観光する際の情報収集の手段								
		サンプル人数	行政や観光協会の公式サイト以外のサイト	旅行雑誌やのガイドブック	テレビなどの番組	行政や観光協会の公式サイト	知人、家族に聞いて	現地で観光案内所を訪ねて	現地で配布されているパンフレット	ソーシャルメディア上での投稿や書き込み
性別	男性	607	36.6%	32.1%	27.2%	31.5%	12.9%	13.8%	9.7%	11.4%
	女性	393	28.2%	34.9%	37.9%	29.0%	23.9%	8.9%	14.8%	8.7%
年代 10歳刻み	20代	62	33.9%	43.5%	37.1%	30.6%	11.3%	14.5%	16.1%	21.0%
	30代	147	29.3%	34.7%	21.8%	25.9%	17.0%	14.3%	13.6%	17.0%
	40代	306	29.4%	33.3%	27.8%	31.4%	19.9%	10.8%	10.5%	12.1%
	50代	276	36.6%	35.1%	33.3%	33.7%	17.0%	13.0%	10.1%	7.6%
	60代	159	39.0%	25.2%	39.6%	27.0%	13.2%	6.9%	10.7%	3.8%
	70代	50	32.0%	30.0%	38.0%	32.0%	22.0%	18.0%	20.0%	2.0%
合計		1000	333	332	314	305	172	119	117	103

シニア世代を含めて、ネットによる情報接触が一般化している。一方で、旅行雑誌やガイドブック、テレビなどの番組も広く受容されている。“非活字世代”であると同時にテレビ離れが指摘される20代の若年層でも旅行雑誌やガイドブックやテレビ番組を情報収集の手段としていることは興味深い。

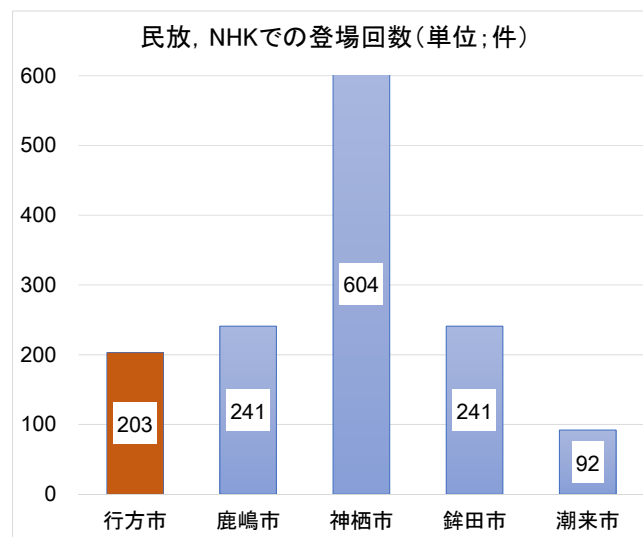
特定の目的がない限りネットへのアクセスやガイドブックを手にとったりしないことから、ネットでの認知だけではなく、検索行動につながる直接的なトリガー（引き金）になるのは、テレビ番組や雑誌への接触が想定される。

情報メディアの多面的な展開が必要であることは論をまたない。一旦興味を持ってもらった際に情報源としてのインターネットは必須になるから、CP推進側はその受け皿を十分に準備しておくことが望ましいのではないか。

1. 全国放送のテレビ番組での取り上げられ方

紀行・旅番組、情報バラエティ番組等で、行方市が取り上げられているものを分析した。2017年3月～2019年3月までの2年間に於いて、行方市関連のテレビ番組件数は、総数 203 件²。これには市内で発生した事件・事故や単純に行方市に存在する企業や団体・個人などが取り上げられている例も含むので、それらを除外する。

行方市の情報や魅力発信につながっている番組は次頁になり、計 70 番組である。同一番組内容の再放送や同時放送（地上デジタル放送と BS デジタル放送）もその都度カウントしている。



² 株式会社 JCC が提供している「JCC 番組情報検索サービス」を活用して、番組の要約データ（メタデータ）から地域名などのキーワード検索し、該当する番組クリップを抽出した。分析対象は、2017 年 3 月～2019 年 3 月に放送された地上波、BS デジタル放送の全番組である。一つの番組の中でも分割してカウントされている場合があるために、番組数ではない。番組単位でカウントし直せば、この数値はかなり少なくなる。

【結果からの考察】

○番組内での扱いが特定のトピックに集中している。

- ・ 70 番組のうち、特定トピックの出現割合をカウントした（下図参照）。それによれば、「さつまいも」「ファーマーズヴィレッジ」「収穫（体験）」「やきいも」など、なめがたファーマーズヴィレッジに関わる話題が圧倒的多数である。それ以外も、農作物が収穫の時期を迎えたことが散見される。農業頼みである。
- ・ 行方市の地域資源である、霞ヶ浦やそれにまつわる漁業・アクティビティに関わるものが話題になることはごく限られる。

○行方市を総合的に取り上げているものは皆無である。

- ・ 話題が集中しており、シングルイシューの扱いになっている。それゆえに、行方市が総合的に取り上げられることは皆無である。同一地域内の名所を複数カ所巡るといった観光・紀行番号では取り上げられていない。それゆえに、行方市の複数ある魅力を知ることができなくなっている。
- ・ 同一番組内において、行方市が複数の地域と一緒に取り上げられているというものもある。プラス他地区が取り上げられ、同じ程度に行方市が取り上げられているというものである。時間的には 10 分に満たず、行方市の地域資源についてはほとんど触れられていない。

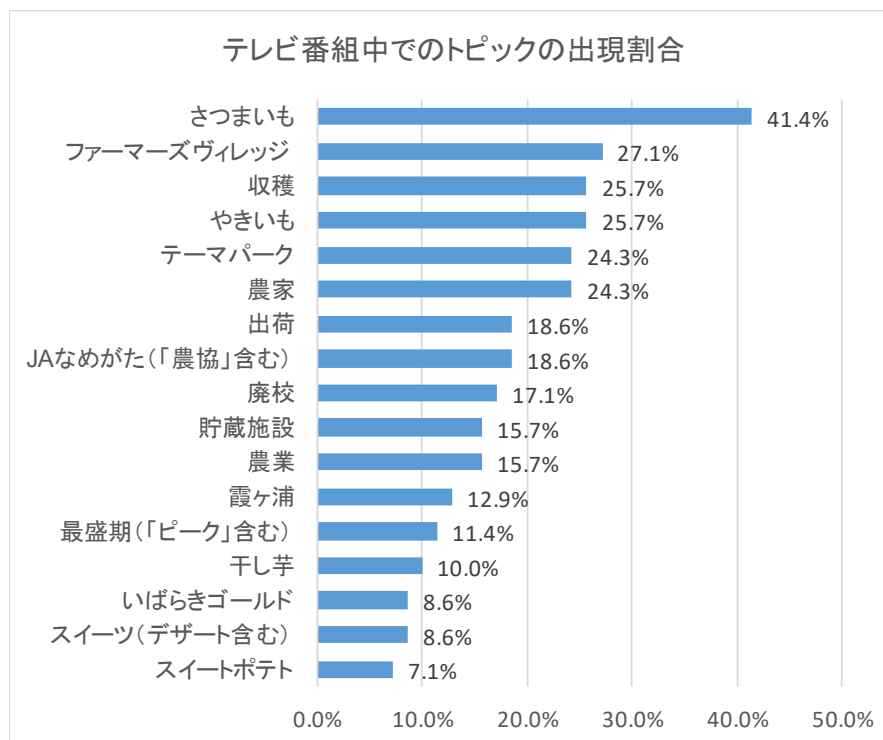


表 行方市を取り上げたテレビ番組 「放送時間」の単位は、秒。

	日付	局	番組名	時間	タイトル	番組の要約データ（メタデータ）
1	2019/ 3/12	NHK 総 合・ 東京	N H K ニ ュ ー ス	77	茨城県行方市・チューリップ出荷最盛期	茨城県行方市の農家では少し早めに咲くように育てたチューリップの出荷が最盛期を迎えている。山下三夫、山下裕加里のコメント。
2	2019/ 3/12	NHK 総 合・ 東京	ひるま えほっ と～関 東～	90	茨城県行方市・チューリップ出荷最盛期	茨城県行方市では少し早めに咲くように育てたチューリップの出荷が最盛期を迎えている。鉢植えのチューリップは首都圏を中心に全国に出荷される。チューリップを育てる山下三夫、妻・裕加里のコメント。トップリップス、ハッピーアップスターの映像。
3	2019/ 1/31	日本 テレ ビ	O h a ! 4	363	<O h a ライフ>銀座に“やきいも店”が・スイーツとして新感覚も	やきいもの楽しみ方が進化し新たなブームになっている。東京・港区では品川やきいもテラス 2019 が開催されていた。東京・銀座には専門店「銀座つぼやきいも」が登場。低温で 120 分焼くため皮まで食べられる芋になるという。東京・新宿にオープンした t a p i - m o ではパフェの上にさつまいもチップとタピオカが乗っているものや、温かいやきいもに冷たいアイスクリームを乗せたコラボスイーツを販売。一方作り手側も様々な工夫をしていた。茨城・行方市にある J A なめがたの農協では、専用の倉庫で温度管理を徹底し、甘みを極限まで引き出したさつまいもを年内を通して出荷するよう整備するなど、生産者側も変化している。スポーツカーを改造して荷台に焼き台を乗せた、神奈川・横浜市の焼き芋の移動販売車を紹介。商品の焼き芋には茨城県産の紅はるかを使用。銀座つぼやきいも・上口憲一店長、ロド芋・井上昌のコメント。紅まさりについて言及。ドンキホーテのロゴ。
4	2019/ 1/30	日本 テレ ビ	n e w s e v e r y.	447	銀座に“やきいも店”が・スイーツとして新感覚も	やきいもの楽しみ方が進化し新たなブームになっている。東京・港区では品川やきいもテラス 2019 が開催されていた。東京・銀座には専門店「銀座つぼやきいも」が登場。低温で 120 分焼くため皮まで食べられる芋になるという。東京・新宿にオープンした t a p i - m o ではパフェの上にさつまいもチップとタピオカが乗っている

						ものや、温かいやきいもに冷たいアイスクリームを乗せたコラボスイーツを販売。一方作り手側も様々な工夫をしていた。茨城・行方市にあるＪＡなめがたの倉庫の中には山のように積まれたさつまいもが。秋に収穫したさつまいもの長期かつ大量保存をしている。スポーツカーを改造して荷台に焼き台を乗せた、神奈川・横浜市の焼き芋の移動販売車を紹介。商品の焼き芋には茨城県産の紅はるかを使用。銀座つばやきいも・上口憲一店長、ＪＡなめがた営農経済センター長・栗山裕仁、ＪＡなめがた・棚谷保男組合長、ロド芋・井上昌のコメント。紅まさりについて言及。ドンキホーテのロゴ。
5	2018/12/29	日本テレビ	世界一受けたい授業復習SP	808	世界一受けたい授業	元経済産業省官僚・岸博幸が、町を蘇らせたワンアイデアを紹介。茨城県行方市では、廃校を利用して農業施設を作り、観光客を20倍にした。ＪＲ阿南駅。野菜に言及。出演者・堺正章、くりいむしちゅー、矢田亜希子、北澤豪、佐藤菜里、中村仁美、伊集院光、濱田龍臣
6	2018/12/23	BSテレ東	14歳からのスタートアップ！Young CEOの魔法の杖	1240	青春経済エンターテインメント	10代の若さで会社を興した高校生起業家達にエールを贈る青春経済エンターテインメント。茨城県行方市で烏骨鶏を育てながら、採れた卵でマヨネーズなどを販売する女子高生に密着。銀座で商品販売の商談をした。出演者・NON STYLE、菅本裕子、林和人
7	2018/12/23	BSテレ東	未来のおいしい食卓“農業立国ニッポン”誕生へ	676	楽・儲かる・働きがい・いま農業ビジネスが熱い！	「儲かる農業」について。「ブランド化＋グローバル化」「農業×レジャー」についてコメント。イチゴ農園・ICHIGO WORLD(宮城県山元町)で作られている「ミガキイチゴ」を紹介。サツマイモのテーマパーク「なめがたファーマーズヴィレッジ」(茨城県行方市)の紹介。廃校になった小学校利用した施設。岩手県遠野市をホップの里からビールの里へどのように変えていったのか。ビールとホップの生産量推移のグラフ。ビールの里は様々な人たちが関わるにより地域活性化につながる

						と考えた。ブランド化に重要なのは「客のニーズや生活環境を把握」「商品の良さを客に正確に伝えてファンを獲得する」。ドローン、高付加価値化、海外市場開拓、ブランド化、シャインマスカット、伊勢丹、鈴屋に言及。黒川健太、吉田敦史、麒麟株式会社・絆づくり推進室・室長・中澤暢美、廣松隆志、横田修一のコメント。宮城県山元町・イチゴ農園・ICHIGO WORLD、茨城県行方市、岩手県遠野市、品川プリンスホテルの映像。ナレーター・三遊亭朝橘。
8	2018/12/3	NHK 総合・東京	首都圏ニュース 845	37	茨城・行方市・焼きいもでクリスマス	地元で生産が盛んなさつまいもでクリスマスを楽しんでもらおうというユニークな催しが茨城・行方市・麻生東小学校で行われた。サンタクロースは、クイズで子どもたちと交流したあと焼きたての焼き芋を子どもたちにプレゼントした。児童のコメント。
9	2018/12/3	NHK 総合・東京	首都圏ネットワーク	39	茨城県行方・焼き芋でクリスマス	地元で生産が盛んなサツマイモでクリスマスを楽しんでもらおうというユニークな催しが、茨城県行方市の麻生東小学校で行われた。サンタクロースが焼き立ての焼き芋を子どもたちにプレゼントした。
10	2018/11/30	NHK 総合・東京	ニュース シブ5時	650	くりょうこのお天気旅行＞茨城・サツマイモを味わう旅	茨城県のサツマイモに注目。サツマイモと気象の関係に迫る。茨城県行方市はサツマイモ生産量全国2位。なめがたファーマーズヴィレッジのサツマイモコーナーには7品種のサツマイモが売られている。サツマイモ農家・前田鉄夫に取材。年間およそ200トンを出荷している。サツマイモが育つポイントは収穫するまでの降水量。厳しい環境ほどよく育つという。茨城県ひたちなか市は干しいも生産量が全国のおよそ7割。干しいも作り名人・大須賀優に密着。
11	2018/11/24	テレビ朝日	スーパーJチャンネル	111	焼きいも界のエジソン 開発秘話	栃木県宇都宮市の「群商」の焼きいも界のエジソン・園田豊太郎社長が開発した「焼きいもオープン」を紹介。サツマイモ産地にも大きな変化。茨城県行方市はサツマイモ畑が10年で3倍以上増えた。焼きいも専用のサツマイモを作っている。JAなめがたではサツマイモ専用の貯蔵施設を整備。長期、大量保存が可能になった。サツマイモ販売額（JAなめがた）。JAなめがた・棚

						谷保男組合長のコメント。
12	2018/ 11/12	NHK 総 合・ 東京	あさイチ	600	どんどん甘く進化するさつまいもSP	焼きいも最新トレンド。焼きいもについてよゐこ・有野晋哉、久保田磨希が話す。「さつまいもオタク」橋本亜友樹が解説。「さつまいもは主食」という提案。管理栄養士・市野真理子が提案する「焼きいものピザ風」を紹介。さつまいもの栄養分は食物繊維、カリウム、ビタミンC、カルシウム、たんぱく質。干しいもの雅な世界。世界遺産にも登録されているオーストラリア・シドニーのオペラハウス。茨城県ひたちなか市の干しいものオブジェ。茨城県は全国で販売されている干しいもの9割を生産している干しいも王国。「世界ほしいも大会」には日本、中国、韓国、タンザニアが参加した。茨城県行方市にある干しいもバー。半熟の干しいもを紹介。茨城県ひたちなか市の干しいも専門店・大曾根恵子のおすすめは焼き干しいも、干しいもの素揚げ。料理研究家・青木敬子が「干しいもとアスパラの生ハム巻き」を紹介。ミニトマトに言及。
13	2018/ 10/28	フジテレビ	くいしん坊！万才	155	パクチーの香り！！全身で受け止める！	茨城県行方市にあるパクチー農家を訪問。パクチー料理を食べる。出演・松岡修造
14	2018/ 10/14	BS-TBS	徳光 & 木佐の知りたいたニッポン！	292	“水族館”や“イタリア風リゾート”「廃校ユニーク活用」	廃校の活用事例をスタジオで紹介。事例6校で、茨城県行方市（旧・大和第三小学校）「“さつまいも”の体験型農業テーマパーク」も紹介。廃校活用のメリットについてスタジオで解説。
15	2018/ 10/14	フジテレビ	くいしん坊！万才	155	初収穫！！そのれんこん頂きます！	茨城県行方市にあるれんこん農家を訪問。れんこん料理を食べる。出演・松岡修造
16	2018/ 10/9	テレビ東京	昼めし旅	1822	茨城県行方市	ちょっとかわった読み方のところでご飯調査。茨城県行方市（なめかた）。さつまいもの収穫が最盛期を迎える。「なめかたファーマーズヴィレッジ」へ。日本初サツマイモのテーマパーク。いばらきゴールド、おいも熟成蔵を紹介。店舗を切り盛りしている女性に出会った。お昼ご飯を見せてもらった。5代続くちんげん菜農家の方と出

						会った。自宅は400坪。農家直伝のさつまいもの天ぷらとチンゲン菜の晩御飯を見せてもらった。野菜に言及。
17	2018/10/9	BSテレビ東	なないろ日和！	1169	簡単！絶品レシピが続々登場 紅優甘の故郷・なめがた市 絶品！！農家の伝統レシピ公開	きょうのテーマは「美味しいさつまいも料理が食べたい、どうする？」。茨城県行方市へ。茨城県はさつまいもの収穫量2位（農林水産省）。1位は鹿児島県、3位は千葉県、4位は宮崎県、5位は徳島県。茨城県でも収穫量トップクラスは行方市。行方市は東京から車で1時間30分（京葉道路、東関東自動車道経由）。行方市のさつまいもは第56回農林水産祭の天皇杯受賞。紅こがね、紅優甘、紅まさを紹介。今回は簡単さつまいもレシピを大公開。管理栄養士・堀知佐子に教えてもらう。きょうのテーマは「美味しいさつまいも料理が食べたい、どうする？」。さつまいもはビタミンC、食物繊維、糖質も多く腹持ちが良い。JAなめがたへ。営農経済部・野原正幸に話を聞く。なめがたではさつまいものことを「甘藷」と呼ぶ。なめがた台地は甘藷の栽培に適している。ヤラピンは多いほど甘く、腸の働きを整える機能成分。JAなめがたのブランド「紅優甘」は今は食べごろで、おすすめは焼き芋。焼き芋を頂く。甘藷部会連絡会・箕輪秋雄会長、息子・幸則に話を聞く。甘藷畑の広さは東京ドーム3個分。芋掘り体験をさせてもらう。収穫した「紅優甘」を使って農家ならではの料理を作ってもら。義娘・尚子に話を聞く。さつまいもご飯、さつまいもの味噌汁、さつまいものポタージュ、さつまいもの春巻きを頂く。スタジオでさつまいもご飯のポイントを紹介。
18	2018/10/9	テレビ東京	なないろ日和！	1161	簡単！絶品レシピが続々登場 紅優甘の故郷・なめがた市 絶品！！農家の伝統レシピ公開	きょうのテーマは「美味しいさつまいも料理が食べたい、どうする？」。茨城県行方市へ。茨城県はさつまいもの収穫量2位（農林水産省）。1位は鹿児島県、3位は千葉県、4位は宮崎県、5位は徳島県。茨城県でも収穫量トップクラスは行方市。行方市は東京から車で1時間30分（京葉道路、東関東自動車道経由）。行方市のさつまいもは第56回農林水産祭の天皇杯受賞。紅こがね、紅優甘、紅まさを紹介。今回は

						簡単さつまいもレシピを大公開。管理栄養士・堀知佐子に教えてもらう。きょうのテーマは「美味しいさつまいも料理が食べたい、どうする?」。さつまいもはビタミンC、食物繊維、糖質も多く腹持ちが良い。JAなめがたへ。営農経済部・野原正幸に話を聞く。なめがたではさつまいものことを「甘藷」と呼ぶ。なめがた台地は甘藷の栽培に適している。ヤラピンは多いほど甘く、腸の働きを整える機能成分。JAなめがたのブランド「紅優甘」は今は食べごろで、おすすめは焼き芋。焼き芋を頂く。甘藷部会連絡会・箕輪秋雄会長、息子・幸則に話を聞く。甘藷畑の広さは東京ドーム3個分。芋掘り体験をさせてもらう。収穫した「紅優甘」を使って農家ならではの料理を作ってもらう。義娘・尚子に話を聞く。さつまいもご飯、さつまいもの味噌汁、さつまいものポタージュ、さつまいもの春巻きを頂く。スタジオでさつまいもご飯のポイントを紹介。
19	2018/10/7	BS-TBS	徳光 & 木佐の知りたいニッポン!	292	“水族館”や“イタリア風リゾート”「廃校ユニーク活用」	廃校の活用事例をスタジオで紹介。事例6校で、茨城県行方市(旧・大和第三小学校)「“さつまいも”の体験型農業テーマパーク」も紹介。廃校活用のメリットについてスタジオで解説。
20	2018/10/3	テレビ朝日	ワイドスクランブル	165	<スクランブル1>全国で広がる廃校の活用・地方再生の起爆剤になるか	全国で広がる廃校の活用の例。山梨・身延町のドローン技術研究所(サイトテック)、静岡・伊豆市の手作り味噌工場(ナチュラルキッチン)、茨城・行方市のテーマパーク(なめがたファーマーズヴィレッジ)。野菜、バスケットゴールに言及。
21	2018/9/29	日本テレビ	世界一受けたい授業	706	世界一受けたい授業	元経済産業省官僚・岸博幸が、町を蘇らせたワンアイデアを紹介。茨城県行方市では、廃校を利用して農業施設を作り、観光客を20倍にした。
22	2018/9/27	日本テレビ	news every.	216	<every. TIME 4>漁の最盛期迎えるある魚“霞ヶ浦の	(中継)茨城県行方市。霞ヶ浦より渡辺裕太がレポート。しらうお(白魚)の漁が最盛期。輝いて半透明なことから「霞ヶ浦のダイヤモンド」と呼ばれる。しらうおの煮干、しらうおの刺身、しらうおの磯辺揚げを紹介。しらうおのトロール漁は12月ま

					ダイヤモンド”	で続き、「道の駅たまつくり」で取り扱っている。霞ヶ浦水産研究会・会長・伊藤一郎のコメント。茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所の映像。ショウガに言及。
23	2018/9/26	テレビ朝日	グッド！モーニング	1147	<気show予報>気象情報	(中継) 茨城・行方市・なめがたファーマーズヴィレッジ。いばらきゴールドを紹介。みんなでソラをライブ・サツマイモの食べ方といえど？(スイートポテト、焼きいも、大学いも、干しいも)。お天気検定「サツマイモと同じ仲間なのは？」。お天気検定の正解「アサガオ」。
24	2018/9/24	フジテレビ	くいしん坊！万才	155	茨城県行方市・わかさぎのおいしい食べ方	くいしん坊松岡修造が全国各地の名物料理や郷土の味・珍味に挑戦！その土地の歴史や文化、人々の暮らしにふれ、食べることの喜びや出会いの楽しさを伝える。茨城県に言及。出演：松岡修造
25	2018/9/20	日本テレビ	news every.	250	<気になる！>「廃校」でまさかのグルメ！秋のおでかけスポットに	関東各地で廃校になった元学校では色々なグルメが楽しめる人気のおでかけスポットになっている。茨城県行方市の5年前に廃校になった大和第三小学校にはご当地キャラ「焼き右衛門」。茨城県が全国2位を誇るサツマイモ。なめがたファーマーズヴィレッジとしてサツマイモのテーマパークになっている。サツマイモの歴史や栽培方法が学べたり、スイートポテト作りの体験ができる。菓子メーカーが町の活性化を目指す行方市から廃校の校舎を引き継ぎ再利用した。特産品のサツマイモを売り出す観光スポットにした。パークにはオリジナルのサツマイモグルメがある。りんごとさつまいものデザートピッツァ、石窯ダッチベイビーパンケーキを紹介。サツマイモ畑では「いばらきゴールド」を栽培。
26	2018/9/19	NHK総合・東京	首都圏ニュース845	37	茨城・行方市・お年寄りを支援“移動スーパー”	食料品などをトラックに積んで巡回する移動スーパーが、茨城・行方市で営業を始めた。車の運転ができず買い物に出かけるのが難しいお年寄りを支援しようと地元のスーパーマーケットが始めた。移動スーパーの販売員・堀内達朗は「地域の高齢者が安心して生活できるように休まず続けていきたい」とコメント。買い物をした人のコメント。
27	2018/9/19	NHK総	首都圏ネット	39	茨城県行方市・お年寄	食品などをトラックに積んで巡回する移動スーパーが茨城県行方市で営業を始め

		合・東京	ワーク		りを支援「移動スーパー」	た。車の運転ができず買い物が難しいお年寄りを支援しようと、地元のスーパーマーケットが始めた。移動スーパーの販売員・堀内達朗のコメント。てくしれのロゴ。
28	2018/9/19	NHK 総合・東京	ニュース・気象情報	88	茨城・行方・移動スーパー・営業開始	食料品などをトラックに積んでお年寄りの家などを巡回する移動スーパーがきょうから茨城県行方市で営業を始めた。この移動スーパーは地元のスーパーマーケットへ買い物に出かけるのが難しいお年寄りを支援しようと営業を開始した。きょうは行方市・鈴木市長など関係者が参加して式典が開かれた後、予め登録した高齢者の家に向かった。行方市は人口に占める65歳以上の割合が33.8%と県内でも高齢化が進む自治体の一つで、車を運転できなくなったお年寄りの支援が課題になっている。移動スーパーの販売員・堀内達朗のコメント。くめ納豆のロゴ。移動スーパー（茨城・行方）の映像。野菜に言及。
29	2018/7/18	テレビ東京	よじごじDays	2187	本当の人気グルメはどっち？	「本当の人気グルメはどっち？」と題して、料理店の人気メニューを2つ紹介。どちらが人気かを決める。日比谷松本楼グリル&ガーデンテラス、長崎ちゃんぽんリンガーハット、浅草梅園の人気メニューをレッド吉田が食べる。茨城県行方市にある青写真農家を訪問。カレー。ケチャップの映像あり。出演・長野博、竹崎由佳、渡辺正行、馬場園梓、レッド吉田
30	2018/7/15	BSテレビ東	未来会議プロジェクト 農村はどうすればもっと元気になる？	456	農業のテーマパークで地方創生	キーワードは「地方創生」。茨城県行方市のなめがたファーマーズヴィレッジを紹介。2015年のオープン以来、来場者数は増加。企業、JAと農家、行政がタッグを組んで出来た新しい農業形態。白ハトグループが中心となり、JAと農家、行政がサツマイモを使って地方創生するという目的で誕生した。スイーツ製造工場、カフェ&レストラン、マルシェ、やきいもファクトリーミュージアム、収穫体験、グランピングがある。廃棄サツマイモが取引されることで所得の向上にも繋がる。5000トンのサツマイモ貯蔵庫も整備。しかし、東日本大震災で行方の農業は深刻な風評被害を受けた。それを打開すべく、東京スカイツリータウンの屋上にサツマイモ畑をつくり、行方の

						土の安全性を世界中にアピールした。東京中央卸売市場「サツマイモ」取扱金額のグラフ（東京中央卸売市場統計より）。JAなめがた本店の映像。なめがたファーマーズヴィレッジ・佐藤大輔施設長、JAなめがた・棚谷保男代表理事組合長のコメント。
31	2018/7/2	TBS テレビ	はやドキ!	102	<いまドキ!新聞ピックアップ> 3分で37匹!?金魚すくい大会	茨城・行方市で「第1回なめがた金魚すくい大会」が開かれた。ルールについて説明。一般の部で優勝した人は3分で37匹も金魚をすくいあげたという。
32	2018/7/1	TBS テレビ	Nスタ	83	<Suntopi> 茨城・行方市・大人も子どもも真剣勝負“金魚すくい”	金魚の養殖が行われている茨城・行方市で「第10回なめがた金魚すくい大会」が行われた。全国大会への切符をかけた熱い戦いが繰り広げられていた。金魚は、日差しがあると活動的になるので、金魚の養殖にとっては、早い梅雨明けはむしろよかったと関係者は言っていた。金魚すくい選手権ルールのテロップ。
33	2018/4/12	NHK 総合・東京	あさイチ	661	<おでかけLIVE> 廃校が変身!ユニークなテーマパーク	茨城県行方市「なめがたファーマーズヴィレッジ」(JR「潮来駅」から路線バスで40分)から生中継。体感!農業テーマパークを紹介。企業とJA行方、行方市の3者が手を取り合って2年前にオープン。四季折々の野菜や果物の収穫体験ができる。畑を一周しながら自然体験できるトラクターツアーもある。個人で畑も借りることができて農業のプロフェッショナルに教わりながら好きな野菜も作れる。やきいもミュージアムではさつまいもの豆知識を知ることができる。青木昆陽に言及。
34	2018/3/6	テレビ朝日	グッド!モーニング	1090	生でもお鍋にも!「わさび菜」出荷ピーク	行方市の「わさび菜」を紹介。市内のJA直売所で販売している。(中継)茨城・行方市、六本木ヒルズから。お天気検定「わさび菜の元となった品種は?」。(中継)茨城・行方市。 お天気検定の正解「からし菜」。(中継)茨城・行方市、東京・六本木。わさび菜を紹介。
35	2018/2/2	日本テレビ	news ever	507	<特集> 茨城県行方市・さつま	茨城県行方市のなめがたファーマーズヴィレッジを訪ねる。廃校になった小学校を利用したさつまいものテーマパークでJ

			y.		いものテーマパーク	Aなめがたとサツマイモスイーツ専門店がタッグを組み3年前にオープンした。茨城のさつまいもの生産量は鹿児島に次いで全国第2位。農芸部・小畑麻子が案内する。茨城ゴールドの焼き芋をいただく。干し芋BARおいも熟成蔵では干し芋の食べ比べセットがいただける。行方市立大和第三小学校の文字あり。
36	2018/2/1	TBS テレビ	Nスタ	320	<特集>絶品!ご当地焼きいも	おとといスタートした焼き芋のイベント「品川やきいもテラス」取材した。空前の焼き芋ブーム。焼き芋といえぱりヤカーの移動販売というイメージだが、今はスーパーの店頭などで1年中販売されるようになり、生のサツマイモより焼き芋が売れる時代に。安納芋の登場により、ほくほく系からねっとり、しっとり系がブームに。会場では安納芋品評会で最高金賞を3度受賞した農家を作る「安納紅」(芋仙人)もいただける。焼き芋会のニュースター・シルクスweetのおいしさを探るべく、シルクスweetの生まれ故郷・茨城県行方市へ。鹿児島県に次ぐサツマイモ生産量第2位の茨城県。全国で初めてシルクスweetの種を販売した「タネのハシモト」(茨城・行方市)を伺った。シルクスweetは行方市の土壌に合うように開発された品種。5年前、シルクスweetの栽培を開始。日本で1台しかないというシルクスweet専用の糖度測定器で品質を管理。さらに去年の10月から11月にかけて収穫されたシルクスweetは、今ハウスの中で眠っている。たどり着いたのは秋についたのは2〜3か月シルクスweetを眠らせること。今が食べごろになる。今回のイベントでも大人気。「焼き芋ブリュレ」(HAPPY GATE)や「バター焼」(倉田屋)。日本芋類研究会役員・山田英次、見附豊和店主、タネのハシモト・橋本茂社長、サツマイモ農家・箕輪正和のコメント。東京・練馬区・ライフ氷川台店の映像。
37	2018/1/21	テレビ朝日	ロボット旅日本一周〜	1847	ロボット旅	人間とロボットが日本一周。あばれる君とソフトバンクロボティクス社のロボが茨城県行方市を訪問。地元農家にインタビューを行い、野菜の美味しい食べ方を調査す

			タカラ モノク ダサイ ～			る。出演・オードリー、あばれる君
38	2018/ 1/15	NHK 総合・ 東京	趣味の 園芸 やさい の時間	1440	牛乳パック でミニ菜園 ～葉もの、 ニンジン～	園芸家・深町貴子を講師に迎え、牛乳パックを使った野菜の栽培方法を紹介する。今回育てるのは葉もの、ニンジン。有村実樹が茨城県行方市にあるセリ農家を訪問。生産者にインタビューを行う。視聴者から寄せられた、野菜作りの写真を紹介。消費者に言及。出演・伊藤裕子、深町貴子、酒井千佳、有村実樹
39	2017/ 12/23	NHK 総合・ 東京	N H K ニュー ス	74	茨城県霞ヶ 浦・寒曳き シラウオ 漁・最盛期	全国有数のシラウオの産地・茨城県霞ヶ浦で冬の風物詩「寒曳きシラウオ漁」が最盛期を迎えている。この時期は毎日約100隻の船が漁を行っている。シラウオ漁は今年いっぱい続き、茨城県内のほか東京や大阪、名古屋などにも出荷される。漁師・越川留吉は「ここ何年にもない豊漁」と話す。霞ヶ浦（茨城・行方市）の映像。
40	2017/ 12/22	テレ ビ朝 日	じゅん 散歩	120	旬刊！いば らき	2分でわかる茨城の魅力。茨城・行方市。茨城はサツマイモの生産量全国2位。なめがたファーマーズヴィレッジ。紅こがねバターなど。やきいもミュージアム。いばらきゴールド。ウィンターファームグランピング。出演・磯山さやか
41	2017/ 12/17	NHK 総合・ 東京	N H K ニュー ス	63	茨城・行方 市・正月用 ワカサギの 加工品作り 最盛期	正月のおせち料理などで使われる茨城・霞ヶ浦特産のワカサギの加工品作りが、茨城県行方市の食品加工会社で最盛期を迎えている。食品加工会社・辺田和夫代表は「とてもおいしいワカサギに成長した」とコメント。加工品は霞ヶ浦周辺の直売所のほか、東京や千葉などに出荷される。
42	2017/ 12/15	テレ ビ朝 日	グッ ド！モ ーニン グ	1057	<依田司の お天気検定 >気象情報	お天気検定「せりの収穫量、都道府県トップは？大分、茨城、宮城」。お天気検定の正解「宮城」。せりの収穫量トップ3（2014年）1位・宮城県467t、2位・茨城県370t、3位・大分県151t。（中継）茨城・行方市、東京・六本木、広島市。
43	2017/ 12/10	BS1	C O O L J A P A N	1037	「芋～P o t a t o e s～」	「日本の芋」の魅力を探る。日本は“いもスイーツ天国”。池袋のデパ地下で“いもスイーツ”を調査。茨城県行方市・さつまいもミュージアムを紹介。コンニャク、焼き芋、おでん、大学芋、昭和の味、中国、

						インド、明治時代、浅草、前田利右衛門、青木昆陽、三野輪万蔵、チョコレート、ロシア、カレーに言及。SEIBUのロゴ。出演者・荒俣宏、鴻上尚史、リサステッグマイヤー。声・日高のり子、中井和哉
44	2017/12/8	日本テレビ	スッカリ	812	<スッカリ TOUCH>日本初！焼きいもテーマパークでキュンキュン・はとバス企画班のエースに密着	新しく登場した「はとバスツアー」に密着！池袋発の“インスタ映え”をテーマにしたこのツアーのキュンキュンポイントは、1・萌え断サンドウィッチ、1・茨城の珍スポット、3・絶景。つづいては、日本初のさつまいものテーマパークへ。マスコットキャラクターの「焼き右衛門」がお出迎え。アツアツの焼きいもを試食。絶景のキュンキュンポイント「茨城・神栖市・港公園展望台」へ移動。夕日がキレイなスポットだという。茨城・行方市・なめがたファーマーズヴィレッジの映像。鹿児島県、千葉県、いばらきゴールド、SNSに言及。資料／さつまいもの収穫量・農林水産省調べ。
45	2017/11/24	NHK総合・東京	首都圏ニュース845	35	茨城・行方市・西蓮寺の大イチョウ	
46	2017/11/11	TBSテレビ	ウィークエンドウェザー	56	さつまいものインスタ映え	茨城・行方市・なめがたファーマーズヴィレッジは、閉校した小学校を活用したサツマイモのテーマパーク。行方市はサツマイモの収穫が盛ん。東京・銀座・茨城マルシェでは、茨城県のサツマイモをたくさんの人に知ってもらうためインスタ映えを活用。干し芋パフェを紹介。
47	2017/10/28	日本テレビ	和び旅	115	食の宝庫、茨城の旅、干し芋	旅人・唐田えりか、和び旅案内人ずん飯尾和樹。ひたちなか市大丸屋。干し芋。行方市おいも熟成蔵。干し芋BAR。熟成干し芋食べ比べセット756円。茨城に言及。出演者・唐田えりか
48	2017/10/25	テレビ朝日	スーパーJチャンネル	216	困った・長雨に台風…さらに低温・農産品にトリプルパンチ	台風21号が去ったが、また雨。見頃を迎えている旧古河庭園（東京都北区）のバラ園。長雨の影響で曲がった花が目立つ。東京は今月雨が降らなかったのは4日、10月に雨が半月続いたのは127年ぶり。なめがたファーマーズヴィレッジ（茨城県行方市）では長雨でサツマイモの収穫体験が行えず、ほとんどが土の中。収穫祭は11月

						3日に延期した。スイートポテト作り教室が人気。なめがたファーマーズヴィレッジ係長・瀧澤芽衣のコメント。
49	2017/10/15	TBS テレビ	所さん お届け モノで す！	1041	個性的すぎる専門店で発見！なかなかお目にかかれない逸品	今回のテーマは「個性的すぎる専門店で発見！なかなかお目にかかれない逸品」。テーマについて紹介する。茨城県行方市にある焼き芋のテーマパークを紹介。東京都日本橋にある地図専門店を訪問。出演・所ジョージ、新井恵理那、田中卓志、劇団ひとり
50	2017/10/11	テレビ東京	よじご じDays	1849	今が旬！おいしいゴボウが主役	茨城県行方市にある行方市観光物産館から中継。冷やし石焼き芋を紹介。出演・長野博、竹崎由佳、虻川美穂子
51	2017/10/10	NHK 総合・東京	ごごナ マ知 っ トク！ ら いふ	408	<ドコでも隊>さつまいもづくしのテーマパーク	「やきいもファクトリーミュージアム」から伝える。元々は小学校だった場所を利用して作られたテーマパーク。やきいもファクトリーミュージアム・瀧澤芽衣に、さつまいもについて教えてもらう。「キュアリング」、貯蔵庫の紹介。オーブントースターに言及。大学芋の詰め放題を紹介。さつまいもとアップルのパイ、スイートポテトを紹介。干し芋バーへ。館長・佐藤大輔に話を聞く。熟成干し芋食べ比べセットを紹介。燻製の干し芋を試食する。ウイスキーを頂く。(中継)茨城・行方市。
52	2017/7/18	NHK 総合・東京	ひるま えほっ と	529	<夏休みイチオシスポット>茨城・鹿行で水&土遊び	霞ヶ浦や利根川など水辺に囲まれた鹿行地域で水&土遊び。行方市にある農業体験施設「なめがたファーマーズヴィレッジ」ではトマト狩り体験ができ自分達で収穫したトマトで料理も作れる。カブトムシ捕り体験もできる。
53	2017/6/2	NHK 総合・東京	首都圏 ニュース 845	45	茨城・行方市・西蓮寺・ホテルブクロ	地元ボランティアのコメント。
54	2017/5/29	日本 テレビ	new s e v e r y.	242	<every. time 4>「ある野菜」が収穫最盛期・間違った名前が浸透？	(中継)茨城・行方市。渡辺裕太がレポート。若採りのらっきょう「エシャレット」が収穫の最盛期を迎えている。名前が似ている「エシャロット」は小型たまねぎの一種。エシャロットからもじってエシャレットにした。エシャレットの天ぷらカレー風味を紹介。写真：アフロ。高野篤範のコメント。JAなめがたに言及。
55	2017/	NHK	ひるま	80	<茨城県の	アイガモを使った無農薬の米作りを体験

	5/22	総合・東京	えほつと		話題>「アイガモ農法」の体験会	する催しが茨城県行方市で行われ、東京や埼玉から訪れた家族連れらが田植えやアイガモのヒナの放鳥を体験した。茨城・行方の映像。参加した人、主催した市民グループ・平野清子のコメント。
56	2017/4/29	TBSテレビ	サタデープラス	630	最上級の調味料に合う食材探し in 茨城県	最上級の調味料は何にかけるのが一番おいしいのか？その産地で地元の人だからこそ知る食材探し。今回訪れた茨城県行方市は霞ヶ浦と北浦にはさまれた農業の盛んな町。ここで放し飼いされている烏骨鶏から作られるのが烏骨鶏卵プレミアムヘルシーマヨネーズ。篠原信一が調査。マヨネーズを考案したのは地元の高校で農業を学ぶ茨城農女ファーム代表の高校2年生の女子。烏骨鶏は5日に1回しか卵を産まない。酸化しにくくキレの良い国産こめ油を加えて作ったマヨネーズは、昨年行われた第8回フードアクションニッポンアワード2016で「究極の逸品100選」に選ばれた。貴重な卵を使い、月に500本ずつ工場で生産。お酢は赤いラベル・アップルビネガー、緑のラベル・ワインビネガーを使用。今回はワインビネガーのマヨネーズにあう食材を探す。女子高生のオススメは行方名物・アミの佃煮。つくだ煮・辺田商店の映像。篠原信一が烏骨鶏卵プレミアムヘルシーマヨネーズに合う食材探し。さつまいもが日本農業大賞を受賞。1年中いちばんおいしい状態で出荷する取り組みで日本一に選ばれた。焼き芋にマヨネーズをプラス。食材に合う調理法、串焼き、マヨネーズフォンデュを紹介。農家レストラン・ふきのとう、道の駅たまつくり・行方市観光物産館こいこいの映像。チーズフォンデュに言及。
57	2017/3/15	日本テレビ	ZIP!	247	<あおぞらキャラバン>そらとセレイナのふたり旅・茨城・行方市	シンガーソングライター・セレイナアンとオールドイングリッシュシープドッグ・そらの2人旅。霞ヶ浦に面した茨城・行方市を散策。ナマズの養殖を行っているなまず屋を訪問。霞ヶ浦で捕まえた稚魚を育て食用として出荷。なまず屋・野原吉伸にナマズを見せてもらった。選別作業をお手伝い。ナマズのお刺身を堪能。Facebook、Twitter、Instagram

						mのテロップ。
58	2017/ 2/20	フジ テレ ビ	みんな のニュー ース	294	伝 統 グ ル メ！？「な ま ず サ ミ ッ ト」開催	全国初の「なまずサミット」が開かれた埼玉・吉川市。中原恵人市長「なまずは古くから市民の生活の中にあった生き物」。江戸時代からなまずを使った伝統を守り続けている吉川市。茨城・行方市などなまずにゆかりのある市や町が集まった。各地のなまず文化や町おこしについて発表。なまずを使った料理の試食会も行われた。
59	2017/ 2/20	NHK 総 合・ 東京	趣 味 の 園 芸 や さい の 時間	1440	牛乳パック でミニ菜園 サントウサ イ&ミニニ ンジン	深町貴子を講師に迎え、野菜の栽培方法を紹介。今回は牛乳パックを使い、野菜を栽培する。有村実樹が茨城県行方市にあるセリ農家を訪問。視聴者から寄せられた野菜の写真を紹介。消費者に言及。出演・酒井千佳、伊藤裕子、深町貴子、有村実樹
60	2016/ 12/5	BS ジ ャ パ ン	ワ ー ル ド ビ ジ ネ ス サ テ ラ イ ト	126	「今年の一 皿」パクチ ー料理・人 気急拡大で 栽培農家も 激増	茨城県行方市のＪＡなめがた香菜部では農家 12 人がビニールハウス 200 棟で年間 60 t のパクチーを生産している。ただ栽培を始めた 10 年前の 1 日の出荷量は 5 k g 程。行方市の気候に合った香りの強いパクチー種を 7 年かかって探し、ようやくここ数年で安定した量を収穫できるようになったとのこと。今ではブームの追い風もあって一日 80～100 k g を出荷している。生産者・沼里一男は「これからの課題として生産者を増やしていこうと思っている。単価がとれる野菜として生産者集めを進めていきたい」と話した。
61	2016/ 12/5	テレ ビ 東 京	ワ ー ル ド ビ ジ ネ ス サ テ ラ イ ト	126	「今年の一 皿」パクチ ー料理・人 気急拡大で 栽培農家も 激増	茨城県行方市のＪＡなめがた香菜部では農家 12 人がビニールハウス 200 棟で年間 60 t のパクチーを生産している。ただ栽培を始めた 10 年前の 1 日の出荷量は 5 k g 程。行方市の気候に合った香りの強いパクチー種を 7 年かかって探し、ようやくここ数年で安定した量を収穫できるようになったとのこと。今ではブームの追い風もあって一日 80～100 k g を出荷している。生産者・沼里一男は「これからの課題として生産者を増やしていこうと思っている。単価がとれる野菜として生産者集めを進めていきたい」と話した。
62	2016/ 11/29	TBS テレ ビ	Nスタ	185	<特集！> ゆるキャラ で町おこし	大きな口で小魚などを食べあさり、鋭いヒレで人を傷つける特定外来生物のアメリカナマズ。茨城県霞ケ浦では爆発的に増加

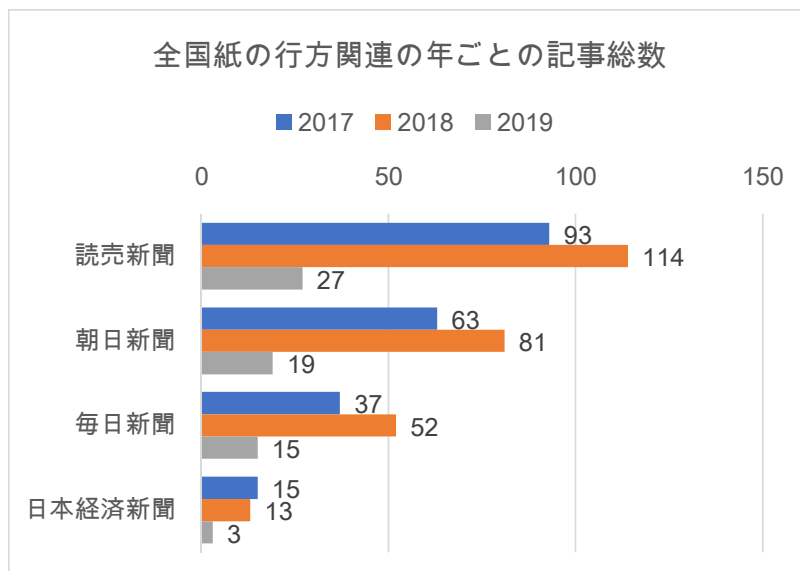
					も！？	したが、その悪名を逆手にとって町おこしをしている。アメリカナマズのゆるキャラ「ニコちゃん&なめぞう」。行方氏の地域振興キャラクターとして活躍しているという。ハンバーガー「行方バーガーなめパッくん」もある。ナマズは米国ではキャットフィッシュと呼ばれていて、フライを挟んだ「P o' B o y」というハンバーガーもある。行方市商工会・平野敬子事務局長のコメント。
63	2016/11/14	NHK 総合・東京	おはよう日本	316	<けさの知りたい！> 進化する焼きいも	東京・世田谷区にある焼きいもの専門店では品種によって異なる味を選ぶことができる（安納芋、紫芋、鳴門金時を紹介）。京都で焼き芋を販売している男性は、ツイッターで自分の居場所を発進しながら焼きいもを販売している。生産量全国2位の茨城・行方市では市内で廃校になった小学校で“やきいもファクトリーミュージアム”をつくった。行方市ではサツマイモを収穫後熟成させるため甘くなり、出荷量が増えているという。家庭でもおいしく焼ける焼きいもの秘けつを紹介。焼きいものイベント（千葉・香取）の画像。
64	2016/11/6	TBS テレビ	がっちりマンデー	573	儲かる！黄綬褒章2016	ゲストは森永卓郎、梅沢富美男。舞台俳優歴50年の梅沢富美男。黄綬褒章は農業、商業、工業等の業務に精励し人々の模範となるものに授与される。茨城・行方市にある県の指定文化財「大場家住宅」は築350年。茅葺屋根を作る職人に黄綬褒章が贈られた。2015年黄綬褒章受章・廣山美佐雄。茅葺き職人歴60年でもうすぐ85歳。茅葺きの差し替え。
65	2016/11/2	NHK 総合・東京	ひるブラ	1380	絶品さつまいも、ホクホク登場！～茨城・行方市～	茨城県行方市にあるなめがたファーマーズヴィレッジから中継。なめがたファーマーズヴィレッジではさつまいもが栽培されている。さつまいもは倉庫で熟成管理されている。さつまいもを使った料理を試食する。チョコレート、少子化、JA、食品メーカーに言及。出演・辺見えみり、照英、高橋康輔
66	2016/10/26	テレビ朝日	スーパーJチャンネル	290	<Jこだわり>日本の農地を守れ！奮闘す	自民党・小泉農林部会長は「平均年齢は農家は67歳。今の日本の農業の状況は持続可能性を失った」と述べた。農家の高齢化や後継ぎ不足、茨城県行方市も農家の6割

					る農業女子	近くが 60 歳以上。耕作放棄地も目立つ。東京ドーム 7 個分、体験型農業テーマパーク・なめがたファーマーズヴィレッジは今が旬のサツマイモやサツマイモを使ったお菓子、大学いも詰め放題コーナーなど、日本有数の産地ならではのサツマイモ尽くし。大学いも製造工場も見学できる。施設が特に力を入れるのは収穫体験。今年は耕作放棄地を開墾し、サツマイモの収穫量を 100 t に増やす。収穫を託されたなめがたしろはとファーム・瀧澤芽衣。実家は横浜で、入社するまで本格的な農作業の経験はなかった。なめがたしろはとファーム・佐藤大輔常務、瀧澤芽衣、三谷勝利、一般人のコメント。らぽぽ「蜜がけ 2 層のしっとり焼き芋バウム」、「さつまいもとかぼちゃのタルティーヌ」の映像。
67	2016/9/23	BS1	B S 列島ニュース	84	茨城・行方・10 万本のヒガンバナ・見頃	茨城県行方市で約 10 万本のヒガンバナが今見頃を迎えている。行方市・西蓮寺や周辺の畦道などには、8 年前から訪れた人たちに秋の風景を楽しんでもらおうと、寺の住職や地元の人たちがヒガンバナの球根を植えている。ヒガンバナは曼珠沙華とも呼ばれ、毎年この時期に赤く色鮮やかな花を咲かせる。ことしも 1 週間ほど前から約 10 万本のヒガンバナが咲き始め、境内や畦道などを真っ赤に彩っている。訪れた人は「きれいですね。雨の中もいいですね」とコメント。行方市・西蓮寺とその周辺のヒガンバナは、来月初旬ごろまで楽しめるという。
68	2016/9/23	NHK 総合・東京	N H K ニュース	68	茨城・行方市・10 万本のヒガンバナ・見頃	茨城・行方市でおおよそ 10 万本のヒガンバナが今見頃を迎えている。行方市の西蓮寺やその周辺では寺の住職や地元の人たちが 8 年前からヒガンバナの球根を植えている。ヒガンバナは「曼珠沙華」とも呼ばれ毎年この時期に赤く色鮮やかな花を咲かせる。
69	2016/9/5	NHK 総合・東京	ひるまえほつと	74	<茨城県の話題>霞ヶ浦・アサザの花が見頃	霞ヶ浦で水生植物のアサザの花が見頃を迎え、黄色い可憐な花が湖面を彩っている。アサザは数が減っていることから、環境省のレッドリストで準絶滅危惧種となっている。霞ヶ浦では地元の N P O がアサザを植える活動が続け、現在は群落が見られ

						る場所が増えているという。行方市観光協会によると、アサザの花は午後には花を閉じてしまうため、花を楽しむのは午前中が良いという。アサザの花の見頃は今月末頃まで。
70	2016/ 8/12	テレビ東京	モーニングチャージ!	292	特集・夏休み!まだ間に合う・お手軽マリレジャー	台場ではSUPがブームになっている。ハワイで楽しまれていたスポーツ。手軽に始められることから日本でもブームになっている。EHUKAI BEACH IS A公認インストラクター・成尾英己のコメント。初心者体験教室は2時間 5000 円。SUPレンタル一式は2時間で 2500 円。「ELIMA」(東京・港区)・店長・福井五大は折り畳み式のボード「PEAKS SKUMO」を紹介。茨城・行方市・霞ヶ浦ではパラセーリングを楽しむことが体験できる。パラセイリング体験は 5000 円。パラセイリングインストラクター・市村貴幸は「茨城県をもっと盛り上げたいという気持ちで頑張りたい」とした。茨城県は「魅力度ランキング」(出典ブランド総合研究所)で15年最下位。「Odaiba EHUKAI BEACH」の映像。

2. 新聞メディア（全国紙）の紙面での取り上げられ方の特質

主要全国紙の記事検索結果³では、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞の順で取り上げられていた。参考までに、茨城新聞の記事件数も挙げたが、全国紙4紙に比べると、桁違いに本数が多い。



	2017	2018	2019	期間計
読売新聞	93	114	27	234
朝日新聞	63	81	19	163
毎日新聞	37	52	15	104
日本経済新聞	15	13	3	31
※茨城新聞	842	840	256	1,938
計	1,050	1,100	320	2,470

また上記の件数は、事件・事故関連や選挙（情勢報道や当落情報）、異動・人事といったものを含んでいるために、テレビ番組同様に、行方市の魅力発信をつながるような記事に限定すると、下の表のようになった。

	2017	2018	2019	期間計
読売新聞	15	13	3	31
朝日新聞	18	19	2	39
毎日新聞	10	12	4	26
日本経済新聞	8	1	0	9
計	51	45	9	105

³ 新聞記事データベース（日経テレコン）によって、キーワード検索した。2019年の数値データについては、3月31日までの掲載結果であり、参考値扱いである。

表 行方市を取り上げた全国紙（新聞別、掲載日新しい順）

1	鹿行地域 100キロ駆ける 北浦湖岸中心に5市 初のウルトラマラソン＝茨城	2019/03/25 東京読売新聞朝刊 29 ページ写 521 文字
2	笑顔 華やか 行方で稚児行列＝茨城・訂正あり	2019/02/22 東京読売新聞朝刊 26 ページ写 362 文字
3	「鹿島核に」事業着々 DMO設立1年 合宿誘致や海外需要 好調＝茨城	2019/02/02 東京読売新聞朝刊 33 ページ写・表 2323 文字
4	漁業体験 郷土愛育む 行方 稚魚放流やトロール漁見学＝茨城	2018/11/15 東京読売新聞朝刊 30 ページ写 756 文字
5	〔農業王国のいま〕人と知恵（4）新品種普及へ技術共有（連載）＝茨城	2018/10/30 東京読売新聞朝刊 25 ページ写 1268 文字
6	〔水と生きる〕（下）伝統の帆引き船 残す努力（連載）＝茨城	2018/10/15 東京読売新聞朝刊 25 ページ写 1418 文字
7	枝豆とったよ！ 行方で収穫体験＝茨城	2018/09/24 東京読売新聞朝刊 25 ページ写 313 文字
8	移動スーパー 行方でも セイミヤ 「とくし丸」が運行＝茨城	2018/09/20 東京読売新聞朝刊 28 ページ写 435 文字
9	新選組、行進！ 行方で祭り＝茨城	2018/09/19 東京読売新聞朝刊 28 ページ写 234 文字
10	ビジネスコンテスト 行方市が参加者募集＝茨城	2018/09/04 東京読売新聞朝刊 28 ページ 295 文字
11	駆け抜けろ 100キロ ウルトラマラソン 北浦舞台に来年3月＝茨城	2018/09/01 東京読売新聞朝刊 30 ページ表 640 文字
12	鹿島核に観光振興 「DMO」本格稼働 事務所開設＝茨城	2018/04/04 東京読売新聞朝刊 27 ページ 339 文字
13	行方に簡易劇場が完成 記念イベントによしもと芸人ら＝茨城	2018/03/26 東京読売新聞朝刊 33 ページ写 328 文字
14	華やかにお練り 行方・稚児行列＝茨城	2018/02/20 東京読売新聞朝刊 34 ページ写 375 文字
15	行方産サツマイモ カナダに輸出 焼き芋の実演販売も＝茨城	2018/02/12 東京読売新聞朝刊 25 ページ表 939 文字
16	国選択無形民俗文化財 霞ヶ浦の帆引網漁 答申＝茨城	2018/01/20 東京読売新聞朝刊 31 ページ写 604 文字
17	行方産 紅優甘の本格芋焼酎発売＝茨城	2017/12/20 東京読売新聞朝刊 28 ページ写 313 文字
18	〔常陸人〕行方で農業を営む 野原浩さん55＝茨城	2017/10/15 東京読売新聞朝刊 33 ページ写 1002 文字
19	新選組の志士 行方に集う＝茨城	2017/09/18 東京読売新聞朝刊 25 ページ写 346 文字
20	秋の茨城 遊びに来て 5市町PR隊、本社訪問＝大阪	2017/09/17 大阪読売新聞朝刊 24 ページ 238 文字

21	行方の神社で例大祭 小学生が奉納相撲＝茨城	2017/08/27 東京読売新聞 朝刊 28 ページ写 222 文字
22	ヤマユリ清らか 行方で見頃＝茨城	2017/07/17 東京読売新聞 朝刊 25 ページ写 206 文字
23	風土記読み地元に愛着 行方の小学校 好奇心く すぐる子供版＝茨城	2017/07/06 東京読売新聞 朝刊 26 ページ写 860 文字
24	金魚すくい 猛者も登場 行方で関東大会＝茨城	2017/07/04 東京読売新聞 朝刊 34 ページ写 242 文字
25	金魚すくいの腕見せどころ 来月2日、行方で関 東大会＝茨城	2017/06/23 東京読売新聞 朝刊 24 ページ 233 文字
26	お試し居住 取り組み加速 県や12市町 移住 者獲得へ＝茨城	2017/06/21 東京読売新聞 朝刊 29 ページ写 1192 文字
27	農業産出額 銚田全国2位 市町村別 野菜、い も類でトップ＝茨城	2017/06/05 東京読売新聞 朝 刊 25 ページ 953 文字
28	歴史息づく「行方御膳」 20飲食店提供 コイ のうま煮など＝茨城	2017/05/19 東京読売新聞 朝刊 24 ページ写 582 文字
29	鹿島・石井監督らと農作業体験参加募る 行方で 27日＝茨城	2017/05/12 東京読売新聞 朝刊 30 ページ 333 文字
30	行方の4小学校に手作り「防犯かるた」＝茨城	2017/05/11 東京読売新聞 朝刊 29 ページ写 453 文字
31	行方市 育児支援へ協定 授乳服メーカー「モー ハウス」と＝茨城	2017/04/06 東京読売新聞 朝 刊 28 ページ 336 文字

1	100キロマラソン、北浦湖岸を快走 /茨城県	2019/03/26 朝日新聞 朝刊 29 ページ 絵写表有 415 文字
2	(お前はまだキタカントウを知らない) つくば霞 ヶ浦りんりんロード 茨城県 /栃木県	2019/03/02 朝日新聞 朝刊 32 ページ 絵写表有 1869 文 字
3	「漁師市」で霞ヶ浦や北浦の水産物販売 /茨城 県	2018/12/30 朝日新聞 朝刊 19 ページ 絵写表有 227 文字
4	(ぴーぷる)「新選組! 茨城玉造隊」隊長 須田剛 さん /茨城県	2018/10/31 朝日新聞 朝刊 24 ページ 絵写表有 600 文字
5	(わがまちお宝館) なめがたファーマーズヴィレ ッジ 茨城県 学んで味わうサツマイモ/東京都	2018/10/10 朝日新聞 朝刊 26 ページ 絵写表有 1081 文字
6	北浦ぐるり、ウルトラマラソン 来年3月24日 開催、参加者募集 /茨城県	2018/09/26 朝日新聞 朝刊 26 ページ 絵写表有 686 文字
7	行方で「新選組」パレード /茨城県	2018/09/18 朝日新聞 朝刊 19 ページ 絵写表有 272 文字
8	(ふらっと道の駅) たまづくり「なめパッケン」 茨城県行方市 /茨城県	2018/09/15 朝日新聞 朝刊 30 ページ 絵写表有 651 文字
9	(水辺を考える) 霞ヶ浦のいま: 下 開発のあお り、縮む漁業 /茨城県	2018/08/06 朝日新聞朝刊 23 ページ 絵写表有 1371 文字

10	(水辺を考える)霞ヶ浦のいま：中 富栄養化、 在来の魚貝減 /茨城県	2018/08/05 朝日新聞 朝刊 23 ページ 絵写表有 1271 文字
11	(水辺を考える)霞ヶ浦のいま：上 少ない導水 量、効果疑問 /茨城県	2018/08/04 朝日新聞 朝刊 27 ページ 絵写表有 1606 文字
12	行方市立麻生中、豪と姉妹校協定 今月調印へ /茨城県	2018/08/01 朝日新聞 朝刊 21 ページ 370 文字
13	邪悪、追い払え 行方で馬出し祭 /茨城県	2018/07/31 朝日新聞 朝刊 23 ページ 絵写表有 386 文字
14	県産ワカサギ「夏が旬」 霞ヶ浦・北浦、トロー ル漁解禁 県、特産化狙う /茨城県	2018/07/22 朝日新聞 朝刊 21 ページ 絵写表有 932 文字
15	J A 新名称は「なめがたしおさい」 鹿行 2 農協 合併調印 /茨城県	2018/07/12 朝日新聞 朝刊 33 ページ 絵写表有 418 文字
16	スイスイ、金魚すくい 行方で 10 周年記念大会 /茨城県	2018/07/05 朝日新聞 朝刊 22 ページ 絵写表有 325 文字
17	(ぴーぷる)独学でオカリナを作り全国で演奏活 動 野口喜広さん /茨城県	2018/06/20 朝日新聞 朝刊 24 ページ 645 文字
18	行方でものづくり体験 /茨城県	2018/05/28 朝日新聞 朝刊 27 ページ 絵写表有 204 文字
19	行方で農畜水産物まつり /茨城県	2018/04/30 朝日新聞 朝刊 19 ページ 絵写表有 275 文字
20	馬形飾り冠、古代の華 三昧塚古墳出土品、国重 文 牛久の旧校舎など 11 件も /茨城県	2018/03/10 朝日新聞朝刊 29 ページ 絵写表有 1334 文字
21	霞ヶ浦の帆引網漁、妙技に光 無形民俗文化財に 指定へ 保存・伝承、地元期待 /茨城県	2018/01/21 朝日新聞 朝刊 29 ページ 絵写表有 590 文字
22	行方で魚の直売会 /茨城県	2017/12/30 朝日新聞 朝刊 21 ページ 絵写表有 137 文字
23	b e r e p o r t)「千年村」を探せ 名も無き 集落に持続可能の秘密	2017/10/21 朝日新聞 朝刊 4 ページ 絵写表有 1933 文字
24	夏もシラウオを、漁師市にぎわう 行方の道の駅 /茨城県	2017/08/16 朝日新聞 朝刊 16 ページ 絵写表有 255 文字
25	行方でフラダンス・フェス /茨城県	2017/07/24 朝日新聞 朝刊 25 ページ 絵写表有 309 文字
26	現代風に仕立て、子ども版風土記 行方市が小学 生に P R /茨城県	2017/05/31 朝日新聞 朝刊 28 ページ 絵写表有 405 文字
27	J 1 鹿島のホームタウンデイズ「行方の日」イベ ント /茨城県	2017/05/15 朝日新聞 朝刊 25 ページ 写表有 392 文字
28	行方の市報、電子版配信 専用アプリ導入すれば …多言語対応・音声読み上げ /茨城県	2017/05/12 朝日新聞 朝刊 25 ページ 絵写表有 564 文字

29	災害時、ドローン出動 地元愛好団体、行方市に協力 / 茨城県	017/05/01 朝日新聞 朝刊 23 ページ 絵写表有 714 文字
30	(各駅停話: 9 1 1) 鹿島臨海鉄道: 4 鹿島大野 さつまいもの偉人ずらり	2017/04/26 朝日新聞 夕刊 9 ページ 絵写表有 540 文字
31	行方のこども園で集団感染 / 茨城県	2017/04/21 朝日新聞 朝刊 29 ページ 164 文字
32	(謎とき! 日本一) 茨城県 「パクチスト」需要、応える信頼 / 東京・共通	2017/04/18 朝日新聞 朝刊 20 ページ 絵写表有 1108 文字
33	おもてなしの行方御膳発表 / 茨城県	2017/03/17 朝日新聞 朝刊 29 ページ 絵写表有 325 文字
34	行方でレンコン料理のレシピコンテスト / 茨城県	2017/03/06 朝日新聞 朝刊 31 ページ 絵写表有 307 文字
35	行方の魅力、市民目線で ビジネスプラン発表会 / 茨城県	2017/02/15 朝日新聞 朝刊 28 ページ 絵写表有 393 文字
36	ナマズに縁、5 市町などサミット 吉川で 1 8 日、取り組みや新メニュー紹介 / 埼玉県	2017/02/08 朝日新聞 朝刊 25 ページ 絵写表有 483 文字
37	ナマズに縁、5 市町などサミット 吉川で 1 8 日、取り組みや新メニュー紹介 / 埼玉県	2017/02/08 朝日新聞 朝刊 25 ページ 絵写表有 292 文字
38	地場産品 P R、行方市が協定 大阪・泉佐野市と / 茨城県	2017/01/25 朝日新聞 朝刊 29 ページ 絵写表有 439 文字
39	行方の魅力、お笑いで発信 「よしもと」とタッグ / 茨城県	2017/01/10 朝日新聞 朝刊 29 ページ 絵写表有 633 文字

1	茨城 1 0 0 k ウルトラマラソン: 陽光浴び 6 7 6 人疾走 北浦湖岸 / 茨城	2019/03/25 毎日新聞 地方版 28 ページ 717 文字
2	さくらスイーツサイクリング: 自転車で桜の名所巡り イチゴ狩りも堪能 行方で 3 0 日にイベント / 茨城	2019/03/08 毎日新聞 地方版 20 ページ 372 文字
3	いばらき魅力見つけ隊: 行方「なめがたファーマーズヴィレッジ」 農業テーマパークに年間 2 7 万人 / 茨城	2019/02/19 毎日新聞 地方版 22 ページ 1255 文字
4	県農産加工品コンクール: トマト塩糰、ダブル受賞 行方・高柳さん考案ソース / 茨城	2019/01/28 毎日新聞 地方版 24 ページ 697 文字
5	歳末漁師市: きょうとあす 行方・道の駅 / 茨城	2018/12/28 毎日新聞 地方版 18 ページ 192 文字

6	第17回世界湖沼会議：いばらき霞ヶ浦2018 NPO「アサザ基金」 水位管理見直し、国と県に要望書 /茨城	2018/10/02 毎日新聞 地方版 20 ページ 331 文字
7	収穫体験：都市部の親子24組81人、自ら植えた大豆 行方 /茨城	2018/09/24 毎日新聞 地方版 24 ページ 303 文字
8	彼岸花：赤白に咲き誇り 月内は見ごろ 行方・西蓮寺 /茨城	2018/09/20 毎日新聞 地方版 23 ページ 183 文字
9	田んぼアート：見ごろ 帆引き船と筑波山 行方 /茨城	2018/09/08 毎日新聞 地方版 23 ページ 156 文字
10	県GAP：JAなめがた・常陸大宮の小口さん、認証第1号 チンゲンサイ・ブルーベリー /茨城	2018/09/01 毎日新聞 地方版 21 ページ 1276 文字
11	100キロマラソン：北浦1周 10月から参加者募集 来年3月 行方市 /茨城	2018/08/31 毎日新聞 地方版 27 ページ 472 文字
12	いばらき魅力見つけ隊：行方・霞ヶ浦ふれあいランド テーマは「水」 涼を求め /茨城	2018/08/21 毎日新聞 地方版 24 ページ 1353 文字
13	ぐるっと首都圏・旅する・みつける：茨城 つくば霞ヶ浦りんりんロード 初心者に人気、自転車道 /東京	2018/08/19 毎日新聞 地方版 26 ページ 1989 文字
14	農業産出額：銚田市が全国2位 16年780億円 野菜類などは1位 /茨城	2018/03/31 毎日新聞 地方版 27 ページ 420 文字
15	文化審答申：「三味塚古墳出土品」国重文に 有形文化財に「旧岡田小女化分校」など11件 /茨城	2018/03/10 毎日新聞 地方版 25 ページ 615 文字
16	書き初め：新年の願い込め 行方で小中学生ら63人 /茨城	2018/01/06 毎日新聞 地方版 21 ページ 236 文字
17	東関東道水戸線：銚田一空港北、2月開通へ アクセス向上 観光、産業振興に期待 /茨城	2017/12/13 毎日新聞 地方版 27 ページ 417 文字
18	がんばっペン：農業の価値向上へ /茨城	2017/12/07 毎日新聞 地方版 24 ページ 489 文字
19	県産ブランド：各地で発信 /茨城	2017/12/06 毎日新聞 地方版 27 ページ 1944 文
20	いばらき魅力見つけ隊：霞ヶ浦・北浦 行方の漁師市で「シラウオ」「ワカサギ」 /茨城	2017/08/25 毎日新聞 地方版 24 ページ 1273 文字
21	ぐるっと首都圏・食べる・つながる：茨城・行方 エシャレット 食用部分長く、辛みほんのり 知名度アップへ新レシピ /東京	2017/05/15 毎日新聞 地方版 26 ページ 1569 文字
22	ぐるっと首都圏・食べる・つながる：茨城・行方 パクチー 独特の香り愛され「主役」に 茎も根も「残さず食べて」 /東京	2017/03/20 毎日新聞 地方版 27 ページ 1532 文字
23	散歩道：「オスペンギン」が統計の授業 行方 /茨城	2017/02/14 毎日新聞 地方版 27 ページ 260 文字
24	全国なまずサミット：魅力PR 18日、吉川で開催 /埼玉	2017/02/16 毎日新聞 地方版 27 ページ 539 文字

25	行方市：大阪・泉佐野市と初協定 特産品相互PRで地方創生 / 茨城	2017/02/01 毎日新聞 地方版 24 ページ 344 文字
26	散歩道：小学生が書き初め 行方 / 茨城	2017/01/05 毎日新聞 地方版 27 ページ 257 文字

1	アントラーズの街で観光振興、茨城のDMO、キックオフ、試合観戦+農業体験、海外チーム合宿誘致。	2018/06/02 日本経済新聞 地方経済面 北関東 41 ページ 絵写表有 993 文字
2	茨城の農産物、ブランド力向上へ官民が汗、首都圏に販路、開拓後手に、生産量確保カギ（北関東フォーカス）	2017/12/22 日本経済新聞 地方経済面 北関東 41 ページ 1170 文字
3	官民で観光戦略、茨城でDMO設立急ぐ——スポーツや登録湿地、地域特性いかす（北関東フォーカス）	2017/07/14 日本経済新聞 地方経済面 北関東 41 ページ 絵写表有 1964 文字
4	霞ヶ浦ふれあいランド水の科学館——水の不思議、体験して学ぶ（探訪サイエンス）	2017/07/07 日本経済新聞 朝刊 29 ページ 絵写表有 444 文字
5	城——全国金魚すくい選手権大会関東大会、アロマで愉しむプラネタリウム～海の香り～、他（インフォメーション）	2017/07/01 日本経済新聞 地方経済面 北関東 41 ページ 459 文字
6	茨城——15種類のトマト収穫&トマトづくりパーティー、しろさとまちなか映画館、他（インフォメーション）	2017/06/24 日本経済新聞 地方経済面 北関東 41 ページ 419 文字
7	ナマズで街を元気に！！、埼玉でサミット開催、嬉野温泉も参加。	2017/02/18 日本経済新聞 西部夕刊 社会面 20 ページ 絵写表有 294 文字
8	「なまずサミット」、町おこしへ議論、埼玉、嬉野温泉も参加。	2017/02/18 日本経済新聞 沖縄夕刊 社会面 56 ページ 235 文字
9	「ナマズの町」が埼玉・吉川に集結、来月サミット。	2017/01/30 日本経済新聞 夕刊 14 ページ 365 文字

【結果からの考察】

ここで挙げたもののほとんどが全国紙レベルと言っても、地方版（県内版）において季節の話題といった時事ネタとして記載されたものである。しかし県内版で取り上げられて茨城県内在住者の目に触れることは重要であろう。

取り上げられているトピックは分散化しており、テレビ番組とはかなり異なった様相を呈している。

なお、近年では地方版掲載の記事は、新聞の電子版としてネット上で閲覧できる場合も多く、非新聞読者にも地域情報としてはリーチする可能性も十分ある。そのために数百字程度の“雑報”扱いではなく、もう少し分量があり、掘り下げられている（準）特集記事に昇格できるように、新聞メディアで取り上げられやすいようなまとまった情報量を持つ話題提供ツールキット（ニュースリリース）が求められるだろう。

3. 観光雑誌、MOOK での取り上げられ方

首都圏で市販されているメジャーな雑誌や観光ガイドブックでの記載内容を検証した。確認できたのは以下の2点である。



『まっふる茨城』(昭文社)

次に挙げる『るるぶ』とともに、全国を扱う観光ガイドブックではよく知られている存在である。茨城県全域を扱う。ドライブマップが充実するなど、観光地は車で回ることを基本としている。

《大洗・ひたちなか・那珂湊》, 《水戸・笠間》, 《つくば・土浦・牛久》, 《潮来・銚田・鹿嶋》, 《結城・筑西・古河》, 《袋田・大子・常陸太田》, 《北茨城・日立》といったエリア順に紹介している。

近年のインスタ映えブームを反映してか, “茨城の絶景スポット” が冒頭で取り上げられ, 霞ヶ浦の「観光帆曳船」が紹介されている。その次にあるイベントカレンダーでは, あやめまつりやメロンの出荷などの記載があるが行方市関連はない。名物グルメでは4大ブランド肉として「美明豚」が行方市で飼育されているとの記載がある(ただし行方市内のレストラン記載はなし)。

・潮来・銚田・鹿嶋エリアガイドでは, 順に潮来3頁, 佐原の町並み1頁, 銚田2頁, 鹿嶋3頁という頁割になっている。

・行方市は潮来・銚田・鹿嶋エリアガイドで地図に地名記載があるものの、割かれているページはなし。なめがたファーマーズヴィレッジは、別冊の「茨城おでかけスポットBOOK」の「ミュージアム体験&スポット」で取り上げられている。同ページでは、霞ヶ浦ふれあいランドについても、ファーマーズヴィレッジに比べれば扱いは小さいものの記載がある。この別冊には、日帰り温泉の記載もあるが、行方市内の施設は載っていない。

・道の駅特集の中で、道の駅たまつくり、行方市観光物産館が、「霞が関名物をまるかじり」というキャプションのもとに、行方バーガーや鯉の甘煮が取り上げられている。



『るるぶ茨城』（JTB パブリッシング）

『まっぷる』とともに、全国を扱う観光ガイドブックではよく知られている。《ひたちなか・大洗・那珂湊》、《水戸・笠間》、《つくば・土浦・牛久》、《鹿嶋・潮来》、《袋田・北茨城・日立》といった順に紹介している。まっぷるとの大きな違いは県西（結城・筑西・古河）が、つくば・土浦・牛久の中で取り上げられており、独立したエリアガイドが存在しないことである。

冒頭部分の特集企画頁では、花と四季の茨城絶景、絶品グルメ、お祭り、遊び場などの紹介があるが、行方関連のものは取り上げられていない。季節別の観光モデルプランも2頁掲載であるが、鹿行地区そのものが存在しない。「茨城の今 最旬 TOPICS」で、食のテーマパークとしてなめがたファーマーズヴィレッジが1頁の1/6サイズで紹介されている。次の「茨城グルメ8 4大ブランド肉」では美明豚が取り上げられ、行方市内の飲食店「華のれん」が挙げられている。

・鹿嶋・潮来エリアガイドでは、鹿嶋4頁、潮来3頁、鉾田2頁という頁割になっている。行方市についてのまとまった記載はなく、潮来のページにあそう温泉白帆の湯、そして鉾田のページに行方市観光物産こいこい（「ひと足延ばして味わう新感覚のご当地バーガー 行方バーガー」）との記載がある。

【結果からの考察】

茨城県に関する雑誌そのものが2誌に限られるが、行方市としては取り上げられていない。逆に鉾田、鹿嶋、潮来は定番の観光地としての記載がある。観光に関しては、行方市はなめがたファーマーズヴィレッジ以外の資源が存在しない“空白地帯”になっている。2誌の中の扱いとしては、鹿行地区そのものが観光として周遊すべきルートから外れており、“観光地”という認識はあまり持たれていない。

他県在住者に行方市の存在をまず知ってもらうためには、先述のテレビ番組はもとより、観光雑誌やMOOKで少しでも掲載されていることが重要と思われる。取り上げられないので、知名度の高さにもつながっていないのではないのか。

なお、観光MOOK以外の一般雑誌においては、行方市がメインで取り上げられることは1件しかなかったため、ここでは割愛する⁴。

⁴ 一般雑誌の検索については、大宅壮一文庫の雑誌記事検索データベース（WEB-OYA Bunko）を参照した。記事タイトルや主な見出しをもとにキーワード登録されており、検索キーワードで当該雑誌を特定することが可能である。行方市が取り上げられたことがあったとしても、タイトルや見出しレベルには上げられていなかった可能性もある。

【参考】

つくばエリアが移住先として人気の理由の一つにライフスタイル雑誌あり

既に見た通り、県南エリアが移住先としての高支持を集めているのは、交通面でのアクセスしやすさもさることながら、“移住先候補としてのブランド化”が進んでいるからと推察する。

首都圏で発売されている雑誌『つくばスタイル』は、「知的な田園都市の生活マガジン」「つくば市、つくばみらい市、守谷市…TX 沿線の心地いい暮らし」ということを標榜している。この雑誌と連動したWEBサイトがあり、活発な情報発信の取り組みが見られる。こういったメディアにより、つくば地域の情報発信が効果的になされているがゆえに、今日のような有力な移住候補先となっていることにつながっているのではないかと推察する。

このMOOKの発行・販売元は樫出版（東京都世田谷区）であるが、ホームページによるともともとの発行体は「つくばスタイル協議会」であり、この協議会自体は「茨城県、都市機構、つくば市、つくばみらい市、守谷市が、つくばエクスプレス沿線で享受できる快適なライフスタイル<つくばスタイル>をブランド化させ、さらに大きなムーブメントへと発展させていくために設立された」とある。

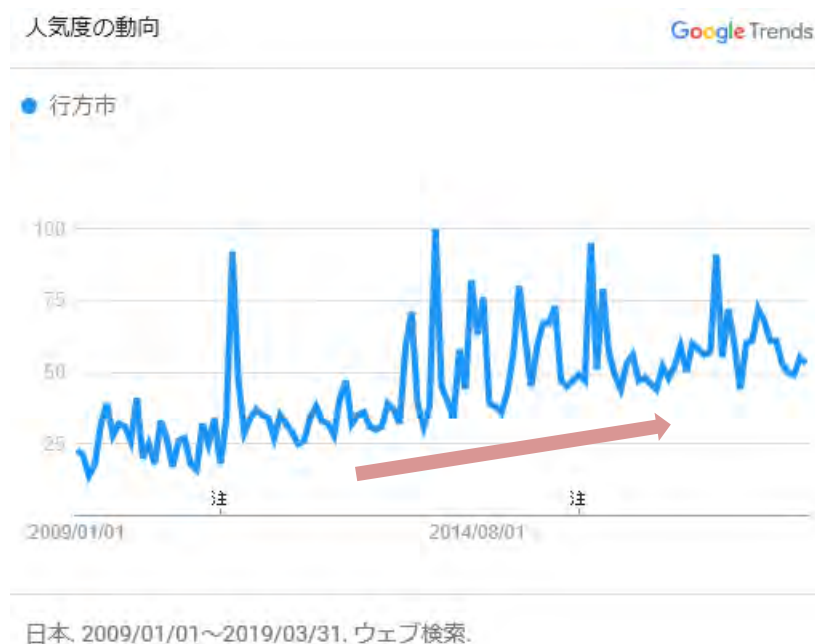
第1号は2004年11月に発行されており、2005年8月のつくばエクスプレス開業に合わせた沿線まちづくりとともに歩み、現在27号（2018年8月）を数えるに至っている。このMOOKは首都圏の主要な書店でも広く発売されており、潜在的な移住意向者に対してつくばエリアのよさを着実にアピールし続けており、それが奏功した結果が今日の状況ではないかと推察する。



4. WEB メディアでの取り上げられ方

ネット上での検索や閲覧の対象になったことを検索できる仕組み google トレンドによれば、行方市の人気度（検索インタレスト）⁵の動向としては、2009 年 4 月以降の 10 年間、上下を繰り返しつつも、右肩上がりの状況である。

ところどころで急激な上昇が見られるが、たとえば 2011 年 3 月には、東日本大震災による検索ニーズの高まりを反映した結果であると推察される。それ以外にも 2014 年 1 月、2016 年 3 月、2017 年 12 月に急激な上昇が見られるが、その詳細理由についてはわからない。



鹿行地区の他都市との比較を試みたのが次の図である。これによれば、神栖市の検索インタレストが目立った増加傾向を示しており、5都市の中では、一つとび抜けた構図である。先に見た通りテレビ番組での取り上げられた回数も5都市の中では際立って多い点に留意したい。

インターネットの検索インタレストという指標で見れば、神栖市・鹿嶋市という《好調グループ》と、銚田市・潮来市という《低位グループ》の間に位置するのが、行方市の現状であると言える。

とはいえ、行方市が5市中位に位置するのは、2014年1月および2016年3月において100近い検索インタレストを重ねたという“過去の貯金”の貢献もあり、近年ではやや停滞傾向が見られることも確かである。ここ数年で、程度の差こそあれ上昇基調にある神栖市や銚田市の動きは注視する必要があるだろう。

⁵ この数値の読み方について。グラフ上の最高値を基準として検索インタレストを相対的に表したものです。100 の場合はそのキーワードの人気度が最も高いことを示し、50 の場合は人気度が半分であることを示します（google トレンドの説明より）



Ⅱを通して全体からの現状考察

全国メディアレベルで行方市の名前や市内に関係する産物が出ることは限定的である。全国メディアで取り上げられるためには、際立つ魅力や素材が必要だが、現時点では、なめがたファーマーズヴィレッジと農産物、霞ヶ浦の水産物といった特産品がそれぞれスポットで取り上げられるに留まる。

メディアに取り上げられる素材が“点”として存在しているとすれば、今後はそういった点を、市内あるいは市外（鹿行地区）においていくつか組み合わせることで“面”的なアピールをしていくべきではないか。周遊しても楽しめるよさ、そして観光のみならず、くらしの場所（移住先、二地域居住先）としても優れた地域特性を持っている行方市を譲歩発信していく必要がある。

巻末資料

WEB アンケート調査の調査項目と GT 値

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

GROUP グループ（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	東京都（江戸川区，江東区，葛飾区，墨田区）	250	25.0
2	千葉県北部（松戸市，柏市，我孫子市，流山市）	250	25.0
3	千葉県北中西部（成田市，佐倉市，印西市）	250	25.0
4	千葉県中部（千葉市，船橋市）	250	25.0
5	千葉県北中西部（八千代市，四街道市）	0	0.0

Q1 性別をお知らせください。（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	男	661	66.1
2	女	339	33.9

Q2_1 あなたの年齢をお知らせください。／歳（NU）

		回答数	%
全体		1000	100.0
平均値			51.02
最小値			30.00
最大値			69.00

Q2SQ 年代確認用（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	30代	147	14.7
2	40代	303	30.3
3	50代	312	31.2
4	60代	238	23.8

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q3_1 現在お住まいの都道府県名をお知らせください。(SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	北海道	0	0.0
2	青森県	0	0.0
3	岩手県	0	0.0
4	宮城県	0	0.0
5	秋田県	0	0.0
6	山形県	0	0.0
7	福島県	0	0.0
8	茨城県	0	0.0
9	栃木県	0	0.0
10	群馬県	0	0.0
11	埼玉県	0	0.0
12	千葉県	750	75.0
13	東京都	250	25.0
14	神奈川県	0	0.0
15	新潟県	0	0.0
16	富山県	0	0.0
17	石川県	0	0.0
18	福井県	0	0.0
19	山梨県	0	0.0
20	長野県	0	0.0
21	岐阜県	0	0.0
22	静岡県	0	0.0
23	愛知県	0	0.0
24	三重県	0	0.0
25	滋賀県	0	0.0
26	京都府	0	0.0
27	大阪府	0	0.0
28	兵庫県	0	0.0
29	奈良県	0	0.0
30	和歌山県	0	0.0
31	鳥取県	0	0.0
32	島根県	0	0.0
33	岡山県	0	0.0
34	広島県	0	0.0
35	山口県	0	0.0
36	徳島県	0	0.0
37	香川県	0	0.0
38	愛媛県	0	0.0
39	高知県	0	0.0
40	福岡県	0	0.0
41	佐賀県	0	0.0
42	長崎県	0	0.0
43	熊本県	0	0.0
44	大分県	0	0.0
45	宮崎県	0	0.0
46	鹿児島県	0	0.0
47	沖縄県	0	0.0

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q3_2 現在お住まいの市区町村をお知らせください。（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	江戸川区	87	8.7
2	江東区	76	7.6
3	葛飾区	53	5.3
4	墨田区	34	3.4
5	松戸市	104	10.4
6	柏市	78	7.8
7	我孫子市	24	2.4
8	流山市	44	4.4
9	成田市	62	6.2
10	佐倉市	125	12.5
11	印西市	63	6.3
12	千葉市	154	15.4
13	船橋市	96	9.6
14	八千代市	0	0.0
15	四街道市	0	0.0
16	その他	0	0.0

Q4 現在の居住地域にお住まいになってどのくらいですか。複数の住まいがある方はメインのものについてお答えください。また同一市区町村内で移動していれば、その合計年数でお知らせください。（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	1年未満	22	2.2
2	1年以上3年未満	52	5.2
3	3年以上5年未満	62	6.2
4	5年以上10年未満	118	11.8
5	10年以上20年未満	223	22.3
6	20年以上30年未満	220	22.0
7	30年以上	303	30.3

Q5 あなたの同居家族について、あてはまるもの全てをお知らせください。（MA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	配偶者	626	62.6
2	子ども	416	41.6
3	一人暮らし	171	17.1
4	親	199	19.9
5	姉妹・兄弟	50	5.0
6	孫	6	0.6
7	その他	7	0.7

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

- Q6 あなたの現在の職業について、あてはまるものをお選びください。複数職業がある方はメインのものについてお答えください。（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	会社役員・社長	26	2.6
2	会社員（正社員）	369	36.9
3	会社員（契約社員・派遣社員）	79	7.9
4	公務員	39	3.9
5	自営業・自由業	74	7.4
6	パート・アルバイト	136	13.6
7	専業主婦（夫）	126	12.6
8	その他	9	0.9
9	現在は働いていない（定年・早期退職）	78	7.8
10	現在は働いていない（定年・早期退職以外）	64	6.4

- Q7 あなたは現在のお住まいの場所から他地域への居住地を移す、いわゆる「移住」にどの程度関心がありますか。（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	関心がある	86	8.6
2	ある程度関心がある	208	20.8
3	あまり関心がない	209	20.9
4	関心がない	433	43.3
5	わからない	64	6.4

- Q8 移住すると仮定した場合、現在のお住まいからどのくらいまで離れていることを許容できますか。（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	50 km圏内	227	22.7
2	100 km圏内	65	6.5
3	150 km圏内	26	2.6
4	200 km圏内	17	1.7
5	300 km圏内	20	2.0
6	400 km圏内	5	0.5
7	400 km以上	73	7.3
8	わからない	567	56.7

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q9 将来的に現在のお住まいから移住するということを考えるとしたら、どのような地域で暮らしてみたいと思いますか。あてはまるもの全てをお選びください。（MA）

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	北海道	94	9.4
2	北東北（青森県，岩手県，秋田県）	27	2.7
3	南東北（宮城県，山形県，福島県）	48	4.8
4	北関東（茨城県，栃木県，群馬県）	91	9.1
5	南関東（埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県）	619	61.9
6	北信越（山梨県，長野県，新潟県，富山県，石川県，福井県）	102	10.2
7	東海（静岡県，愛知県，三重県，岐阜県）	107	10.7
8	関西（滋賀県，京都府，大阪府，兵庫県，奈良県，和歌山県）	89	8.9
9	山陰・山陽（鳥取県，島根県，岡山県，広島県，山口県）	54	5.4
10	四国（香川県，愛媛県，徳島県，高知県）	56	5.6
11	北九州（福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県）	70	7.0
12	南九州（宮崎県，鹿児島県）	50	5.0
13	沖縄県	134	13.4
14	外国	102	10.2

Q10 Q9で選んだ地域の中から特に暮らしたい場所を1つお選びください。（SA）

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	北海道	45	4.5
2	北東北（青森県，岩手県，秋田県）	13	1.3
3	南東北（宮城県，山形県，福島県）	20	2.0
4	北関東（茨城県，栃木県，群馬県）	24	2.4
5	南関東（埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県）	537	53.7
6	北信越（山梨県，長野県，新潟県，富山県，石川県，福井県）	46	4.6
7	東海（静岡県，愛知県，三重県，岐阜県）	45	4.5
8	関西（滋賀県，京都府，大阪府，兵庫県，奈良県，和歌山県）	35	3.5
9	山陰・山陽（鳥取県，島根県，岡山県，広島県，山口県）	21	2.1
10	四国（香川県，愛媛県，徳島県，高知県）	20	2.0
11	北九州（福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県）	26	2.6
12	南九州（宮崎県，鹿児島県）	11	1.1
13	沖縄県	81	8.1
14	外国	76	7.6

Q11 北関東地方の中で選ぶとしたら，どこの県で暮らしてみたいと思いますか。（MA）

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	茨城県	177	17.7
2	栃木県	132	13.2
3	群馬県	125	12.5
4	わからない	622	62.2

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q12 茨城県のうち、どの地域がよいと思いますか。（MA）

		回答数	%
	全体	177	100.0
1	県北地域（日立市、ひたちなか市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、那珂市とその周辺地域）	39	22.0
2	県央地域（水戸市、笠間市、小美玉市とその周辺地域）	35	19.8
3	鹿行地域（鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市）	37	20.9
4	県南地域（つくば市、土浦市、取手市、牛久市、龍ヶ崎市、石岡市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市とその周辺地域）	102	57.6
5	県西地域（古河市、筑西市、常総市、坂東市、結城市、桜川市、下妻市とその周辺地域）	12	6.8
6	わからない	8	4.5

Q13_1 移住すると仮定した場合、以下の生活スタイルのうち、どのような暮らしがよいと思いますか。この中で比較し、よいと思うものから順に必ず順位をお付けください。／1位（SA）

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	街中や郊外など、買い物などにほどよく便利な場所で暮らす	608	60.8
2	都市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす	128	12.8
3	駅に近接しており、首都圏や他地域への移動に便利な場所で暮らす	247	24.7
4	大学の近くなど、学生や留学生など様々な人と交流できる場所で暮らす	17	1.7

Q13_2 移住すると仮定した場合、以下の生活スタイルのうち、どのような暮らしがよいと思いますか。この中で比較し、よいと思うものから順に必ず順位をお付けください。／2位（SA）

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	街中や郊外など、買い物などにほどよく便利な場所で暮らす	312	31.2
2	都市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす	239	23.9
3	駅に近接しており、首都圏や他地域への移動に便利な場所で暮らす	419	41.9
4	大学の近くなど、学生や留学生など様々な人と交流できる場所で暮らす	30	3.0

Q13_3 移住すると仮定した場合、以下の生活スタイルのうち、どのような暮らしがよいと思いますか。この中で比較し、よいと思うものから順に必ず順位をお付けください。／3位（SA）

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	街中や郊外など、買い物などにほどよく便利な場所で暮らす	66	6.6
2	都市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす	385	38.5
3	駅に近接しており、首都圏や他地域への移動に便利な場所で暮らす	292	29.2
4	大学の近くなど、学生や留学生など様々な人と交流できる場所で暮らす	257	25.7

Q13_4 移住すると仮定した場合、以下の生活スタイルのうち、どのような暮らしがよいと思いますか。この中で比較し、よいと思うものから順に必ず順位をお付けください。／4位（SA）

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	街中や郊外など、買い物などにほどよく便利な場所で暮らす	14	1.4
2	都市部から離れ、自然豊かな田舎で暮らす	248	24.8
3	駅に近接しており、首都圏や他地域への移動に便利な場所で暮らす	42	4.2
4	大学の近くなど、学生や留学生など様々な人と交流できる場所で暮らす	696	69.6

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q14 移住すると仮定した場合、どのような住まいで暮らしたいと思いますか。あてはまるもの全てをお選びください。(MA)

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	新築一戸建て	457	45.7
2	新築の共同住宅（マンション・アパートなど）	304	30.4
3	古民家（賃貸）	154	15.4
4	古民家（自己所有）	172	17.2
5	中古の共同住宅（マンション・アパートなど）	202	20.2
6	介護等サービス付き（高齢者住宅）	81	8.1
7	その他	6	0.6

Q15 移住すると仮定した場合、どのようなことが不安や課題になると思いますか。あてはまるもの全てをお選びください。(MA)

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	地元の人との人間関係	563	56.3
2	子供の教育	111	11.1
3	仕事のこと	409	40.9
4	医療機関のこと	509	50.9
5	買い物先	496	49.6
6	税金や社会保険料のこと	180	18.0
7	気候など自然条件	350	35.0
8	子育て環境	71	7.1
9	図書館、公民館など文化施設	153	15.3
10	レストランなど外食先	150	15.0
11	娯楽やレジャーの場所	149	14.9
12	その他	12	1.2

Q16 あなたは現在のお住まいの場所の他に、週末ごとや年間のうち一定期間を別地域で暮らす、いわゆる「2地域居住」という暮らし方のスタイルについてどの程度関心がありますか。(SA)

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	関心がある	71	7.1
2	ある程度関心がある	172	17.2
3	あまり関心がない	213	21.3
4	関心がない	423	42.3
5	わからない	121	12.1

Q17 「2地域居住」と仮定した場合、現在のお住まいからどのくらいまで離れていることを許容できますか。(SA)

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	500km圏内	224	22.4
2	1000km圏内	118	11.8
3	1500km圏内	34	3.4
4	2000km圏内	34	3.4
5	3000km圏内	13	1.3
6	4000km圏内	6	0.6
7	4000km以上	37	3.7
8	わからない	534	53.4

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q18 「2地域居住」すると仮定した場合、どのような地域で暮らしてみたいと思いますか。あてはまるもの全てをお選びください。(MA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	北海道	81	8.1
2	北東北（青森県，岩手県，秋田県）	26	2.6
3	南東北（宮城県，山形県，福島県）	59	5.9
4	北関東（茨城県，栃木県，群馬県）	153	15.3
5	南関東（埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県）	579	57.9
6	北信越（山梨県，長野県，新潟県，富山県，石川県，福井県）	129	12.9
7	東海（静岡県，愛知県，三重県，岐阜県）	106	10.6
8	関西（滋賀県，京都府，大阪府，兵庫県，奈良県，和歌山県）	56	5.6
9	山陰・山陽（鳥取県，島根県，岡山県，広島県，山口県）	28	2.8
10	四国（香川県，愛媛県，徳島県，高知県）	23	2.3
11	北九州（福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県）	36	3.6
12	南九州（宮崎県，鹿児島県）	27	2.7
13	沖縄県	103	10.3
14	外国	89	8.9

Q19 「2地域居住」すると仮定した場合、北関東の中で選ぶとしたら、どこの県で2地域居住してみたいと思いますか。(MA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	茨城県	161	16.1
2	栃木県	138	13.8
3	群馬県	143	14.3
4	わからない	636	63.6

Q20 茨城県のうち、どの地域がよいと思いますか。(MA)

		回答数	%
全体		161	100.0
1	県北地域（日立市，ひたちなか市，常陸太田市，高萩市，北茨城市，常陸大宮市，那珂市とその周辺地域）	44	27.3
2	県央地域（水戸市，笠間市，小美玉市とその周辺地域）	27	16.8
3	鹿行地域（鹿嶋市，潮来市，神栖市，行方市，鉾田市）	45	28.0
4	県南地域（つくば市，土浦市，取手市，牛久市，龍ヶ崎市，石岡市，守谷市，稲敷市，かすみがうら市，つくばみらい市とその周辺地域）	92	57.1
5	県西地域（古河市，筑西市，常総市，坂東市，結城市，桜川市，下妻市とその周辺地域）	12	7.5
6	わからない	8	5.0

Q21 あなたはご自身で農作物の栽培に携わることに関心がありますか。(SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	関心がある	59	5.9
2	ある程度関心がある	187	18.7
3	あまり関心がない	225	22.5
4	関心がない	429	42.9
5	わからない	100	10.0

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q22 農作物の栽培の取り組みとして、どのような形態で携わってみたいですか。（S A）

	回答数	%
全体	246	100.0
1 主要な職（就）業として農業に従事する（している）	13	5.3
2 職業を別に持ち、兼業農家として関わる（関わっている）	41	16.7
3 農業をしているところの作付け、手入れ、収穫などのお手伝いをする（している）	34	13.8
4 自宅の庭や近隣で農作物を栽培する（している）	108	43.9
5 自分の庭とは別のところで家庭農園を持ち、栽培する（している）	25	10.2
6 その他	2	0.8
7 わからない	23	9.3

Q23 Q21で「あまり関心がない」「関心がない」とご回答頂いた方へお伺いいたします。その理由はどのようなものでしょうか。（MA）

	回答数	%
全体	654	100.0
1 栽培をやったこともないし、やりたいとも思わないから	280	42.8
2 栽培に取り組むには、ハードルが高いから	161	24.6
3 栽培をやってみたいけど、どうすれば良いかわからないから	61	9.3
4 栽培の仕事が大変そうで、決まった休みが取れそうもないから	126	19.3
5 収入が安定しそうもないから	137	20.9
6 家族の負担が大きそうだから	77	11.8
7 体力に自信がないから	188	28.7
8 設備投資にお金がかかりそうだから	102	15.6
9 その他	8	1.2
10 わからない	81	12.4

Q24 あなたは茨城県の以下にあげる地域にここ5年以内に行かれたことがありますか。（MA）

	回答数	%
全体	1000	100.0
1 県北地域（日立市、ひたちなか市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、那珂市とその周辺地域）	172	17.2
2 県央地域（水戸市、笠間市、小美玉市とその周辺地域）	144	14.4
3 鹿行地域（鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市）	147	14.7
4 県南地域（つくば市、土浦市、取手市、牛久市、龍ヶ崎、石岡市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市とその周辺地域）	290	29.0
5 県西地域（古河市、筑西市、常総市、坂東市、結城市、桜川市、下妻市とその周辺地域）	101	10.1
6 ここ5年では茨城県へは行っていない	558	55.8

Q25_1 茨城県の以下の自治体について、知っているところをお知らせください。／鹿嶋市（S A）

	回答数	%
全体	1000	100.0
1 名前を知っているし訪問経験もある	362	36.2
2 名前は知っているが訪問経験はない	404	40.4
3 名前を知らない（初めて聞いた）	234	23.4

Q25_2 茨城県の以下の自治体について、知っているところをお知らせください。／潮来市（S A）

	回答数	%
全体	1000	100.0
1 名前を知っているし訪問経験もある	344	34.4
2 名前は知っているが訪問経験はない	408	40.8
3 名前を知らない（初めて聞いた）	248	24.8

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q25_3 茨城県の以下の自治体について、知っているところをお知らせください。／神栖市（SA）

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	名前を知っているし訪問経験もある	235	23.5
2	名前は知っているが訪問経験はない	389	38.9
3	名前を知らない（初めて聞いた）	376	37.6

Q25_4 茨城県の以下の自治体について、知っているところをお知らせください。／行方市（SA）

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	名前を知っているし訪問経験もある	127	12.7
2	名前は知っているが訪問経験はない	401	40.1
3	名前を知らない（初めて聞いた）	472	47.2

Q25_5 茨城県の以下の自治体について、知っているところをお知らせください。／鉾田市（SA）

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	名前を知っているし訪問経験もある	123	12.3
2	名前は知っているが訪問経験はない	496	49.6
3	名前を知らない（初めて聞いた）	381	38.1

Q26 あなたはここ5年で、どのくらいの頻度で行方市を訪問されていますか。（SA）

		回答数	%
	全体	127	100.0
1	1週間に1回以上	0	0.0
2	2週間に1回くらい	2	1.6
3	1か月に1回くらい	8	6.3
4	2～3か月に1回くらい	4	3.1
5	半年に1回くらい	14	11.0
6	1～2年に1回くらい	22	17.3
7	3～4年に1回くらい	13	10.2
8	5年に1回くらい	23	18.1
9	5年以上行っていない	41	32.3

Q27 あなたが行方市を訪問する（訪問した）理由は何でしょうか。当てはまるものをいくつでもお知らせください。（MA）

		回答数	%
	全体	127	100.0
1	行方市内への通勤や通学のため	1	0.8
2	（職場が別のところにあるが）仕事に関わる用事のため	23	18.1
3	行方市で日常的な買い物するため	1	0.8
4	行方市内の名所を訪ねるため	31	24.4
5	行方市内の特産品を食べたり、購入するため	19	15.0
6	行方市内のイベントや行事を見物するため	16	12.6
7	市内在住の友人・知人を訪問するため	19	15.0
8	市内に別宅がある（あった）	1	0.8
9	以前住んでいたことがある	0	0.0
10	その他	28	22.0

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q28 あなたが茨城県行方市にある以下の施設や名所について知っているものがあれば、お知らせください。(MA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	霞ヶ浦	681	68.1
2	北浦	194	19.4
3	なめがたファーマーズヴィレッジ	35	3.5
4	霞ヶ浦ふれあいランド	39	3.9
5	観光物産館こいこい	17	1.7
6	あそう温泉白帆の湯	18	1.8
7	天王崎公園	21	2.1
8	観光帆引船	53	5.3
9	北浦温泉北浦荘	14	1.4
10	西蓮寺	16	1.6
11	井上山百合の里	4	0.4
12	沖洲芸術村	4	0.4
13	三昧塚古墳公園	9	0.9
14	知っている施設や名所はない	280	28.0

Q29 あなたは、なめがたファーマーズヴィレッジに行かれたことがありますか。(SA)

		回答数	%
全体		35	100.0
1	1回行ったことがある	11	31.4
2	2～4回行ったことがある	8	22.9
3	5回以上行っている	0	0.0
4	行ったことはない	16	45.7

Q30 あなたは、なめがたファーマーズヴィレッジに行かれて、どのような体験をされましたか。(MA)

		回答数	%
全体		19	100.0
1	やきいもファクトリーミュージアム	10	52.6
2	自然食レストラン	10	52.6
3	収穫など農業体験	6	31.6
4	グランピング	2	10.5
5	地元産品の買い物	10	52.6
6	調理体験	3	15.8
7	昆虫採集や自然の中での遊び	3	15.8
8	水陸両用バス	2	10.5
9	トラクターツアー	2	10.5
10	野外BBQ	2	10.5
11	その他	0	0.0

Q31 あなたは、なめがたファーマーズヴィレッジにまた行きたいと思いますか。(SA)

		回答数	%
全体		19	100.0
1	ぜひ行きたい	4	21.1
2	まあ行ってみたい	11	57.9
3	あまり行きたいとは思わない	2	10.5
4	行きたいとは思わない	0	0.0
5	わからない	2	10.5

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q32 あなたは霞ヶ浦ふれあいランドあるいは天王崎公園に行かれたことがありますか。（SA）

		回答数	%
全体		55	100.0
1	1回行ったことがある	26	47.3
2	2～4回行ったことがある	13	23.6
3	5回以上行っている	4	7.3
4	行ったことはない	12	21.8

Q33 あなたは霞ヶ浦ふれあいランドあるいは天王崎公園に行かれた際にどのようなことをされましたか。（MA）

		回答数	%
全体		43	100.0
1	日中の風景を楽しむ	32	74.4
2	サンセット（日没）を楽しむ	12	27.9
3	ポルダリングを楽しむ	5	11.6
4	日の出（サンライズ）を楽しむ	4	9.3
5	その他	2	4.7

Q34_1 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／都心から70キロ（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	46	4.6
2	やや魅力を感じる	208	20.8
3	あまり魅力を感じない	388	38.8
4	魅力を感じない	358	35.8

Q34_2 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／車で90分で行ける（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	41	4.1
2	やや魅力を感じる	206	20.6
3	あまり魅力を感じない	368	36.8
4	魅力を感じない	385	38.5

Q34_3 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／遠隔地ほどではない適当な距離である（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	45	4.5
2	やや魅力を感じる	272	27.2
3	あまり魅力を感じない	362	36.2
4	魅力を感じない	321	32.1

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q34_4 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／最寄りの茨城空港から車で15分、成田空港から同40分でアクセスできる（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	41	4.1
2	やや魅力を感じる	221	22.1
3	あまり魅力を感じない	379	37.9
4	魅力を感じない	359	35.9

Q34_5 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／全国に2番目に大きい湖に接し、湖畔ではさまざまなレジャーが楽しめる（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	50	5.0
2	やや魅力を感じる	274	27.4
3	あまり魅力を感じない	354	35.4
4	魅力を感じない	322	32.2

Q34_6 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／湖とその周辺の水辺、平野や台地と山などでバランスのとれた環境である（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	50	5.0
2	やや魅力を感じる	337	33.7
3	あまり魅力を感じない	305	30.5
4	魅力を感じない	308	30.8

Q34_7 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／年間60品目以上の農作物が栽培されるなど農業が盛んである（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	62	6.2
2	やや魅力を感じる	299	29.9
3	あまり魅力を感じない	339	33.9
4	魅力を感じない	300	30.0

Q34_8 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／生産高、品質ともに全国トップクラスのさつまいもの産地である（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	46	4.6
2	やや魅力を感じる	250	25.0
3	あまり魅力を感じない	392	39.2
4	魅力を感じない	312	31.2

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q34_9 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／農業体験もできるさつまいものテーマパークがある（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	49	4.9
2	やや魅力を感じる	197	19.7
3	あまり魅力を感じない	412	41.2
4	魅力を感じない	342	34.2

Q34_10 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／地上デジタルテレビで市内の災害情報や地域情報がみられる（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	39	3.9
2	やや魅力を感じる	250	25.0
3	あまり魅力を感じない	400	40.0
4	魅力を感じない	311	31.1

Q34_11 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／野菜だけではなく、湖の水産物、豚や牛肉、鶏卵なども堪能できる（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	58	5.8
2	やや魅力を感じる	346	34.6
3	あまり魅力を感じない	320	32.0
4	魅力を感じない	276	27.6

Q34_12 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／冬は温暖で、夏は水辺や田園を風が吹き抜けることで涼しい気候である（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	106	10.6
2	やや魅力を感じる	366	36.6
3	あまり魅力を感じない	258	25.8
4	魅力を感じない	270	27.0

Q34_13 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／1,000年以上の長期にわたり、生活が持続的に営まれているエリアである（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	53	5.3
2	やや魅力を感じる	295	29.5
3	あまり魅力を感じない	353	35.3
4	魅力を感じない	299	29.9

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

- Q34_14 以下は、行方市についての特色を説明していますが、あなたはそれぞれについてどの程度、魅力を感じますか。／歴史的な遺跡・寺社が点在し、独特な祭事が各所で行われている（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	魅力を感じる	61	6.1
2	やや魅力を感じる	317	31.7
3	あまり魅力を感じない	315	31.5
4	魅力を感じない	307	30.7

- Q35 行方市で体験できるコトやイベントの中で、実際に参加・経験したいと思うものはどれですか。（MA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	釣り	173	17.3
2	ジェットスキー	67	6.7
3	ヨット	44	4.4
4	パラセーリング	62	6.2
5	湖畔周遊するサイクリングコースでのサイクリング	171	17.1
6	野菜栽培・収穫の体験	176	17.6
7	果物の栽培・収穫体験	184	18.4
8	田植えや稲刈りなど稲作体験	66	6.6
9	農家民泊	78	7.8
10	里山散策	145	14.5
11	竹細工	50	5.0
12	オカリナ作り	35	3.5
13	そば打ち体験	185	18.5
14	田舎料理作り	114	11.4
15	せんべい作り	112	11.2
16	湖畔の天然温泉	231	23.1
17	100キロを走るウルトラマラソン	20	2.0
18	観光帆引き船見学船乗船体験	82	8.2
19	お試し居住体験（古民家を借りての自活体験）	96	9.6
20	この中にあてはまるものはない	436	43.6

GT票 地方の暮らしや観光に関する意識調査

Q36 行方市の産物である以下について、興味を持つようなものはありますか。（MA）

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	行方産こしひかり	140	14.0
2	合鴨農法の米	108	10.8
3	行方産さつまいも	129	12.9
4	干し芋	235	23.5
5	さつまいもサブレ	93	9.3
6	行方バーガー（ナマズを揚げたものをパティとしたバーガー）	67	6.7
7	行方バーガー（鯉を煮つけたものをパティとしたバーガー）	33	3.3
8	行方バーガー（豚肉のメンチカツをパティとしたバーガー）	108	10.8
9	行方バーガー（鴨肉と鶏肉をパティとしたバーガー）	103	10.3
10	エリンギ	103	10.3
11	フルーツトマト	192	19.2
12	サラダチンゲン菜	60	6.0
13	露地レンコン	109	10.9
14	青パパイヤ	50	5.0
15	アロマレッドニンジン	33	3.3
16	美明豚（特殊飼料で栽培した豚肉）	114	11.4
17	常陸牛	224	22.4
18	ナマズの薄造り	49	4.9
19	ナマズの唐揚げ	90	9.0
20	ナマズのかば焼き	74	7.4
21	鯉の甘煮	31	3.1
22	わかさぎの甘露煮・佃煮	93	9.3
23	行方産お野菜ウィンナー	69	6.9
24	行方産芋（紅コガネ）を使った芋焼酎	36	3.6
25	行方産の米から作った日本酒	67	6.7
26	この中にあてはまるものはない	411	41.1

Q37 これまで行方市の特色、体験できること、特産品などの説明を見て、あなたは行方市についてどの程度、関心を持たれましたか。（SA）

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	居住体験して現地の生活に触れてみたい	42	4.2
2	主に観光目的で訪れてみたい	151	15.1
3	もっと詳しく知りたい	110	11.0
4	あまり関心がわからない	226	22.6
5	関心がわからない	336	33.6
6	わからない	135	13.5